

三浦市子ども・子育て支援事業計画

平成 27 年 3 月

三浦市



第1章	計画の概要	
1	計画策定の趣旨	1
2	計画の性格	1
3	計画の期間	1
第2章	計画の基本的な考え方	
1	基本理念	2
2	教育・保育提供区域	4
第3章	三浦市の子ども・子育ての現状	
1	少子化の状況	5
2	三浦市の子どもと子育て家庭を取り巻く状況	12
第4章	量の見込みと確保方策	
1	施設・事業の概要	89
2	保育利用率の目標値	92
3	量の見込みと確保方策	93
第5章	行動計画	
1	地域における子育ての支援	99
2	母性並びに乳児及び幼児等の健康の確保及び増進	102
3	子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境づくり	107
4	子育てを支援する生活環境づくり	109
5	職業生活と家庭生活の両立の推進	110
6	子どもの安全の確保	111
7	要保護児童への対応等きめ細やかな取組の推進	112
第6章	計画の推進体制	
1	子ども・子育て支援事業計画の推進	114
2	子ども・子育て支援事業計画の進行管理	114
資料編		
	三浦市子ども・子育て会議条例	115
	三浦市子ども・子育て会議委員名簿	117
	三浦市子ども・子育て会議における	
	三浦市子ども・子育て支援事業計画審議経過	118
	パブリックコメントの実施結果	119

第1章 計画の概要

1 計画策定の趣旨

(1) 計画策定の趣旨

急速な少子高齢化の進行は、生産年齢人口の減少や社会保障負担の増加など、社会・経済への深刻な影響を与えることが懸念され、同時に家庭や地域の子育てをめぐる環境の変化も指摘されています。こういった社会動向の中、地域社会全体で子育てを支援し、子育てしやすい環境の整備をはかり、次世代を担う子どもたちが健全に育成できる社会を作る必要があります。

(2) 計画策定の経過

このような状況の中で、国は平成24年(2012年)8月に「子ども・子育て支援法」をはじめとする子ども・子育て関連3法を成立させました。これらの法律に基づいて、幼児期の学校教育や保育、地域の子育て支援の量の拡充や質の向上を進めていく「子ども・子育て支援新制度」が平成27年4月からスタートします。これに伴い市町村は、幼児期におけるより質の高い教育・保育の提供及び、地域子ども・子育て支援事業の充実を図るために「市町村子ども・子育て支援事業計画」を策定することになり、三浦市においても「三浦市子ども・子育て支援事業計画」を策定することとなりました。

2 計画の性格

(1) 計画策定の法的根拠

この計画は、「子ども・子育て支援法」の第2条の基本理念と、同法第61条に基づく市町村子ども・子育て支援事業計画であり、同第77条第1項を根拠に設置している、「子ども・子育て会議」において、委員の意見を聴取し、策定、及び進行管理を行います。

(2) 他計画との整合性

この計画は「人・まち・自然の鼓動を感じる都市 みうら」という2025年の将来都市像を掲げた「第4次三浦市総合計画」を念頭に置きながら、「三浦市地域福祉計画」等の諸計画との整合性をもつものです。また、「三浦市次世代育成支援後期行動計画」の後継としても位置付けております。

3 計画の期間

この計画は、平成26年度(2014年度)中に計画策定を行い、平成27年度(2015年度)を初年度とし、平成31年度(2019年度)までの5年間を計画の期間とします。なお、子ども・子育て支援事業計画に基づく施策の進捗状況と成果についての検証を行う進行管理については、各年度毎に「三浦市子ども・子育て会議」にて点検・評価を行います。

第2章 計画の基本的な考え方

1 基本理念と3つの基本方針

(1) 基本理念

この計画は、前章でも掲げたとおり、三浦市次世代育成支援後期行動計画の後継としての計画という側面もあり、三浦市次世代育成支援後期行動計画を継続的に進行管理していくという考え方を踏まえ、基本理念、基本方針については三浦市次世代育成支援後期行動計画を踏襲し、当計画策定当初の基本理念については「子どもと家族とみんなが楽しく元気にすごせるまち みうら」とし、今後も引き続き、進行管理を行ってまいります。

(2) 3つの基本方針

三浦市次世代育成支援後期行動計画において、基本理念実現に向けて3つの基本方針を掲げてまいりました。基本理念同様、基本方針についても前記行動計画を踏襲し、継続して進行管理を行い、子育て支援への取り組みを進めてまいります。

① 家庭における子育てを基本とし、その家庭に寄り添い、支援していきます。

子どもたちにとって、生活の基本となる場所は家庭です。また、子どもたちの健やかな成長に最も重要な役割を担うのも家庭です。子どもたちは、親や家族からのあたたかい愛情に生まれながら、家庭における生活の中で、基本的な生活習慣や倫理観、社会的規範を学び、身に付けていきます。

この行動計画では、共働き家庭やひとり親家庭だけではなく、子育てをしているすべての「家庭」の子育て力、教育力を支え、高めていく取組みを進めます。

② 地域みんなで子どもたちの成長をあたたかく見守り、支えていきます。

子育てにおいて最も重要な役割を担うのは家庭です。しかし、家庭における養育機能の低下や子どもを取り巻く環境が大きく変化してきている今日、単に子育てを個人や家庭でのみで解決されるべきものとするには大変厳しい状況があります。

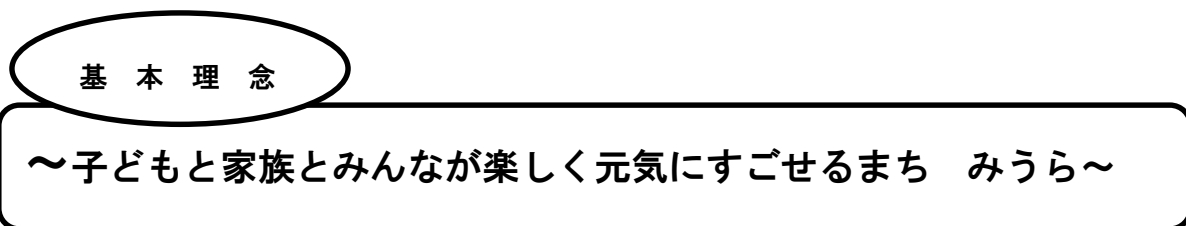
この行動計画では、次代の親となる子どもたちや子育て家庭を地域社会全体で見守り、支援していくための、地域の実情や特性を踏まえてその人的・物的資源を活用した施策と住民の主体的な取組みを進めます。

③ 次代を担う子どもたちの幸せを第一に考え、尊重していきます。

近年、子どもが被害者となる犯罪や事故、あるいは養育放棄を含めた児童虐待やいじめなど、子どもの心身に深刻な影響を与え、子どもの人権を侵害する問題が多く現れるようになってきています。

この行動計画では、子どもたちの人権を守り、すべての子どもと子育て家庭を支援する体制や環境の整備を進めます。

(3) 基本的考え方体系図



3つの基本方針

(1) 家庭における子育てを基本とし、その家庭に寄り添い、支援していきます。

(2) 地域みんなで子どもたちの成長をあたたかく見守り、支えていきます。

(3) 次代を担う子どもたちの幸せを第一に考え、尊重していきます。

7つの取り組み

- 1 地域における子育ての支援
- 2 母性並びに乳児及び幼児等の健康の確保及び増進
- 3 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境づくり
- 4 子育てを支援する生活環境づくり
- 5 職業生活と家庭生活の両立の推進
- 6 子どもへの安全の確保
- 7 要保護児童への対応等きめ細かな取組の推進

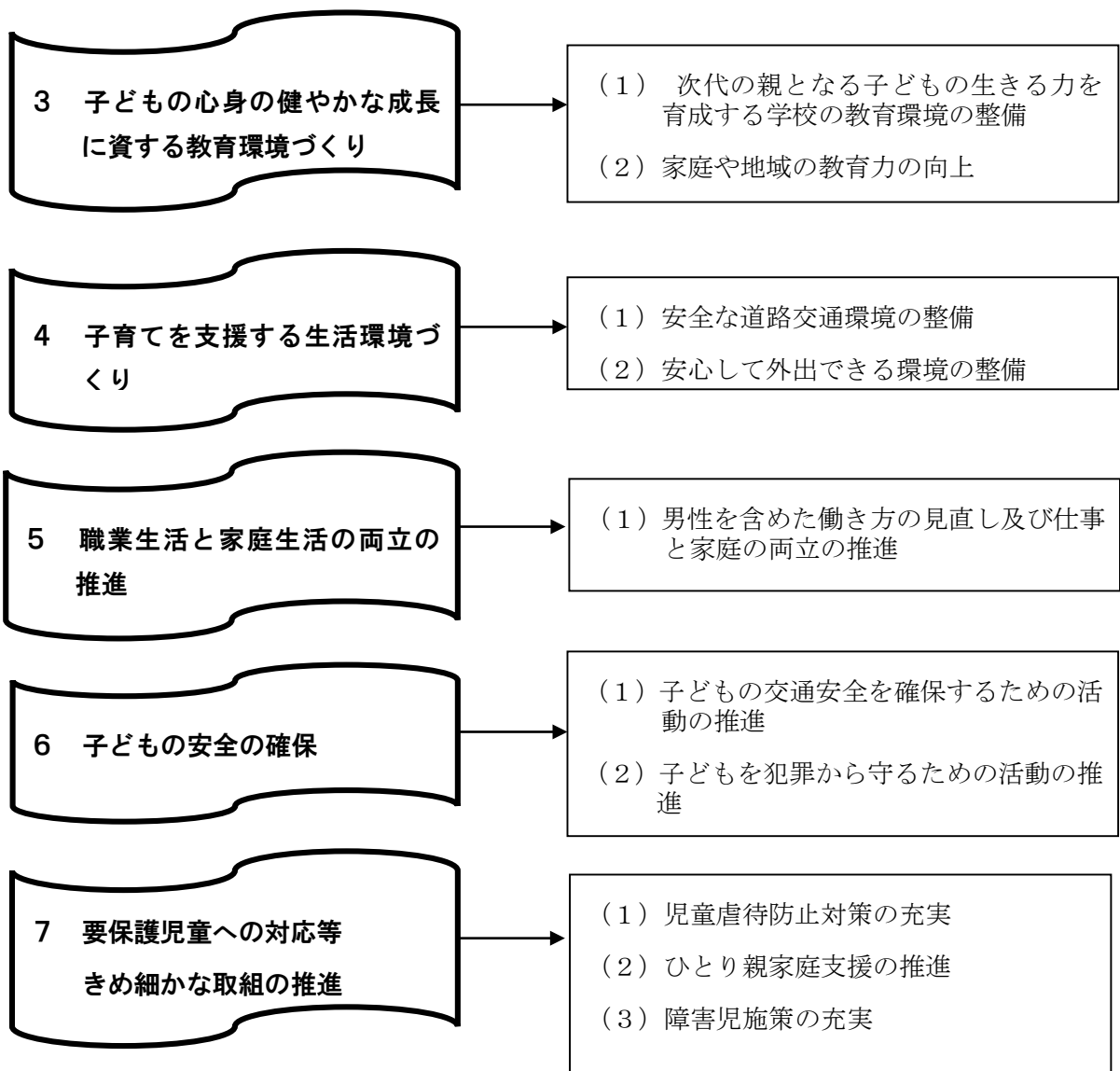
7つの取り組み

1 地域における子育ての支援

- (1) 地域における子育て支援サービスの充実及びネットワークづくり
- (2) 保育サービスの充実
- (3) 児童の健全育成
- (4) 子育てに伴う経済的負担の軽減

2 母性並びに乳児及び幼児等の健康の確保及び増進

- (1) 子どもや母親の健康の確保
- (2) 食育の推進
- (3) 思春期保健対策の充実
- (4) 小児医療の充実



2 教育・保育提供区域

新制度において、市町村は、地理的条件、人口、交通事情その他の社会的条件、現在の教育・保育の利用状況、教育・保育を提供するための施設の整備の状況その他の条件を総合的に勘案して、地域の実情に応じて、保護者や子どもが居宅より容易に移動することが可能な区域（教育・保育提供区域）を定める必要があるとされています。

計画策定に当たり、本市においても、中学校区、行政区での区域割を検討いたしましたが、地理的状況や施設の状況、現在の保育所・幼稚園等の利用状況を勘案すると、細かな区域分けをせず、市全体を一つの区域と考えていくのが適当であると判断し、教育・保育提供区域については、市全域とします。

第3章 三浦市の子ども・子育ての現状

1 少子化の状況

(1) 人口年齢構成

平成26年1月1日現在、三浦市の高齢化率は、県下19市中、一番高くなっており
ます。町村を含めても、真鶴町、湯河原町に次いで、3番目の高さとなっております。

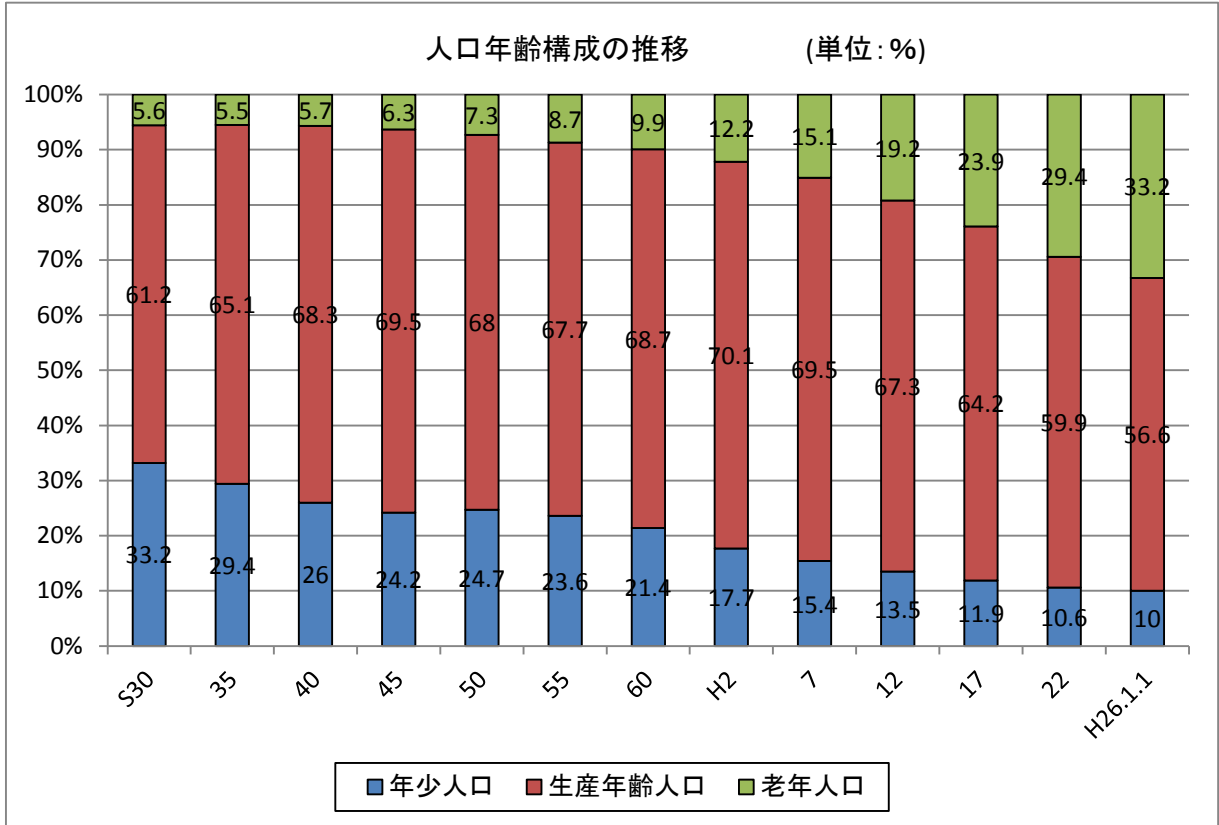
【三浦市の人口年齢構成の推移】

各年10月1日現在

年次別	人口総数	年少人口		生産年齢人口		老年人口		不詳
		0～14 歳	構成比 (%)	15～64 歳	構成比 (%)	65歳以 上	構成比 (%)	
昭和 30 年	36,358	12,078	33.2	22,241	61.2	2,039	5.6	—
35	39,811	11,721	29.4	25,904	65.1	2,186	5.5	—
40	42,601	11,083	26.0	29,076	68.3	2,442	5.7	—
45	45,532	10,993	24.2	31,664	69.5	2,875	6.3	—
50	47,888	11,822	24.7	32,579	68.0	3,487	7.3	—
55	48,687	11,506	23.6	32,960	67.7	4,212	8.7	9
60	50,471	10,796	21.4	34,693	68.7	4,982	9.9	—
平成 2 年	52,440	9,278	17.7	36,780	70.1	6,381	12.2	1
7	54,152	8,324	15.4	37,633	69.5	8,191	15.1	4
12	52,253	7,054	13.5	35,151	67.3	10,030	19.2	18
17	49,861	5,915	11.9	32,032	64.2	11,903	23.9	11
22	48,352	5,132	10.6	28,953	59.9	14,238	29.4	29
(参考) 平成 26. 1. 1	46,283	4,611	10.0	26,267	56.8	15,376	33.2	29

資料：国勢調査・H26. 1. 1 は神奈川県年齢別人口統計調査

※高齢化率とは、65歳以上の高齢者人口が総人口に占める割合



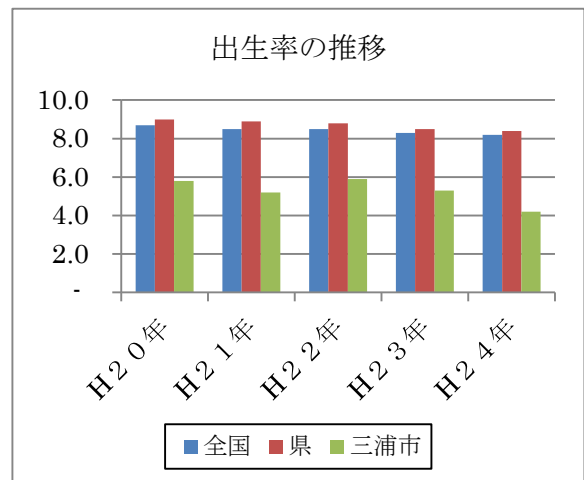
(2) 出生率及び出生数

人口千人に対する出生数の割合を示す出生数において、三浦市では、平成17年に初めて6.0を下回り、平成24年には5.0切る状況となっております。これは、全国、神奈川県と比較しても非常に低い割合となっております。

【三浦市の出生率及び出生数の推移】

年次	全国	神奈川県	三浦市	出生数
H20年	8.7	9.0	5.8	284
H21年	8.5	8.9	5.2	251
H22年	8.5	8.8	5.9	287
H23年	8.3	8.5	5.3	252
H24年	8.2	8.4	4.2	196

資料：神奈川県衛生統計年報



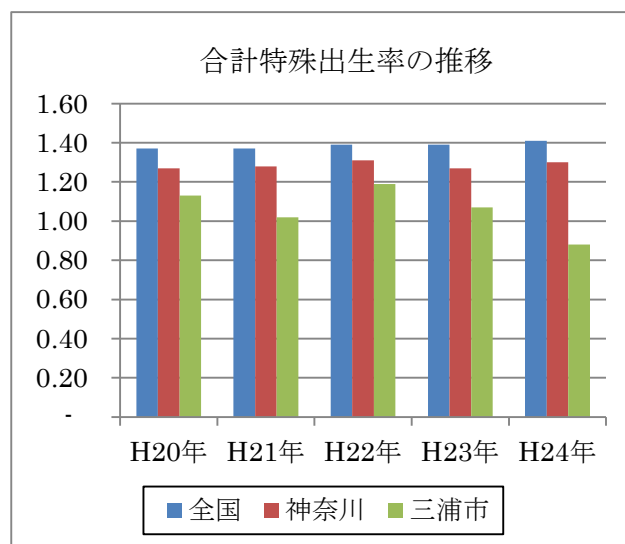
(3) 合計特殊出生率

1人の女性が一生の間に産む子供の数を示す合計特殊出生率についても、三浦市は、全国、神奈川県と比較しても低い傾向にあります。平成22年(2010年)には、1.19と過去10年間で最も高い数値となっていますが、平成24年(2012年)には、1.0を切っています。

【三浦市の合計特殊出生率の推移】

年次	全国	神奈川県	三浦市
H20年	1.37	1.27	1.13
H21年	1.37	1.28	1.02
H22年	1.39	1.31	1.19
H23年	1.39	1.27	1.07
H24年	1.41	1.30	0.88

資料：神奈川県衛生統計年報

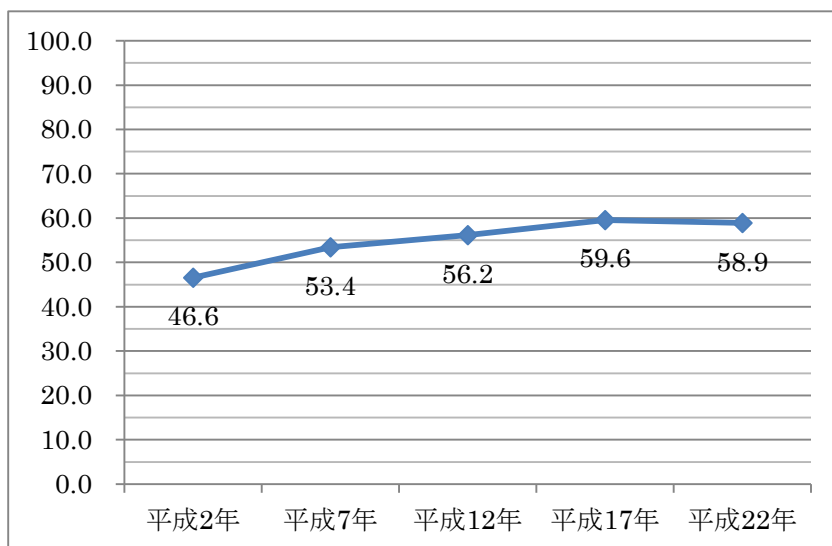


(4) 20歳から39歳までの未婚率の推移

20歳から34歳までの未婚率の推移をみると、20歳から24歳までの男性はほぼ横ばいですが、そのほかは、みな増加しています。全体でみると昭和60年(1985年)から約20%増加していますが、平成17年(2005年)から平成22年(2010年)では、若干減少しています。

年次	未婚率 (%)
平成2年	46.6
平成7年	53.4
平成12年	56.2
平成17年	59.6
平成22年	58.9

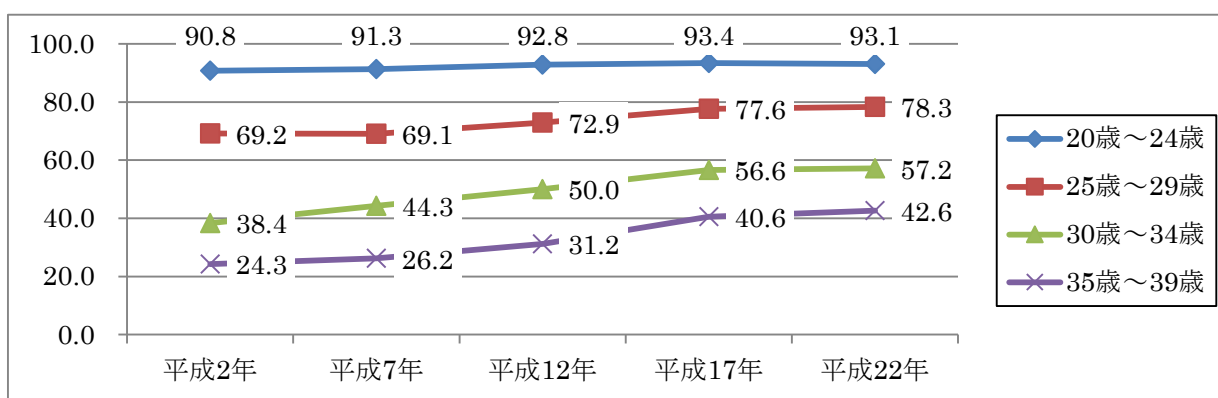
資料：国勢調査



【男性】

年次	年齢別未婚率(%)			
	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳
平成2年	90.8	69.2	38.4	24.3
平成7年	91.3	69.1	44.3	26.2
平成12年	92.8	72.9	50.0	31.2
平成17年	93.4	77.6	56.6	40.6
平成22年	93.1	78.3	57.2	42.6

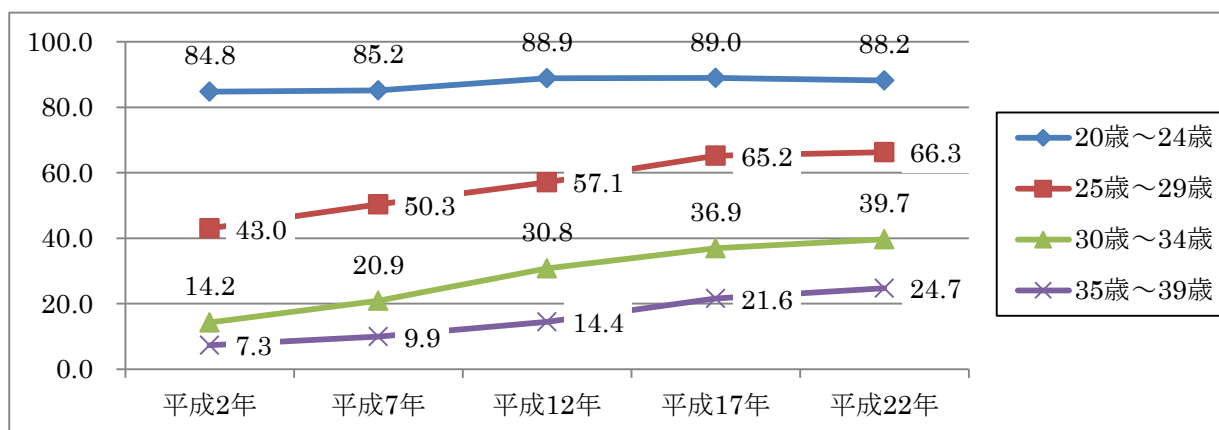
資料：国勢調査



【女性】

年次	年齢別未婚率(%)			
	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳
平成2年	84.8	43.0	14.2	7.3
平成7年	85.2	50.3	20.9	9.9
平成12年	88.9	57.1	30.8	14.4
平成17年	89.0	65.2	36.9	21.6
平成22年	88.2	66.3	39.7	24.7

資料：国勢調査



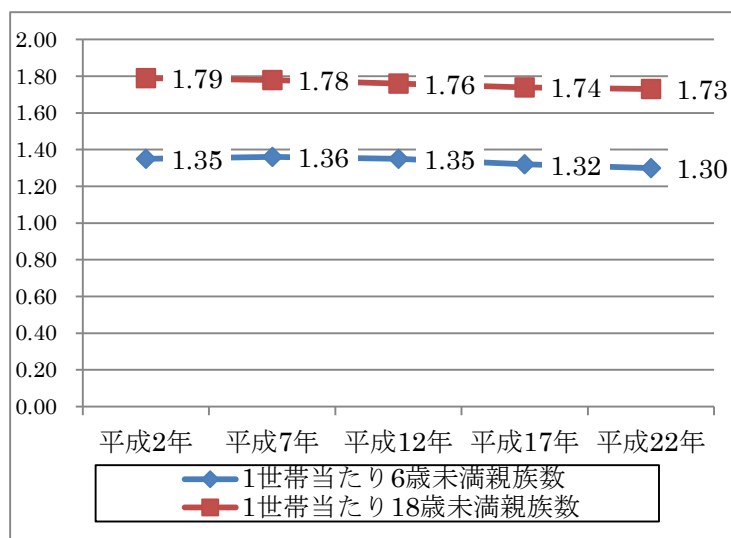
(5) 一世帯当たりの子ども数の推移

一世帯当たりの6歳未満の子供の数及び18歳未満の子供の数の推移をみると、平成2年(1990年)から平成12年(2000年)まではほぼ横ばいですが、平成17年より減少しており、平成22年も引き続き減少傾向となっております。

【1世帯当たりの子ども数の推移】

年次	1世帯当たり6歳未満親族数	1世帯当たり18歳未満親族数
平成2年	1.35	1.79
平成7年	1.36	1.78
平成12年	1.35	1.76
平成17年	1.32	1.74
平成22年	1.30	1.73

資料：国勢調査



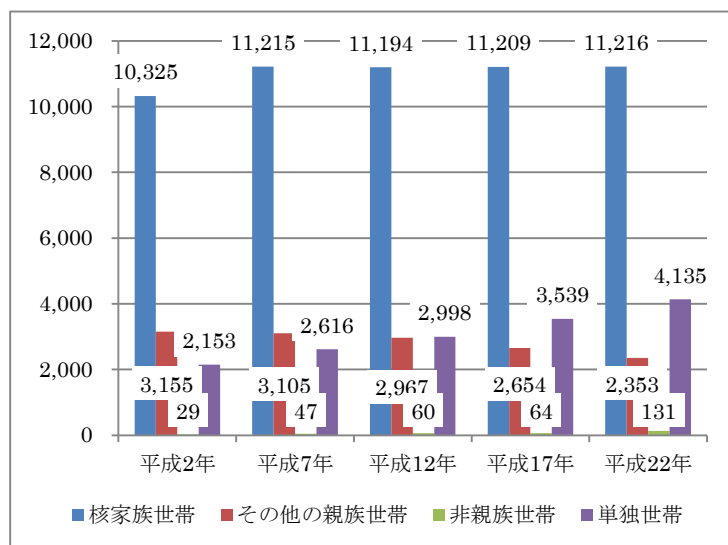
(6) 家族類型別一般世帯数の推移

家族類型別一般世帯数の推移をみると、核家族は平成7年(1995年)まで増加しましたが、その後は横ばいとなっております。一方単独世帯は平成2年(1990年)から、平成22年(2010年)までの20年間で、およそ2倍の増加となっております。

【家族類型別一般世帯数の推移】

年次	核家族世帯	その他の親族世帯	非親族世帯	単独世帯
平成2年	10,325	3,155	29	2,153
平成7年	11,215	3,105	47	2,616
平成12年	11,194	2,967	60	2,998
平成17年	11,209	2,654	64	3,539
平成22年	11,216	2,353	131	4,135

資料：国勢調査

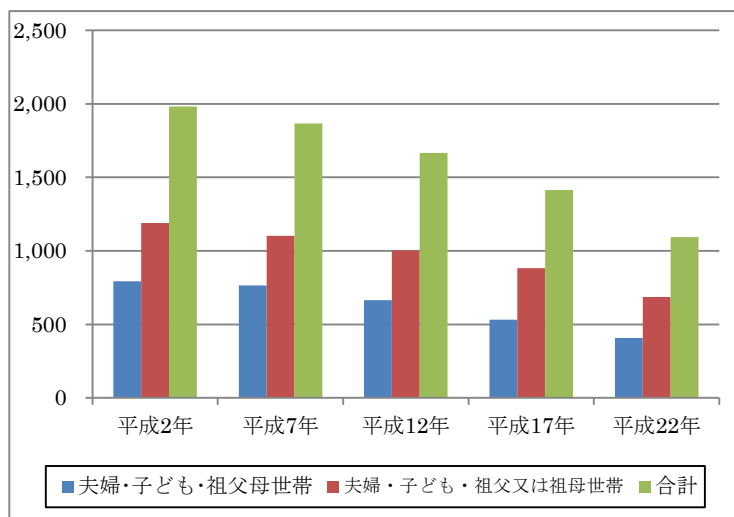


(7) 祖父・祖母と同居をしている世帯数の推移

祖父・祖母と同居をしている世帯数の推移を見ると、祖父母または祖父もしくは祖母と同居している世帯数は、年代を追って徐々に減少しています。

年次	夫婦・子ども・ 祖父母世帯	夫婦・子ども・ 祖父又は祖 母世帯	合計
平成2年	793	1,190	1,983
平成7年	765	1,102	1,867
平成12年	665	1,002	1,667
平成17年	532	882	1,414
平成22年	407	686	1,093

資料：国勢調査

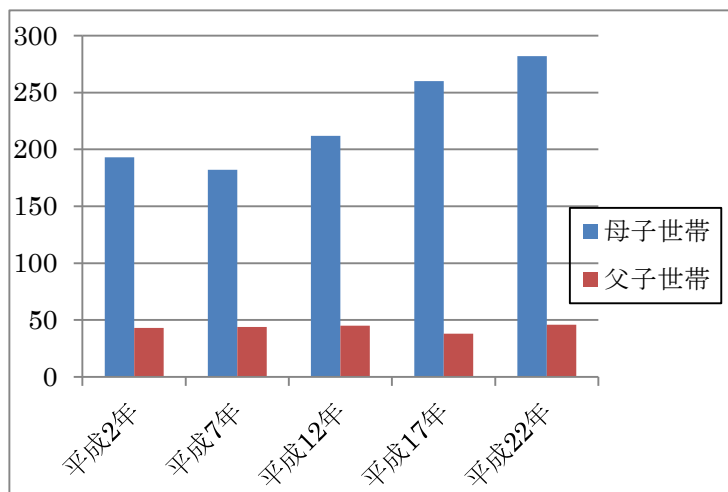


(8) 母子・父子世帯数の推移

母子・父子世帯の推移を見てみると、父子世帯においては、平成17年(2005年)に若干の減少が見られましたが、ほぼ横ばいとなっていますが、母子世帯においては、平成7年(1995年)に減少していますが、その後は大幅に増加し、平成7年(1995年)からの15年間で、ほぼ1.5倍に増加しています。

年次	母子世帯	父子世帯
平成2年	193	43
平成7年	182	44
平成12年	212	45
平成17年	260	38
平成22年	282	46

資料：国勢調査



(9) 女性の就業率の推移

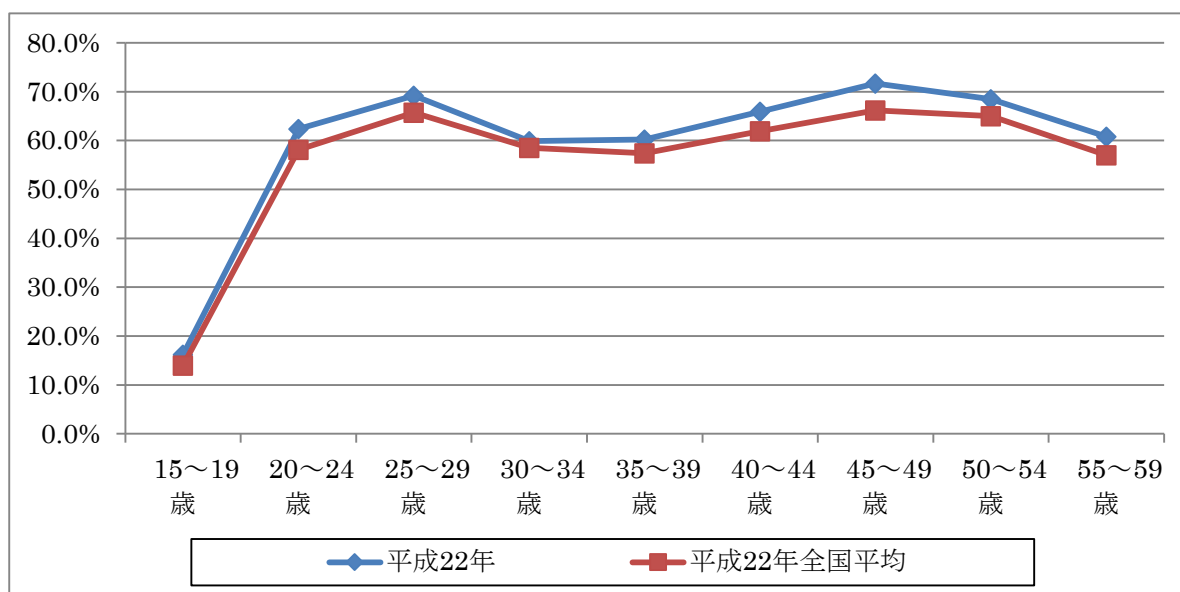
女性の年齢別による就業率の推移は、いずれも30歳代前半で一度落ち込み、その後40歳代後半までは、再度上昇する傾向となっております。

平成22年(2010年)における三浦市の女性の就業率は、全年齢階層において、全国平均を上回っております。

区分	平成12年	平成17年	平成22年	平成22年全国平均
15～19歳	16.7%	19.4%	16.2%	14.0%
20～24歳	68.6%	65.8%	62.4%	58.1%
25～29歳	62.6%	69.7%	69.2%	65.7%
30～34歳	53.4%	59.7%	59.9%	58.5%
35～39歳	59.4%	62.4%	60.2%	57.4%
40～44歳	62.2%	72.2%	65.9%	61.9%
45～49歳	66.4%	69.4%	71.7%	66.2%
50～54歳	63.1%	66.7%	68.5%	65.0%
55～59歳	57.4%	61.2%	60.8%	57.0%

資料：国勢調査

【平成22年の三浦市の女性の就業率と全国平均の比較】



2 三浦市の子どもと子育て家庭を取り巻く状況

(1) 三浦市子ども・子育て支援事業計画策定に向けたアンケート調査の概要

今回、この三浦市子ども・子育て支援事業計画を策定するにあたり、市民の子育ての現状やニーズ、意見を把握し、それを踏まえたものとなるよう、その基礎となる調査を行いました。

① 調査の目的

本調査は、平成26年度に策定する「三浦市子ども・子育て支援事業計画」の資料として、教育・保育・子育て支援の利用状況及び、必要量（ニーズ）、意見を把握するための調査として実施しました。

② 調査対象

三浦市在住の就学前児童を持つ世帯。

③ 調査方法

- ア 抽出方法 対象世帯全世帯
- イ 抽出件数 1,750件
- ウ 調査票の配布・回収方法 郵送配布・郵送回収
- エ 調査実施時期 平成26年2月7日から平成26年2月20日まで。
*ただし3月3日までの到着分については集計対象としました。

④ 回収状況

- ア 配布数 1,750件
- イ 回収数 1,062件
- ウ 回収率 60.7%
- エ 有効回答数 1,750件

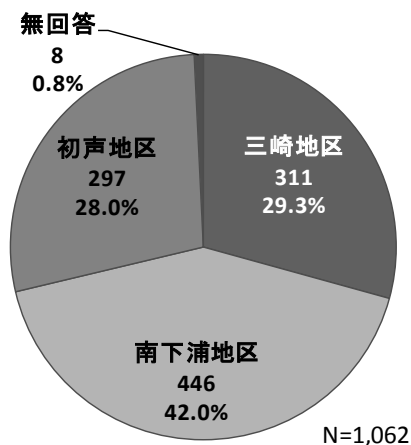
(2) ニーズ調査結果の概要

調査結果の見方について

- ・ 図（グラフ）の中で使用されているアルファベットの意味は次のとおり。
 - SA：単一回答（シングルアンサー）の設問
 - MA：複数回答（マルチアンサー）の設問
 - N：その設問に対する回答者数
- ・ 回答の比率（すべて百分率（%）で表示）は、その設問の回答者数を基数（件数）として算出している。したがって、複数回答の設問の場合、すべての比率を合計すると100%を超える場合がある。また、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合がある。
- ・ 複数回答や選択肢の数が多い質問については、見やすさを考慮しグラフではなく表を掲載しているが、クロス集計表は次の2種類を使い分けている。
 - ①回答順位表—選択肢の中で、第1位の項目を黒の塗り潰しで白抜き文字で表示している。
 - ②特性把握表—属性別にみて、全体の数値と比べて10ポイント以上数値が高い項目については、グレーで塗りつぶしている。
- ・ 図表において、回答の選択肢表記を簡略化している場合がある。

お住まいの地域について

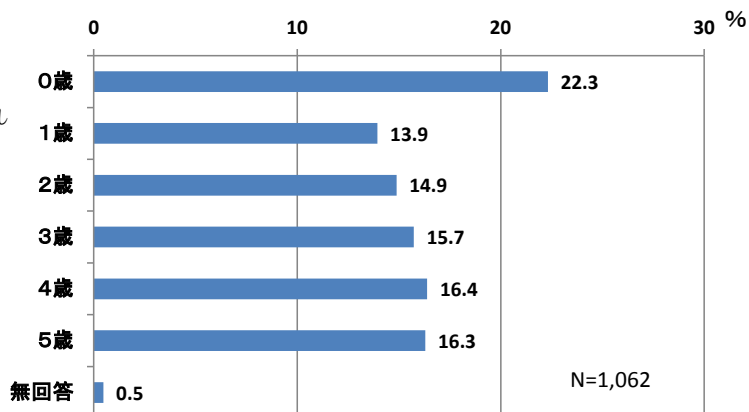
問1 お住まいの地区（○は1つ）



お子さんご家族の状況について

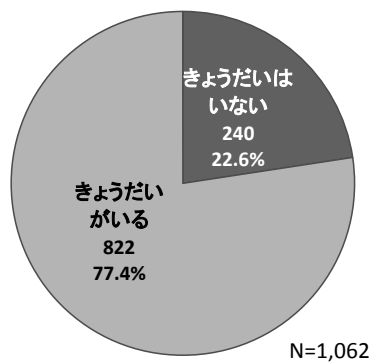
問2 あて名のお子さんの生年月（数字で記入）

平成 年 月生まれ

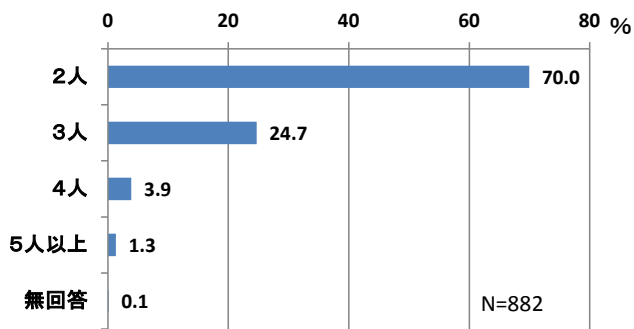


問3 あて名のお子さんのきょうだいはあて名のお子さんを含めて何人ですか。（数字で記入）お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

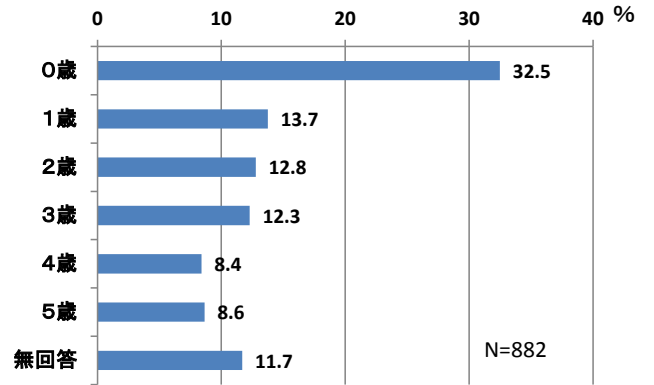
きょうだい数 人 末子の生年月 平成 年 月生まれ



きょうだい数

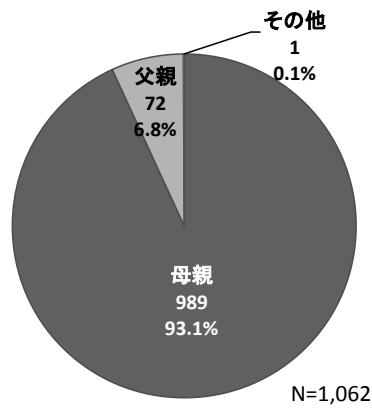


末子の年齢



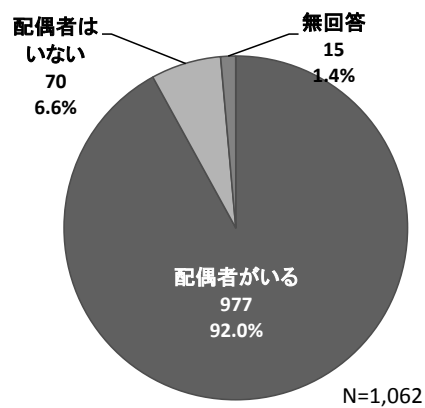
○2人兄弟の世帯が70%を占め、3人以上の子のいる世帯は約25%である。

問4 この調査票にご回答いただく方はあて名のお子さんからみてどなたですか。（○は1つ）



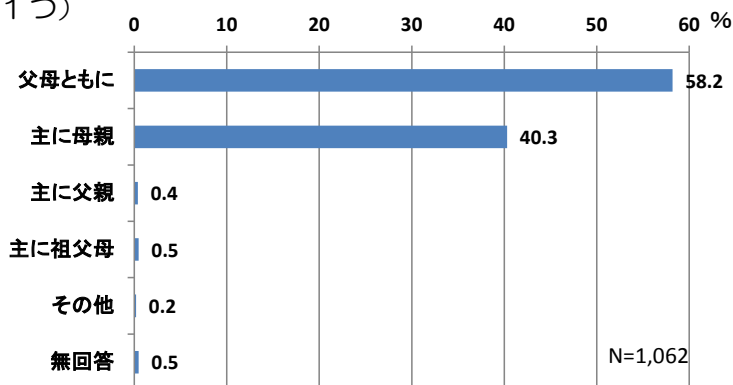
○母親が回答しているケースが93.1%を占める。

問5 この調査票にご回答いただいている方に配偶者はいらっしゃいますか。（○は1つ）



○配偶者のいない世帯は6.6%である。

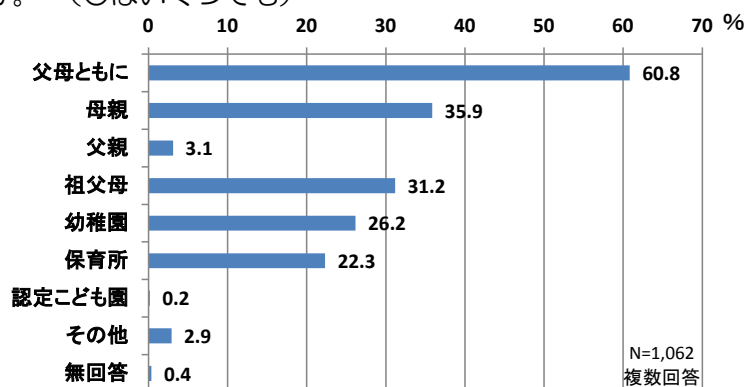
問6 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはあて名のお子さんからみてどなたですか。（〇は1つ）



〇子育てを主に行っているのは父母ともにが58.2%を占め、主に母親が40.3%である。

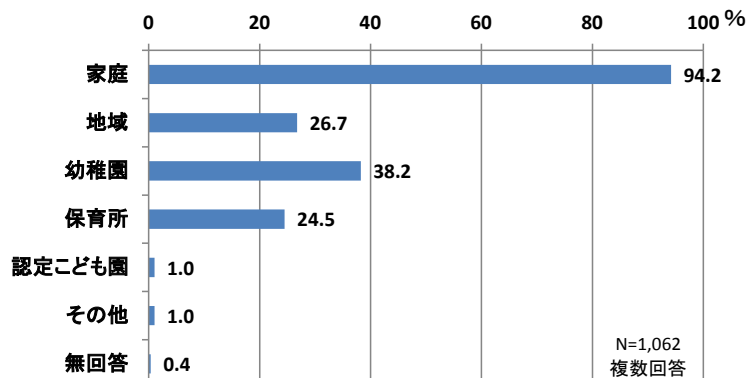
子どもの育ちをめぐる環境について

問7 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はあて名のお子さんからみてどなた（施設）ですか。（〇はいくつでも）



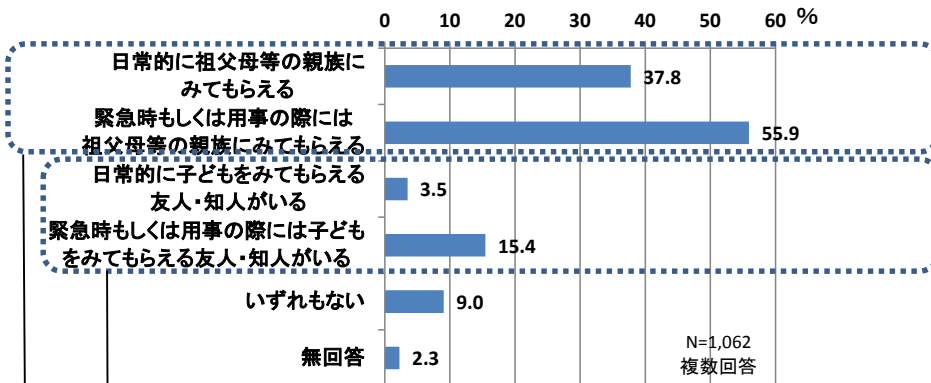
〇子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方は、父母ともにが60.8%で最も多く、次いで母親が35.9%、祖父母が31.2%である。

問8 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境は何ですか。（〇はいくつでも）

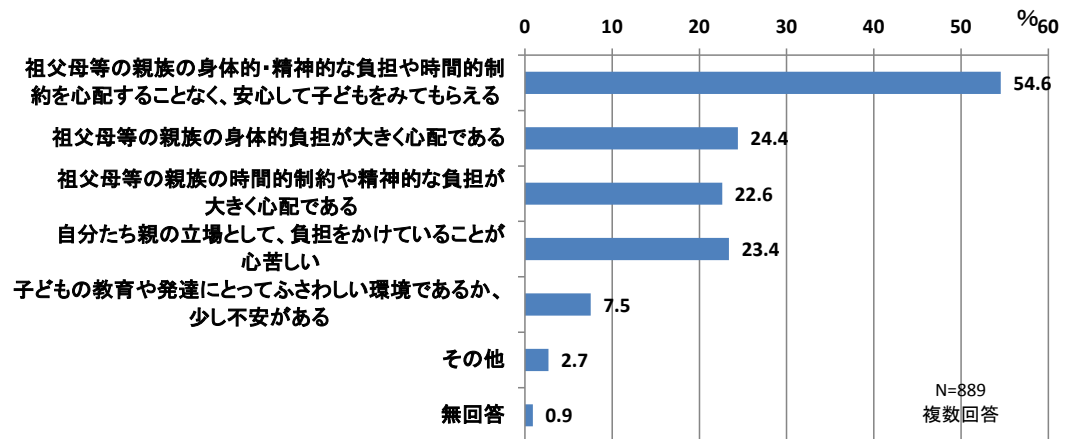


〇子育て（教育を含む）にもっとも影響すると思われる環境は、家庭が94.2%で最も多く、次いで幼稚園が38.2%、地域が26.7%である。

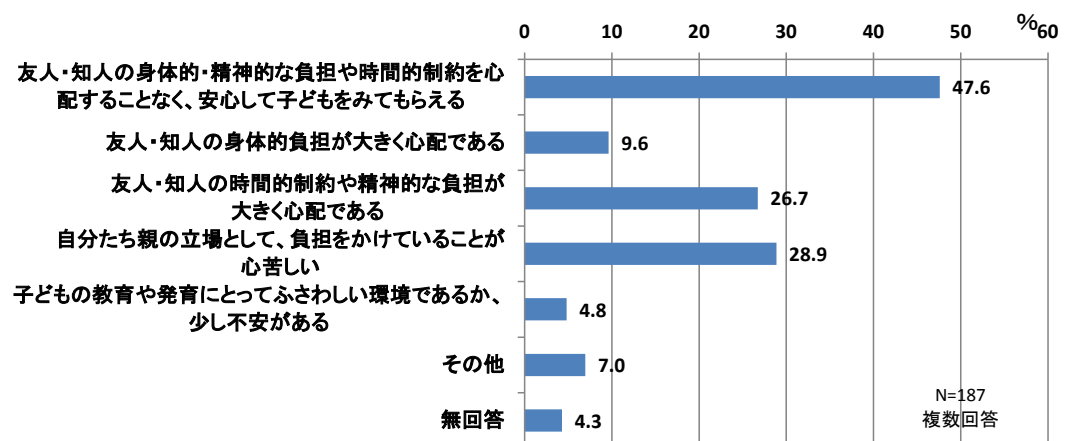
問9 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(〇はいくつでも)



問9-1 問9で「1.」または「2.」に回答された方につながいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(〇はいくつでも)



問9-2 問9で「3.」または「4.」に回答された方につながいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(〇はいくつでも)



日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人（各種属性別）

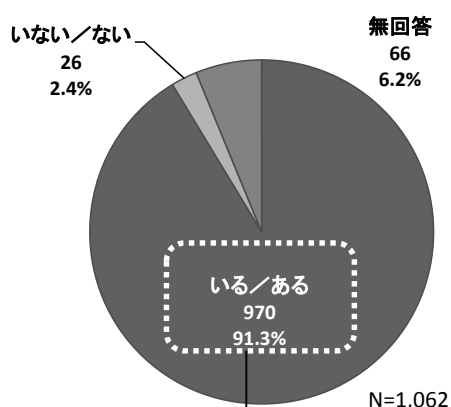
	合計	問9日頃、子どもをみてもらえる親族・知人						
		日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	いずれもない	無回答	
全体	1062	37.8	55.9	3.5	15.4	9.0	2.3	
問2 子の年齢	0歳	237	40.1	57.0	2.1	11.4	11.4	0.8
	1歳	148	27.7	59.5	0.0	10.8	10.8	2.7
	2歳	158	39.9	57.0	1.9	17.1	6.3	1.9
	3歳	167	46.7	53.9	5.4	14.4	6.0	4.2
	4歳	174	38.5	54.0	5.2	19.5	8.0	0.6
	5歳	173	31.8	55.5	6.4	19.7	9.8	4.0
問3 きょうだいの有無	きょうだいはいない	240	34.6	55.4	1.7	10.4	11.7	1.7
	きょうだいがある	822	38.7	56.1	4.0	16.9	8.3	2.4
問5 配偶者の有無	配偶者がいる	977	37.6	56.8	3.7	16.0	9.0	1.4
	配偶者がいない	70	41.4	50.0	0.0	10.0	8.6	7.1
問39 世帯の年収	～200万円	86	43.0	53.5	0.0	11.6	8.1	2.3
	200～300万円	143	46.2	48.3	2.8	13.3	11.2	1.4
	300～400万円	208	32.7	65.9	5.3	12.5	3.4	3.4
	400～500万円	197	33.5	57.9	2.0	16.2	8.6	2.5
	500～700万円	268	41.0	54.9	4.9	17.5	9.7	0.7
	700～1,000万円	98	31.6	44.9	3.1	20.4	17.3	1.0
	1,000万円以上	30	30.0	66.7	3.3	16.7	6.7	3.3
問15 「定期的な教育・保育の事業」の利用	利用している	635	38.6	54.5	5.0	17.2	8.2	2.2
	利用していない	410	36.8	58.3	1.2	12.4	10.5	1.7
問15-1平日、年間を通じて「定期的に」利用している教育・保育の事業	幼稚園	348	42.5	52.6	6.9	21.3	7.8	2.0
	幼稚園の預かり保育	41	41.5	51.2	7.3	29.3	4.9	4.9
	認可保育所	241	34.4	57.7	2.5	12.0	9.1	1.2
	認定こども園	3	0.0	100.0	0.0	33.3	0.0	0.0
	家庭的保育	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	事業所内保育施設	4	25.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	自治体の認証・認定保育施設	4	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0
	その他の認可外の保育施設	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	居宅訪問型保育	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ファミリー・サポート・センター	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他	17	29.4	76.5	11.8	11.8	0.0	0.0	
問32 現在、子育てをしていて、楽しさと大変さのどちらを感じる人が多いか	楽しさを感じる	309	38.8	54.0	4.2	21.0	7.1	1.0
	どちらかといえば楽しさを感じる	274	38.3	54.4	4.0	16.8	10.6	2.9
	楽しさと大変さを同等に感じる	360	36.1	58.9	3.6	13.1	8.1	2.8
	どちらかといえば大変さを感じる	92	35.9	55.4	0.0	4.3	13.0	3.3
	大変さを感じる	17	52.9	58.8	0.0	0.0	11.8	0.0
問33 お住まいの地域における子育ての環境や支援の満足度	満足度が低い	192	25.0	52.6	4.7	16.1	19.8	3.1
	満足度がやや低い	346	33.2	64.7	3.2	13.9	6.9	2.0
	満足度は普通	365	47.1	54.2	2.7	15.1	4.7	2.2
	満足度がやや高い	117	45.3	51.3	5.1	15.4	5.1	1.7
	満足度が高い	33	24.2	30.3	3.0	36.4	27.3	0.0
問31 現在、子育てで感じている悩み（統合）	悩みがある	825	38.8	55.9	3.3	13.9	9.1	2.3
	悩みはない	227	34.8	54.6	4.4	21.1	9.3	2.2
問38 子育てについて、気軽に相談できる人（統合）	親族・友人・近所の人	1020	38.2	56.0	3.5	16.0	8.5	2.1
	子育ての専門スタッフ	485	40.0	56.5	4.9	16.9	7.4	1.9
	とくにいない	47	29.8	63.8	4.3	6.4	14.9	4.3
問40 子育てにかかっている1カ月の費用	2万円未満	367	38.7	56.9	3.0	15.5	9.8	1.1
	2～4万円未満	425	33.4	59.3	3.1	16.2	7.8	3.5
	4～6万円未満	190	44.2	50.0	4.7	16.8	8.9	1.6
	6～8万円未満	52	42.3	48.1	3.8	7.7	9.6	3.8
	8万円以上	11	45.5	45.5	9.1	9.1	18.2	0.0

○子育てに対する周囲からの支え（育児の手伝い）は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が55.9%と、もっとも多く、次いで、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が37.8%。「いずれもない」は9%。

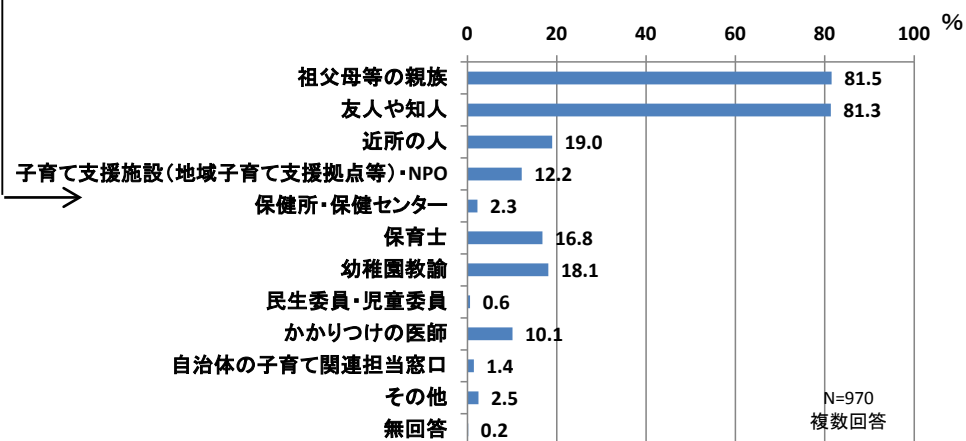
日頃、子どもをみてもらえる親族・知人（地域・就労状況別）

		合計	問9日頃、子どもをみてもらえる親族・知人					
			日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	いずれもない	無回答
全体		1062	37.8	55.9	3.5	15.4	9.0	2.3
問1 お住まいの地区	三崎地区	311	39.9	53.1	3.2	17.0	9.0	2.9
	南下浦地区	446	33.9	60.1	2.9	13.2	10.1	1.8
	初声地区	297	41.1	53.2	4.7	17.5	7.4	2.4
世帯の就労状況	ひとり親家庭	66	42.4	50.0	0.0	10.6	9.1	6.1
	共稼ぎ(フルタイム)	180	40.6	54.4	2.8	12.2	6.7	1.1
	共稼ぎ(パート)	221	41.6	55.2	5.9	20.4	7.7	1.4
	専業主婦・主夫	522	33.3	58.8	2.7	15.3	11.1	1.7
	その他	73	46.6	46.6	6.8	13.7	4.1	8.2

問10 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。（〇は1つ）



問10-1 問10で「1. いる/ある」に回答された方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか。（〇はいくつでも）



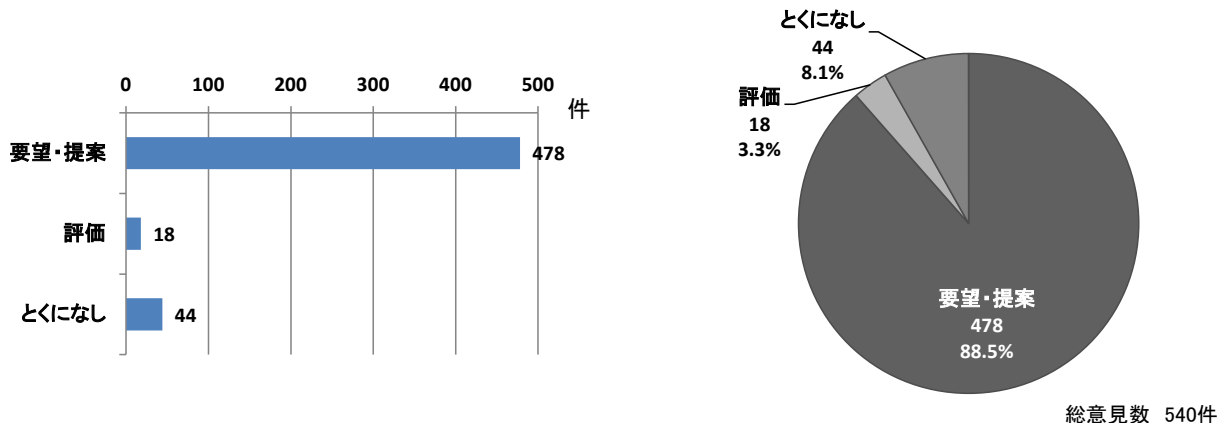
気軽に相談できる人（各種属性別）

	合計	問10-1気軽に相談できる先											
		祖父母等の親族	友人や知人	近所の人	子育て支援施設（地域子育て支援拠点等）・NPO	保健所・保健センター	保育士	幼稚園教諭	民生委員・児童委員	かかりつけの医師	自治体の子育て関連担当窓口	その他	無回答
全体	970	81.5	81.3	19.0	12.2	2.3	16.8	18.1	0.6	10.1	1.4	2.5	0.2
問2 子の年齢													
0歳	219	85.8	79.9	14.2	15.5	3.7	8.7	2.7	0.9	12.3	1.8	2.7	0.5
1歳	135	85.9	80.7	14.8	20.0	2.2	20.0	3.7	0.7	6.7	3.7	3.0	0.7
2歳	145	83.4	82.8	23.4	13.8	2.1	17.9	17.2	1.4	9.7	0.0	2.8	0.0
3歳	153	78.4	81.0	13.7	5.9	1.3	21.6	30.1	0.0	11.1	2.0	2.6	0.0
4歳	156	80.1	80.8	26.9	11.5	3.2	21.8	32.7	0.6	10.3	0.0	1.9	0.0
5歳	157	75.2	83.4	22.3	5.7	0.6	15.3	26.8	0.0	8.3	1.3	1.3	0.0
問3 きょうだいの有無													
きょうだいはいない	211	87.7	76.3	12.8	10.9	2.4	22.3	8.5	0.5	10.4	2.4	2.8	0.0
きょうだいがいる	759	79.8	82.7	20.7	12.5	2.2	15.3	20.8	0.7	10.0	1.2	2.4	0.3
問5 配偶者の有無													
配偶者がいる	894	82.3	81.2	19.4	12.6	2.1	15.7	18.8	0.6	10.4	1.6	2.6	0.2
配偶者がいない	66	78.8	81.8	15.2	6.1	4.5	30.3	12.1	1.5	4.5	0.0	1.5	0.0
問39 世帯の年収													
～200万円	77	80.5	79.2	16.9	5.2	5.2	28.6	13.0	0.0	6.5	0.0	1.3	0.0
200～300万円	132	82.6	77.3	13.6	7.6	3.0	16.7	20.5	0.8	14.4	1.5	3.8	0.8
300～400万円	192	82.8	85.9	20.8	14.1	2.1	9.4	17.7	0.0	9.9	0.5	1.0	0.0
400～500万円	183	83.6	80.9	18.6	13.7	2.7	17.5	17.5	0.0	5.5	2.2	3.3	0.0
500～700万円	249	82.3	81.5	20.5	14.1	1.2	17.7	19.3	1.2	8.8	2.0	1.2	0.4
700～1,000万円	87	71.3	82.8	19.5	14.9	1.1	23.0	20.7	0.0	17.2	2.3	3.4	0.0
1,000万円以上	27	81.5	70.4	11.1	7.4	0.0	14.8	14.8	3.7	11.1	0.0	7.4	0.0
問15 「定期的な教育・保育の事業」の利用													
利用している	577	78.0	81.5	20.8	8.8	2.3	25.3	27.6	0.3	9.4	0.9	2.8	0.2
利用していない	380	86.8	80.8	15.8	17.6	2.4	3.7	4.2	1.1	11.1	2.4	2.1	0.3
問15-1平日、年間を通じて「定期的に」利用している教育・保育の事業													
幼稚園	324	76.5	83.3	24.7	9.0	1.2	0.6	44.8	0.3	9.6	0.9	1.5	0.0
幼稚園の預かり保育	41	75.6	80.5	12.2	4.9	0.0	0.0	46.3	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0
認可保育所	212	79.2	78.8	14.2	6.1	4.2	65.1	0.9	0.5	8.5	0.9	5.2	0.5
認定こども園	1	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
家庭的保育	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
事業所内保育施設	2	100.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
自治体の認証・認定保育施設	4	100.0	100.0	50.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の認可外の保育施設	2	100.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
居宅訪問型保育	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ファミリー・サポート・センター	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	17	94.1	88.2	23.5	35.3	0.0	5.9	29.4	0.0	11.8	0.0	5.9	0.0
問32 現在、子育てをしながら、楽しさと大変さのどちらを感じる人が多いか													
楽しさを感じる	290	81.4	83.1	15.9	13.1	3.1	17.9	14.8	0.7	9.0	0.3	2.8	0.3
どちらかといえば楽しさを感じる	250	84.8	84.8	22.4	13.6	0.4	14.0	20.8	1.2	11.6	1.2	1.2	0.0
楽しさと大変さを同等に感じる	329	78.1	79.3	17.3	9.4	1.8	19.5	18.8	0.3	10.9	2.7	2.7	0.3
どちらかといえば大変さを感じる	78	92.3	71.8	19.2	12.8	3.8	11.5	19.2	0.0	6.4	0.0	3.8	0.0
大変さを感じる	14	64.3	85.7	42.9	35.7	14.3	0.0	28.6	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0
問33 お住まいの地域における子育ての環境や支援の満足度													
満足度が低い	171	73.1	81.3	18.1	8.8	1.2	12.3	20.5	0.0	8.8	0.6	1.2	0.0
満足度がやや低い	312	82.7	79.8	16.0	11.5	1.6	16.3	17.6	0.3	9.3	1.0	3.2	0.0
満足度は普通	341	85.9	83.0	20.2	9.7	2.1	18.8	17.9	0.9	12.0	1.8	2.9	0.3
満足度がやや高い	110	81.8	81.8	21.8	27.3	3.6	20.0	17.3	1.8	7.3	3.6	0.9	0.9
満足度が高い	30	70.0	86.7	33.3	13.3	10.0	13.3	20.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
問31 現在、子育てで感じている悩み（統合）													
悩みがある	746	81.0	81.1	17.4	12.5	2.1	16.8	16.6	0.7	9.4	1.9	2.7	0.3
悩みはない	213	84.5	83.1	23.9	10.8	2.3	16.9	23.5	0.5	13.1	0.0	1.4	0.0
問38 子育てについて、気軽に相談できる人（統合）													
親族・友人・近所の人	949	82.7	82.3	19.3	12.2	2.1	16.2	18.2	0.6	10.1	1.4	2.2	0.2
子育ての専門スタッフ	448	81.5	84.6	22.1	21.0	4.0	31.9	33.3	1.3	19.2	2.7	2.5	0.2
とくにいない	26	57.7	69.2	7.7	0.0	0.0	26.9	23.1	0.0	3.8	3.8	46.2	0.0

○子育て（教育を含む）について、気軽に相談できる人は「祖父母等の親族」81.5%と「友人や知人」81.3%がほぼ並ぶ。次いで「近所の人」19%、「幼稚園教諭」18.1%。

問 11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えですか。自由にお書きください。

回答のあった件数 413 件
意見総数 540 件



評価された内容

意見の内容		件数
相談	話を聞いてくれる人がいる	1
集いの場	子育て支援活動が良かった	2
母親に対する支援	家族に感謝	2
声かけ・見守り・地域での子育て	声かけがありがたい	1
経済的支援	経済的支援が助かる	2
訪問・連絡	個別訪問がうれしかった	1
	助産師訪問がうれしかった	1
幼稚園・保育園	幼稚園の保育が充実している	3
支援センター等	支援センターがよかった	1
現状で満足		4
		18

要望・提案の種類と主な内容

分野	サポートの種類	件数	主な意見の内容
子育て支援	307	一時預かり	133 緊急時に預けられる場所、気軽に預けられる環境づくり
		相談	53 気軽に相談できる場所、話を聞いてくれるだけでよい
		母親に対する支援	38 いざというときに頼れるサービス、家事の支援
		声かけ・見守り・地域での子育て	27 声かけ、地域全体での子育て
		経済的支援	16 医療費助成の充実、経済的支援
		子育て支援	16 職員の資質向上、土日の窓口・相談
		訪問・連絡	11 定期的な訪問・連絡、個別訪問の実施
		幼稚園・保育園	4 幼稚園の保育が充実している、保育園入園条件の緩和
		支援センター等	4 支援センターの増設・充実
		送迎	5 幼稚園・保育園の送迎支援
行政	50	子どもの遊び場	44 公園の整備、子ども同士で遊べる場所
		商業	4 子連れで行けるお店
		啓発	2 温かい目で見してほしい
交流	50	集いの場	41 親同士で交流できる場、同年齢の子と知り合える場づくり
		イベント	9 安価・無料のイベント
情報	44	情報	44 子育て情報・教育情報の提供
教育	15	知育	15 学べる場づくり、図書館の充実
医療	8	医療	8 病院の充実
その他	4	その他	4
		合計	478

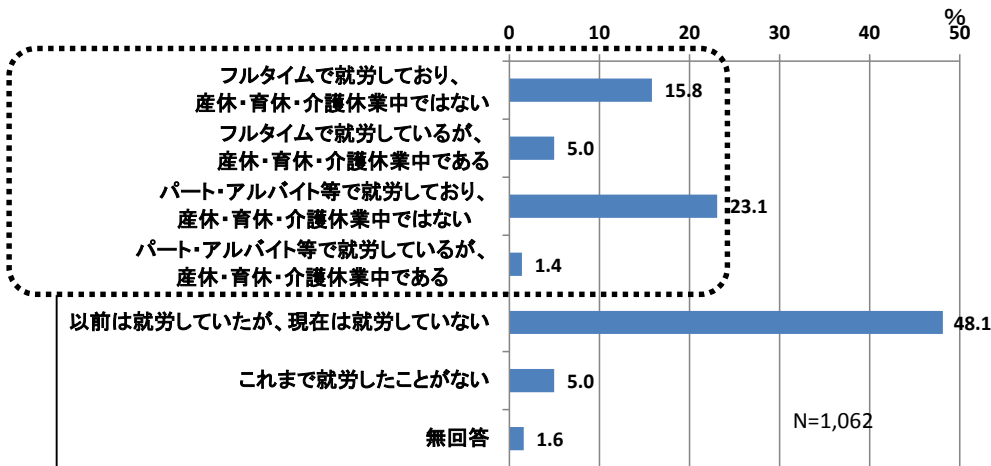
要望・提案の内容(詳細)

サポートの内容	総計	サポートの内容	総計
一時預かり	133	経済的支援	18
緊急時に預けられる場所	27	医療費助成の充実	8
気軽に預けられる環境づくり	21	経済的支援	5
病児保育	20	子育てに関する支援の拡充	3
一時預かりの充実	16	経済的支援が助かる	2
ファミリーサポートの導入	14	子育て支援	16
短時間見てもらえるサービス	12	職員の資質向上	6
ベビーシッター、自宅での保育	9	土日の窓口・相談	5
学童保育の充実	8	地域間格差の是正	2
長期休暇中に預けられる場所	2	不満がある	2
未就園児を預けられるサービス	2	家族以外のサポート	1
保育ママ	1	知育	15
相談	54	学べる場づくり	4
気軽に相談できる場所	23	図書館の充実	4
話を聞いてくれるだけでよい	7	学校教育の充実	2
相談できる人	6	小中学生のボランティア活動	1
電話相談	5	職業指導	1
子育て経験者の体験談	4	食育	1
健診を利用しての相談	2	体力づくり	1
成長やタイプに応じたアドバイス	2	本のプレゼント	1
定期的に相談できるサポート	2	訪問・連絡	13
外国語での相談	1	定期的な訪問・連絡	6
専門家との相談	1	個別訪問の実施	5
話を聞いてくれる人がいる	1	個別訪問がうれしかった	1
子どもの遊び場	44	助産師訪問がうれしかった	1
公園の整備	13	イベント	9
子ども同士で遊べる場所	5	安価・無料のイベント	3
親子で遊べる施設	5	気軽に参加できるイベント	3
小さい子が遊べる場所	4	親子で楽しめる企画	1
安心して遊べる場所	3	体験型イベント	1
雨天時に遊べる施設・室内施設	3	未就園児対象のイベント	1
気軽に遊びに行ける場所	3	医療	8
土日、放課後に遊べる場所	3	病院の充実	5
遊び相手になってほしい	3	救急体制の整備	2
児童館の整備	2	健診の充実	1
情報	44	夜間でも預けられる場所	1
子育て情報・教育情報の提供	28	幼稚園・保育園	7
医療に関する情報提供	5	幼稚園の保育が充実している	3
行政情報・地域の情報の提供	4	保育園入園条件の緩和	2
幼稚園・保育園・学校での様子	3	保育園での相談	1
情報誌の充実	2	保育園での病児保育	1
情報発信	2	支援センター等	5
集いの場	43	支援センターの増設・充実	4
親同士で交流できる場	12	支援センターがよかった	1
同年齢の子と知り合える場づくり	9	送迎	5
集まれる場所が欲しい	7	幼稚園・保育園の送迎支援	3
「みまぐっこ」のような取組の充実、年齢拡大	5	運転代行・子育てタクシー	2
サークル活動	3	商業	4
近隣での赤ちゃん教室の充実	2	子連れで行けるお店	2
子育て支援活動が良かった	2	商業の充実	2
親子で交流できる場	2	啓発	2
参加必須の行事を設ける	1	温かい目で見てほしい	1
母親に対する支援	40	父子家庭への理解	1
いざというときに頼れるサービス	14	その他	4
家事の支援	10	リサイクル	2
母親がリフレッシュできる環境づくり	9	その他	2
産後ケア	3	とくになし	44
家族に感謝	2	現状で満足	4
母親の心のサポート	2	総計	540
声かけ・見守り・地域での子育て	28		
声かけ	8		
地域全体での子育て	8		
見守り	7		
地域の高齢者とのふれあい	4		
声かけがありがたい	1		

保護者の就労状況について

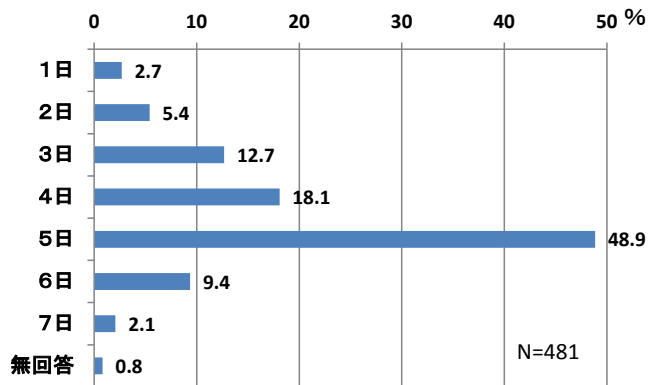
問 12 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者を含む）をうかがいます。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】(○は1つ)

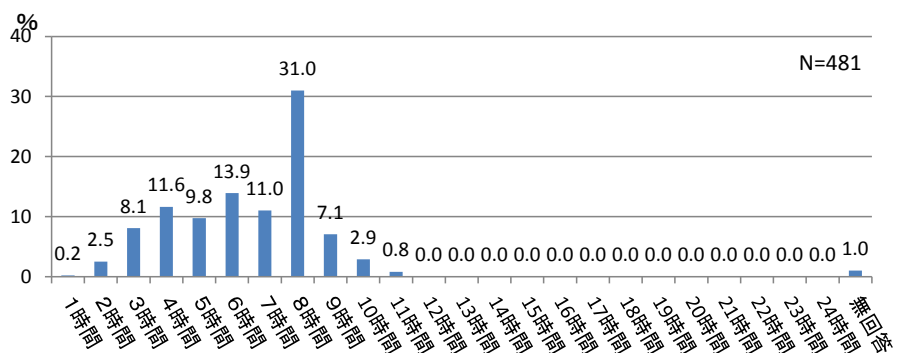


(1) -1 (1)で「1. ~ 4.」(就労している)に回答された方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(数字を記入)

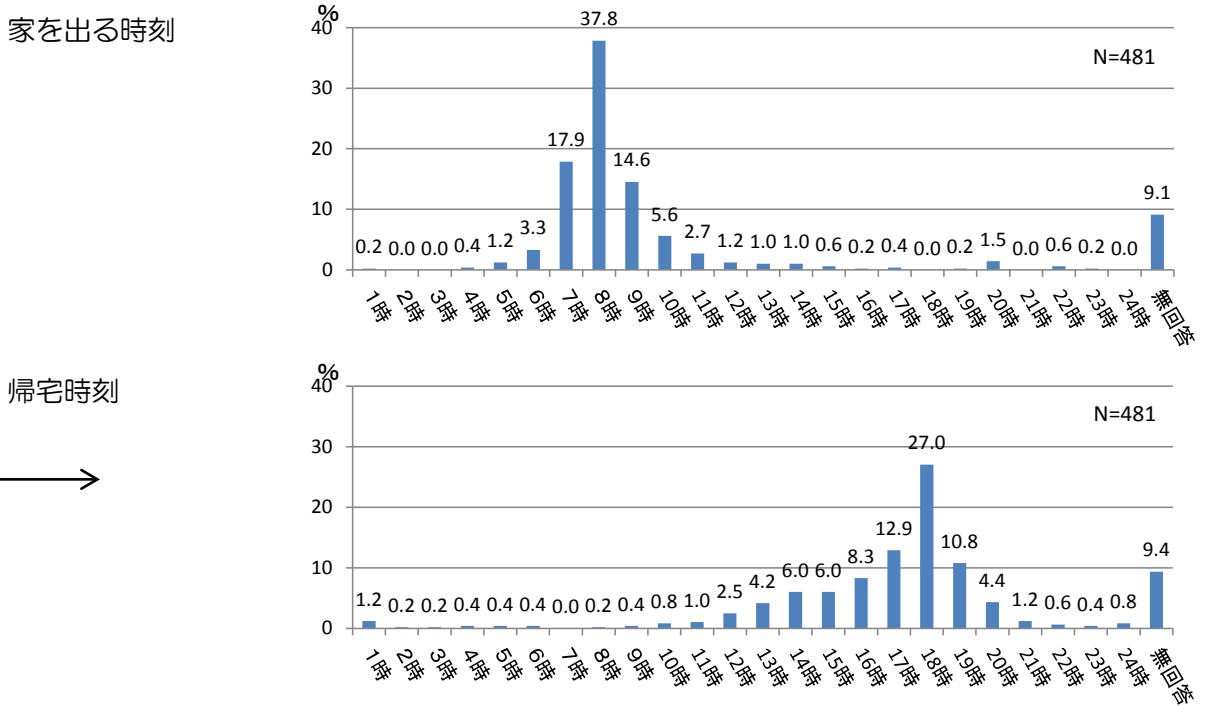
1週当たりの「就労日数」



1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」



(1) -2 (1)で「1. ～ 4.」(就労している)に回答された方にかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(数字を記入)時間は、必ず(例)08時～18時のように、24時間制で記入してください。



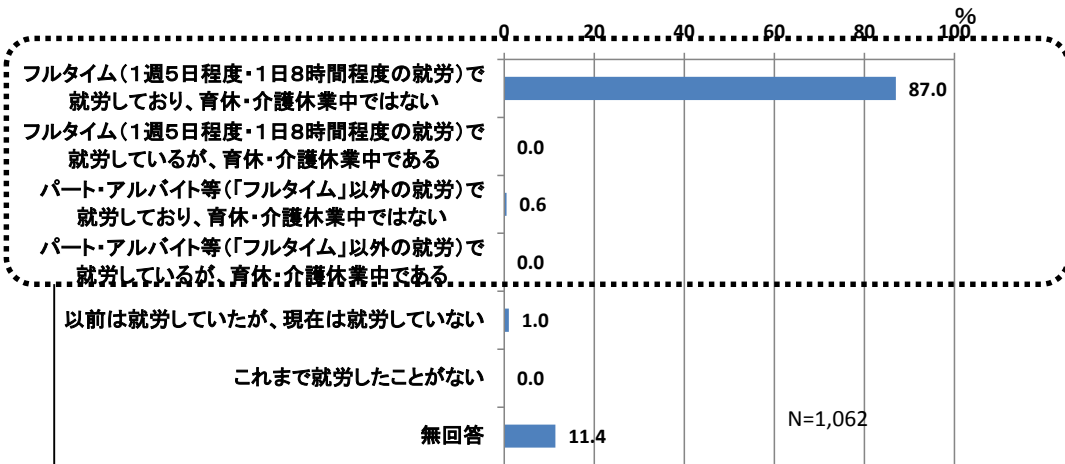
○就労していない母親は53.1%、フルタイムの就労は20.8%、パートタイムの就労は24.5%、育休等も含む就労中の45.3%のうち、週5日以上勤務が60.3%、週4日勤務が18.1%、週3日勤務が12.7%。1日8時間以上労働が41.8%、6～7時間労働が24.9%、5時間以内労働が32.2%。
○休業中も含む就労している母親の55.7%が7～8時台に家を出て、50.7%が17～19時台に帰宅。

母親の就労状況(地域別・就労状況別)

	合計	問12(1)【母親】現在の就労状況							
		フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答	
問1 お住まいの地区	全体	1062	15.8	5.0	23.1	1.4	48.1	5.0	1.6
	三崎地区	311	15.4	2.9	30.2	0.6	46.3	2.9	1.6
	南下浦地区	446	16.8	6.1	18.8	0.0	49.8	5.8	2.7
	初声地区	297	15.2	5.7	21.5	4.4	47.8	5.4	0.0
世帯の就労状況	ひとり親家庭	66	42.4	0.0	31.8	1.5	15.2	4.5	4.5
	共稼ぎ(フルタイム)	180	73.3	26.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	共稼ぎ(パート)	221	0.0	0.0	93.7	6.3	0.0	0.0	0.0
	専業主婦・主夫	522	0.6	0.0	0.0	0.0	90.2	9.2	0.0
	その他	73	6.8	6.8	23.3	0.0	41.1	2.7	19.2

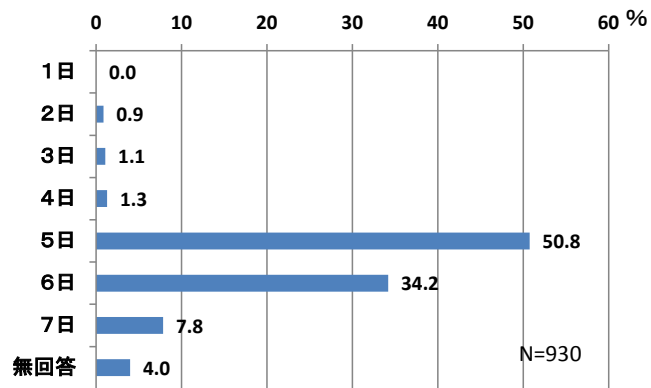
○母親の就労状況に関しては、顕著な地域の差はみられない。
○フルタイムで就労していた母親の26.7%は育休などの休職をとっている。
○ひとり親の母親のうち、フルタイムは42.4%、パートタイムは33.3%、19.7%は就労していない。
○現在、専業主婦の方のうち、90.2%の方は以前、就労していた。

(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】(○は1つ)

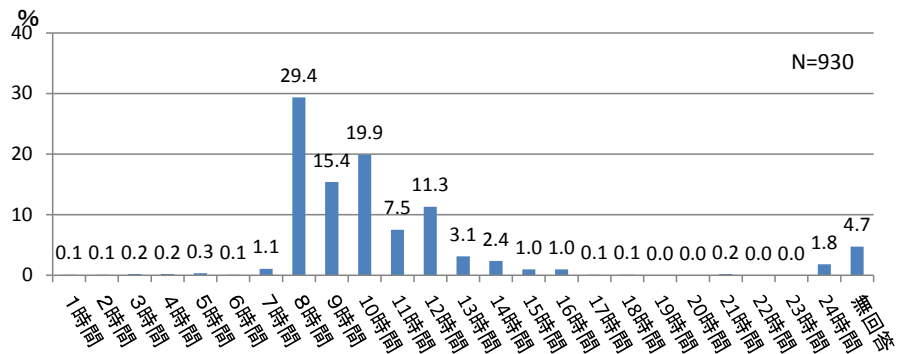


(2) -1 (2)で「1. ~4.」(就労している)に回答された方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(数字を記入)

1週当たりの「就労日数」

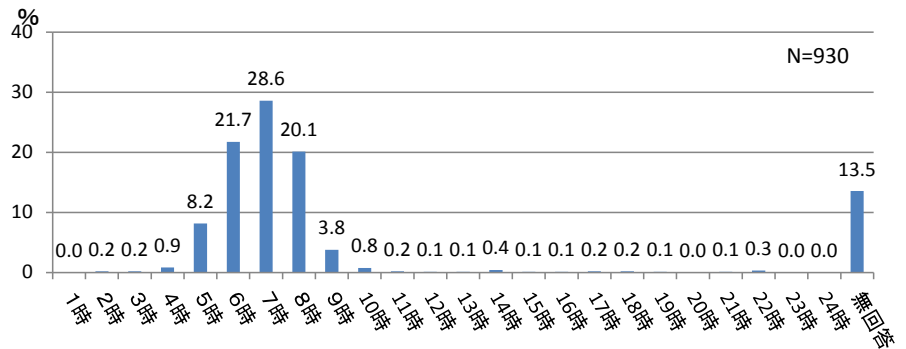


1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」

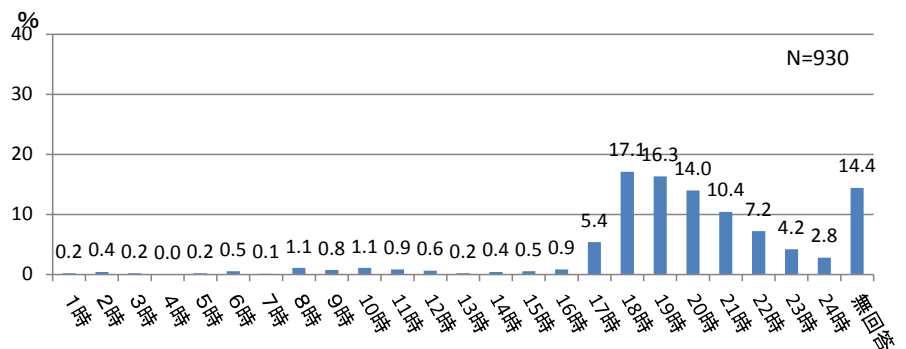


(2) -2 (2)で「1. ~4.」(就労している)に回答された方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(数字を記入)時間は、必ず(例)08時~18時のように、24時間制で記入してください。

家を出る時刻



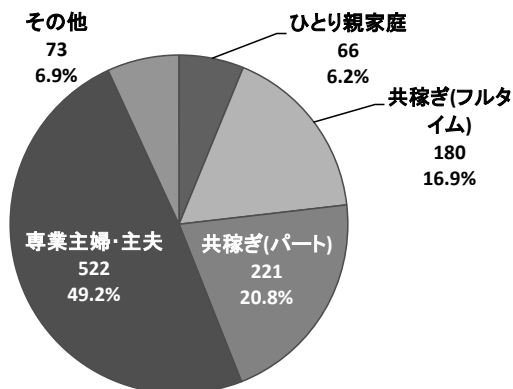
帰宅時刻



○父親の87%がフルタイム、産休・育休・介護休業中の人はいない。就労中の87.6%のうち、週5~6日勤務が84.9%、1日8時間以上労働が93.1%。
 ○就労中の父親の70.4%が6~8時台に家を出て、22.5%が17~18時台に、52.2%が19~23時台に帰宅。

就労状況

- 共稼ぎフルタイムの夫婦は、全体の16.9%。
- どちらかがパートの共稼ぎは、20.8%。
- どちらかが就労していない専業主婦・専業主夫は、49.2%。
- 問5で配偶者はいないと答えたひとり親は6.2%。



N=1,062

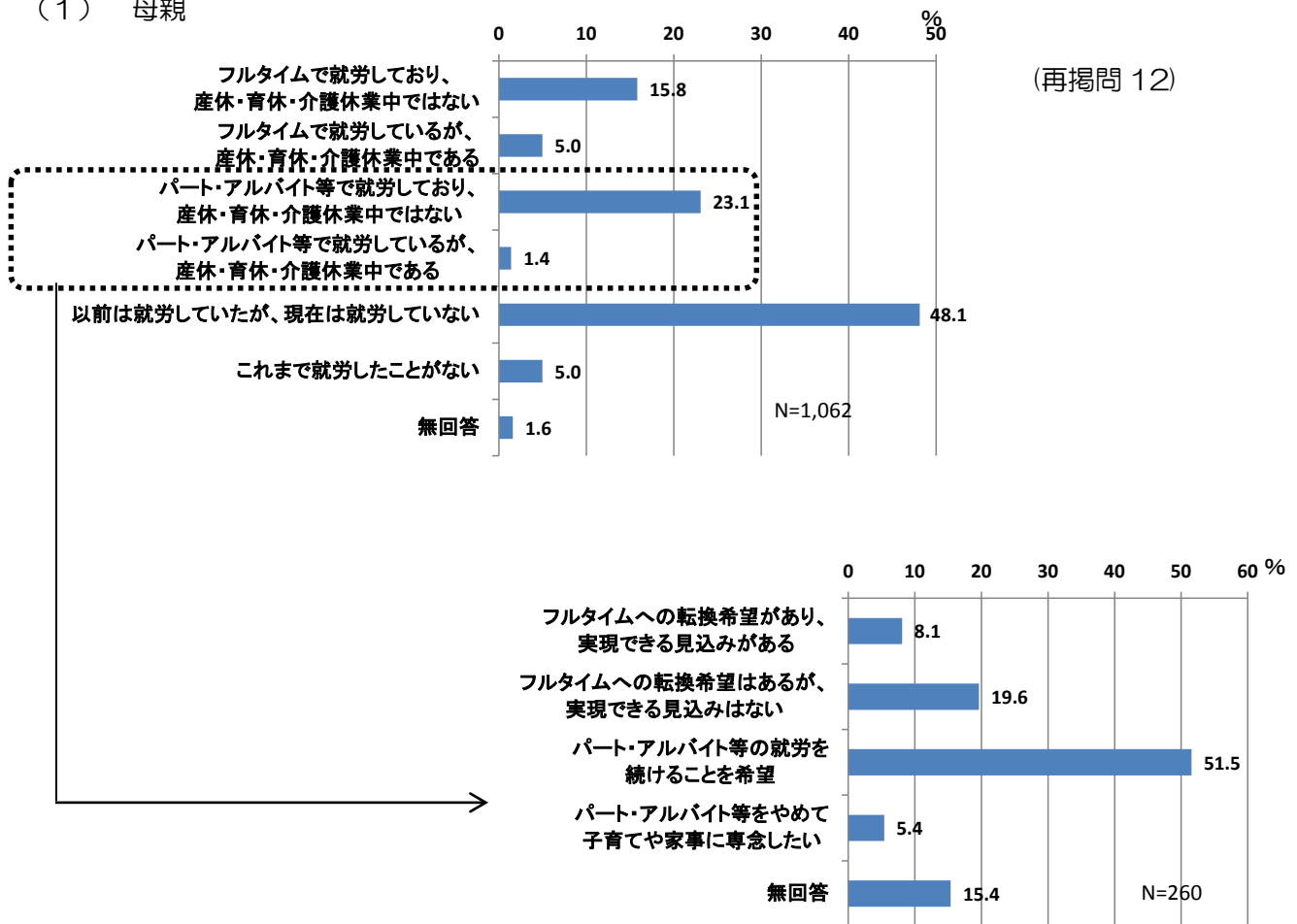
	合計	問12(2)【父親】現在の就労状況							
		フルタイム	フルタイム(休業中)	パート・アルバイト等	パート・アルバイト等(休業中)	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答	
全体	1062	87.0	0.0	0.6	0.0	1.0	0.0	11.4	
問12(1) 【母親】 現在の就労状況	フルタイム	168	78.6	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	19.6
	フルタイム(休業中)	53	90.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.4
	パート・アルバイト等	245	83.3	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	15.5
	パート・アルバイト等(休業中)	15	93.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7
	以前は就労していたが、現在は就労していない	511	91.6	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	6.3
	これまで就労したことがない	53	90.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.4
	無回答	17	58.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	41.2

共稼ぎフルタイム	
共稼ぎパート	
専業主婦・主夫	
ひとり親	
その他	

問 13 問 12 の (1) または (2) で「3・4」(パート・アルバイト等で就労している) に回答された方にかかっています。該当しない方は、問 14 へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。(〇は1つ)

(1) 母親

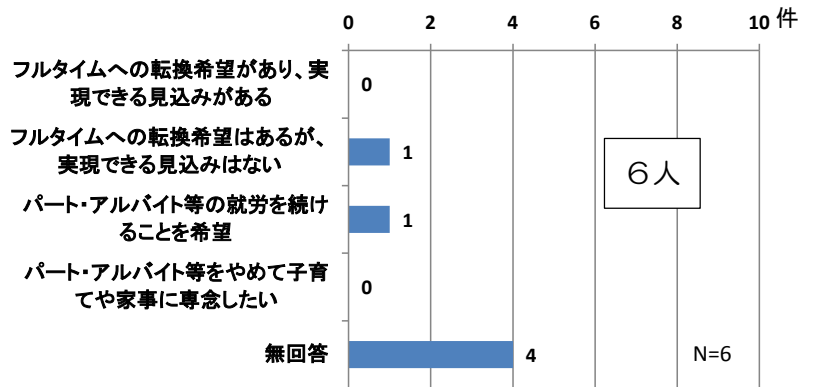
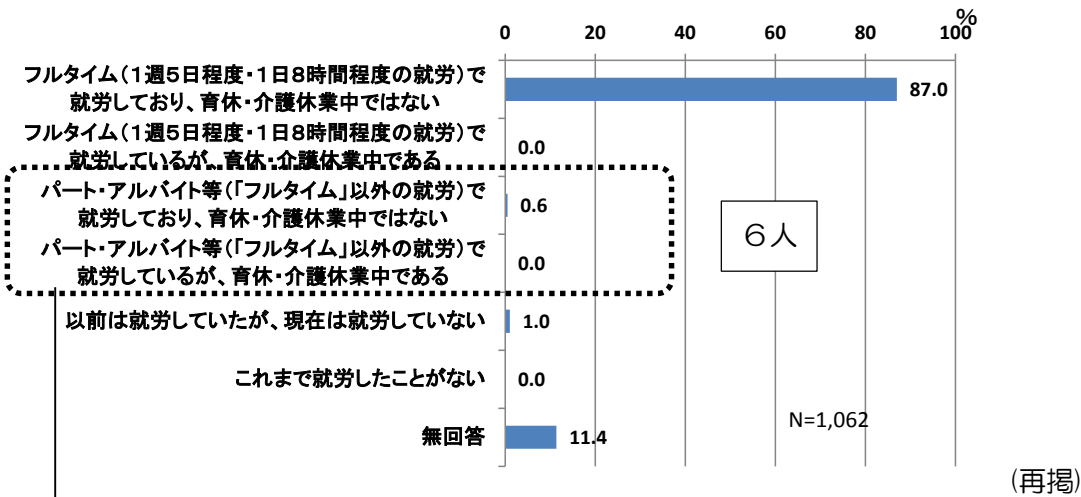


		問13(1)【母親】フルタイムへの転換希望					
		合計	フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	無回答
	全体	260	8.1	19.6	51.5	5.4	15.4
問 1 お住まいの地区	三崎地区	96	8.3	16.7	50.0	11.5	13.5
	南下浦地区	84	10.7	29.8	41.7	2.4	15.5
	初声地区	77	5.2	11.7	64.9	1.3	16.9
世帯の就労状況	ひとり親家庭	22	13.6	40.9	27.3	18.2	0.0
	共稼ぎ(フルタイム)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	共稼ぎ(パート)	221	8.1	17.6	53.4	4.1	16.7
	専業主婦・主夫	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	17	0.0	17.6	58.8	5.9	17.6

〇母親でパート・アルバイト等の就労者のフルタイムへの転換希望は、27.7%、パート就労を続けることを希望は、51.5%。パート就労をやめて子育てや家事に専念したい方は5.4%。

〇ひとり親の母親でパートの就労をしている方のうち、40.9%の方がフルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みがない。

(2) 父親

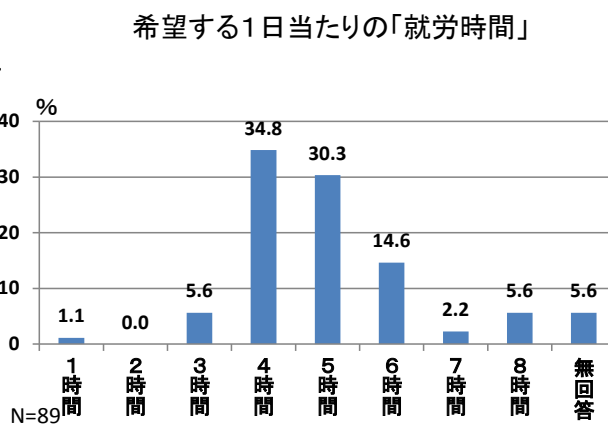
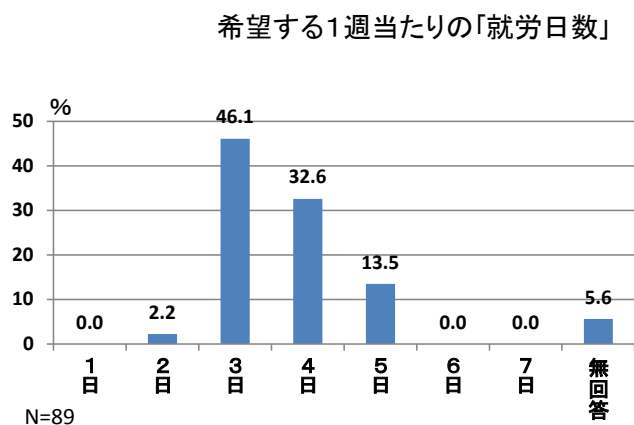
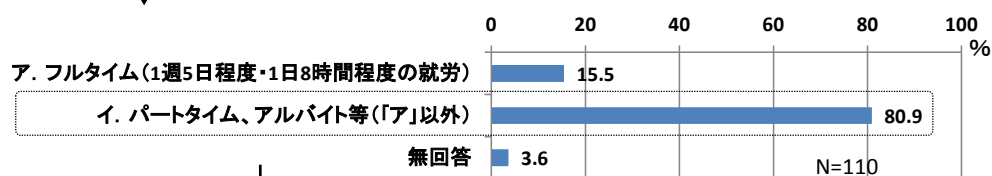
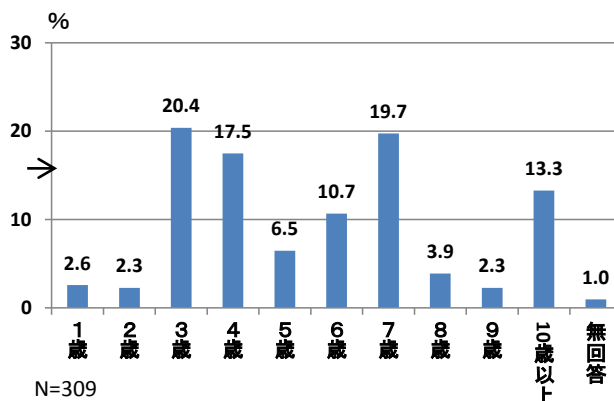
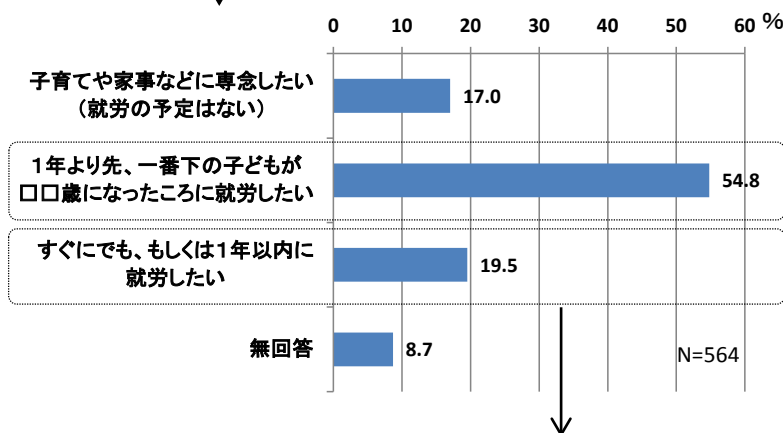
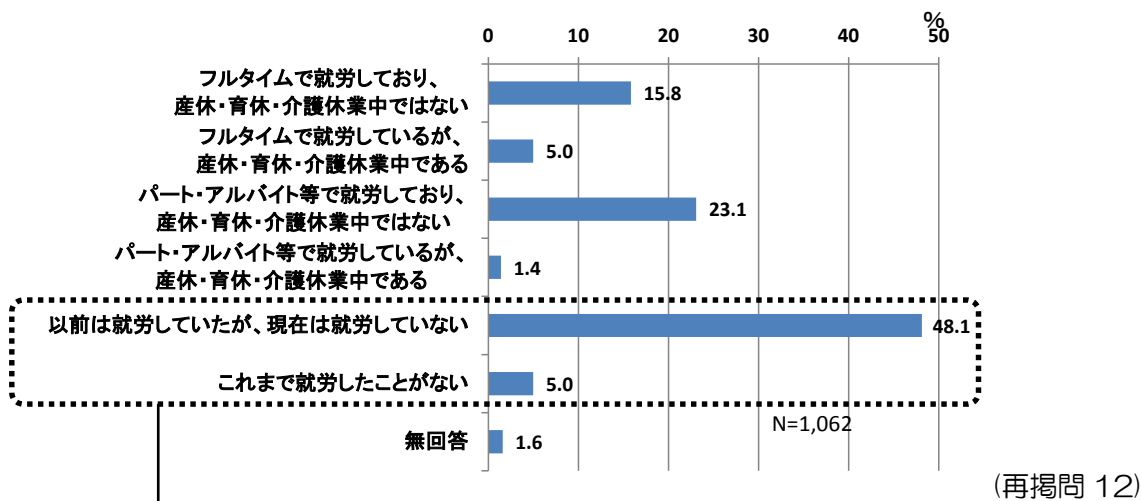


○回答者 1,062 人のうち、育休・休暇中も含めたパート・アルバイトの就労の方は 6 名、そのうちフルタイムへの転換希望は 1 名、また 1 名はパート就労を続けることを希望。

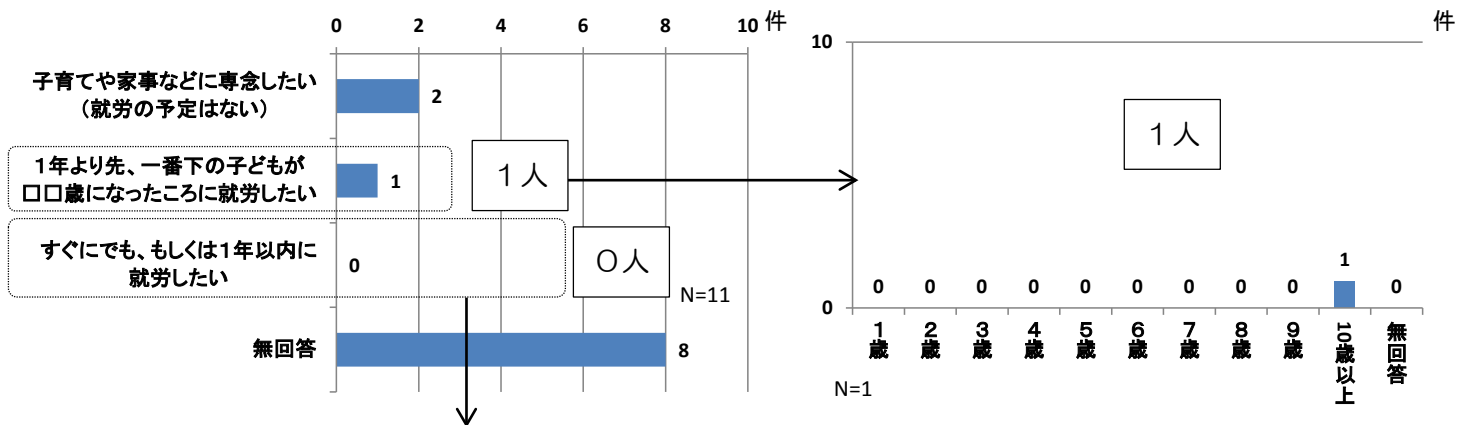
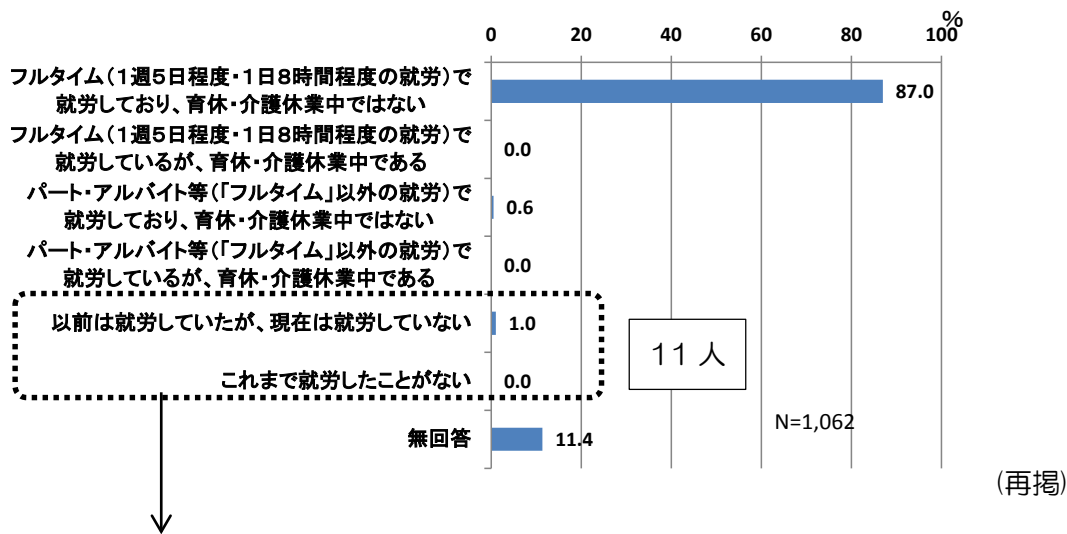
問 14 問 12 の (1) または (2) で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に回答された方にうかがいます。該当しない方は、問 15 へお進みください。

就労したいという希望はありますか。(それぞれ〇は1つ) (口内に数字を記入)

(1) 母親

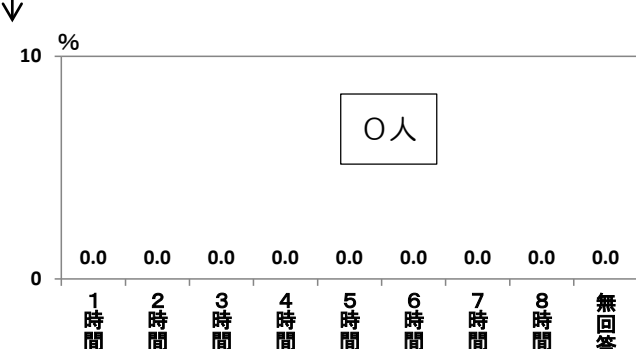
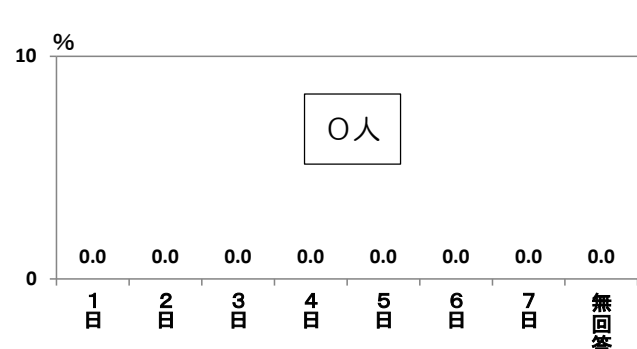


(2) 父親



希望する1週当たりの「就労日数」

希望する1日当たりの「就労時間」

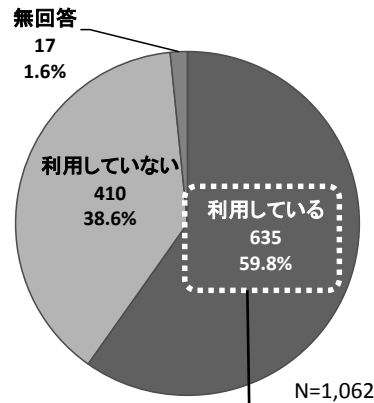


○現在就労をしていない母親の17%は「子育てや家事に専念したい」と回答。「1年より先に就労を希望する」と回答した54.8%のうちの「1番下の子どもが3歳~4歳頃に就労希望」が37.9%、「6~7歳のころまで」が30.4%。
○現在就労をしていない母親53.1%のうち、就労したいと回答したのは74.3%。すぐにでも就職したい人の希望する就労形態は、パートタイム・アルバイト希望が80.9%で、フルタイム希望15.5%の約5倍。

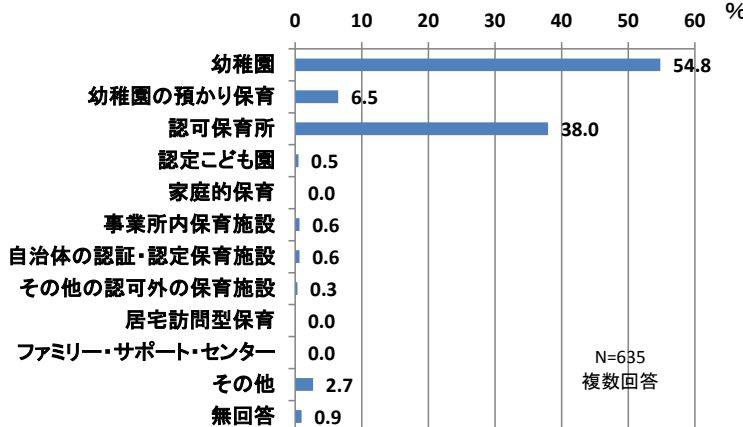
平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問 15-1 に示した事業が含まれます。

問 15 あて名のお子さんは現在、幼稚園、保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。(○は1つ)



問 15-1 問 15-1～問 15-4 は、問 15 で「1. 利用している」に回答された方にうかがいます。あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答え下さい。(○はいくつでも)



幼稚園 : 通常の就園時間の利用
 幼稚園の預かり保育: 通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ
 認可保育所 : 国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの
 認定こども園 : 幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設
 家庭的保育 : 保育者の家庭等で子どもを少人数で保育する事業
 事業所内保育施設: 企業が主に従業員用に運営する施設
 自治体の認証・認定保育施設: 認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設
 居宅訪問型保育: ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業

「日中の定期的な教育・保育の事業」の利用—子どもの年齢別

	合計	問15-1平日、年間を通じて「定期的に」利用している教育・保育の事業											
		幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定	育施設※	その他の認可外の保	居宅訪問型保育	ト・ファミリー・サポート	その他
全体	635	54.8	6.5	38.0	0.5	0.0	0.6	0.6	0.3	0.0	0.0	2.7	0.9
問2 子の年齢	0歳	18	0.0	100.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1歳	38	0.0	84.2	0.0	0.0	2.6	0.0	5.3	0.0	0.0	5.3	0.0
	2歳	89	38.2	4.5	41.6	2.2	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	10.1	1.1
	3歳	146	58.9	9.6	33.6	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	2.7	1.4
	4歳	172	65.7	5.8	31.4	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	1.2	0.6
	5歳	170	67.1	6.5	29.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

「日中の定期的な教育・保育の事業」の利用—地域別・就労状況別

	合計	間15-1平日、年間を通じて「定期的に」利用している教育・保育の事業											
		幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認定・認定	育施設※	その他の認可外の保	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他
全体	635	54.8	6.5	38.0	0.5	0.0	0.6	0.6	0.3	0.0	0.0	2.7	0.9
問1 お住まいの地区	三崎地区	191	45.0	3.1	47.6	1.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	2.6	2.1
	南下浦地区	266	56.4	8.6	33.5	0.0	0.0	1.5	0.8	0.8	0.0	3.8	0.4
	初声地区	175	62.9	6.9	34.3	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.6
	世帯の就労状況	ひとり親家庭	55	21.8	7.3	69.1	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	共稼ぎ(フルタイム)	137	17.5	8.0	77.4	0.7	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7
	共稼ぎ(パート)	168	52.4	8.3	41.1	1.2	0.0	0.6	1.2	0.6	0.0	1.2	0.6
	専業主婦・主夫	231	87.0	2.6	5.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	6.1	0.9
	その他	44	52.3	13.6	36.4	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	2.3	2.3

【参考】平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考えている事業—地域別・就労状況別

	合計	間16 現在の利用にかかわらず、平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したい事業													
		幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認定・認定	育施設	その他の認可外の保	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
全体	1062	63.7	25.8	35.8	15.1	4.8	3.1	4.4	2.1	0.8	3.8	7.9	1.4	2.3	
問1 お住まいの地区	三崎地区	311	58.2	22.8	37.9	16.4	5.1	2.9	4.2	1.6	1.6	5.1	8.4	2.3	3.2
	南下浦地区	446	65.2	28.5	35.0	15.9	5.6	2.7	4.5	2.5	0.7	3.1	6.7	1.8	1.6
	初声地区	297	66.7	25.3	35.0	12.5	3.0	4.0	4.4	2.0	0.0	3.4	9.1	0.0	2.4
	世帯の就労状況	ひとり親家庭	66	33.3	22.7	51.5	22.7	3.0	6.1	6.1	1.5	0.0	12.1	7.6	3.0
	共稼ぎ(フルタイム)	180	25.0	22.8	71.7	20.6	5.0	2.2	7.2	2.2	0.0	4.4	10.0	3.3	0.0
	共稼ぎ(パート)	221	56.6	29.0	43.9	11.3	4.5	2.7	5.0	2.3	1.4	2.3	9.5	0.0	1.4
	専業主婦・主夫	522	84.7	27.0	18.8	14.0	5.2	3.4	3.3	1.9	1.0	3.3	6.9	1.3	2.1
	その他	73	58.9	17.8	30.1	13.7	4.1	1.4	2.7	2.7	0.0	2.7	5.5	0.0	9.6

○「日中の定期的な教育・保育の事業」の利用は59.8%。そのうち幼稚園利用が54.8%、幼稚園の預かり保育利用が6.5%、認可保育所38%、認定こども園0.5%。

○子どもの年齢別にみると、0歳では「認可保育所」が100%となっている。1,2歳でも「認可保育所」が84.2%、41.6%と最も多く、2歳児では「幼稚園」も38.2%となっている。3歳~5歳では、「幼稚園」が58.9~67.1%と最も多く、次いで「認可保育所」が29.4%~33.6%。

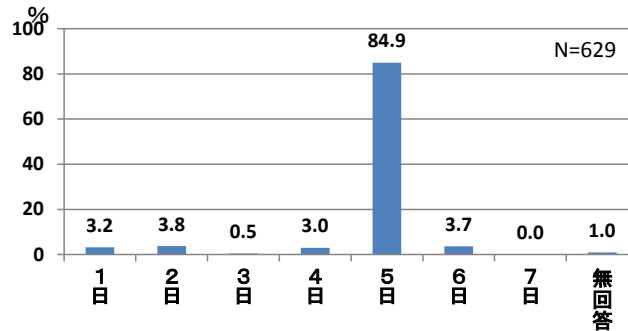
○就労状況別にみると、共稼ぎフルタイム、ひとり親では「認可保育所」がそれぞれ77.4%、69.1%と多く、専業主婦・専業主夫と共稼ぎパートでは「幼稚園」の利用が87.0%、52.4%ともっとも多い。

○三崎地区では「認可保育所」が47.6%でもっとも多いが、南下浦、初声地区では「幼稚園」が56.4%、62.9%でもっとも多い。

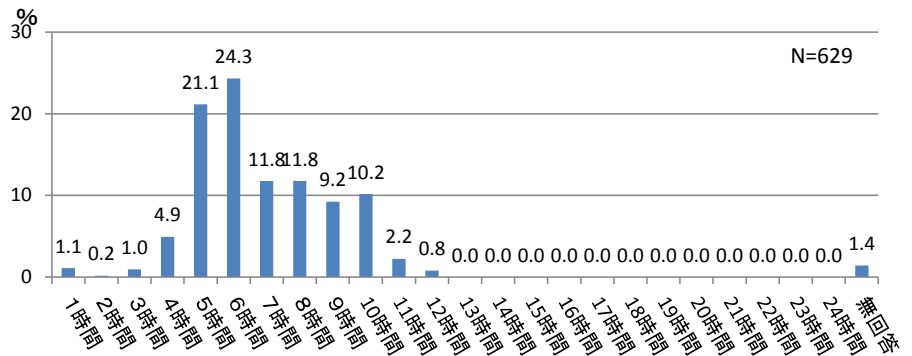
問 15-2 平日に定期的に利用している教育・保育について、どのくらい利用していますか。
 また、希望としてはどのくらい利用したいですか（問 15-1 で複数選択した場合は、
 合計を記載してください）。1 週当たり何日、1 日当たり何時間（何時から何時まで）
 かをお答えください。（数字を記入）時間は、必ず（例）09 時～18 時のように、24 時
 間制で記入してください。

（1）現在

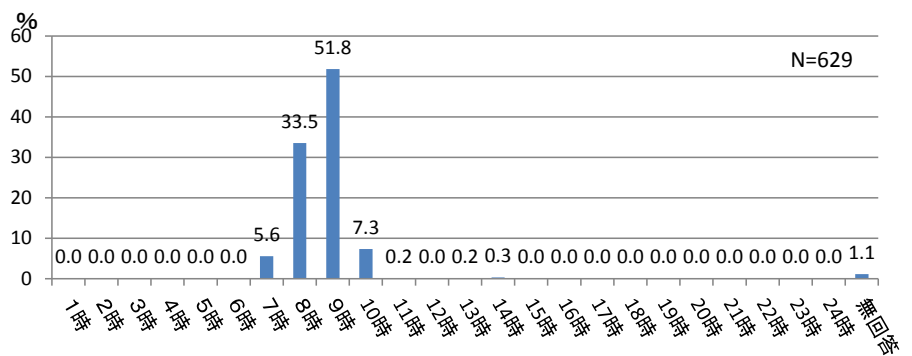
1 週当たり何日



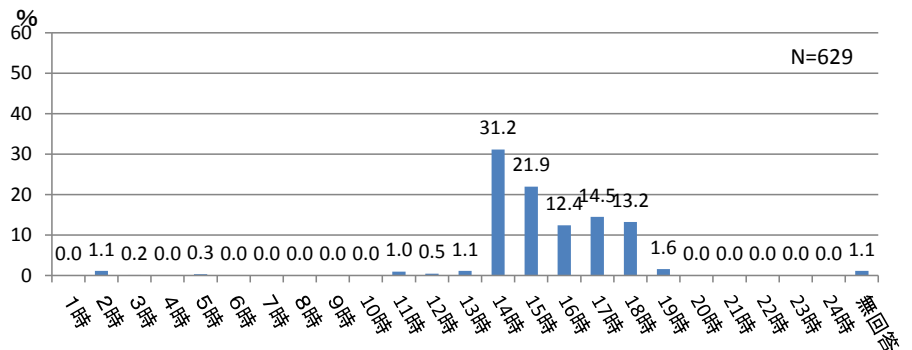
1 日当たり何時間



何時から

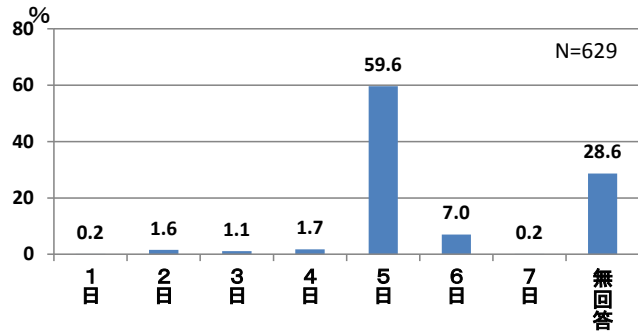


何時まで

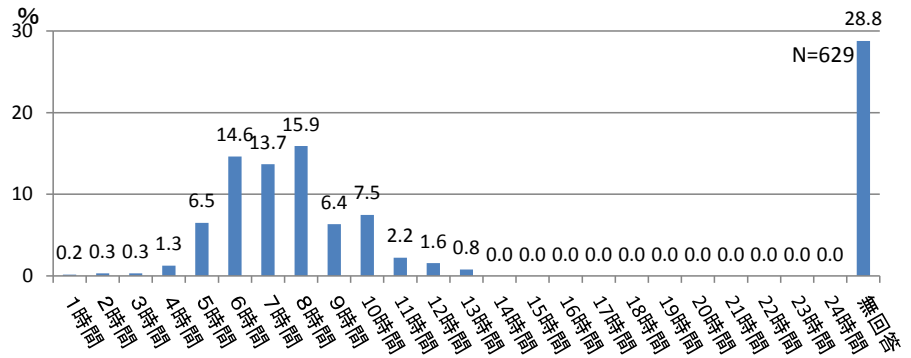


(2) 希望

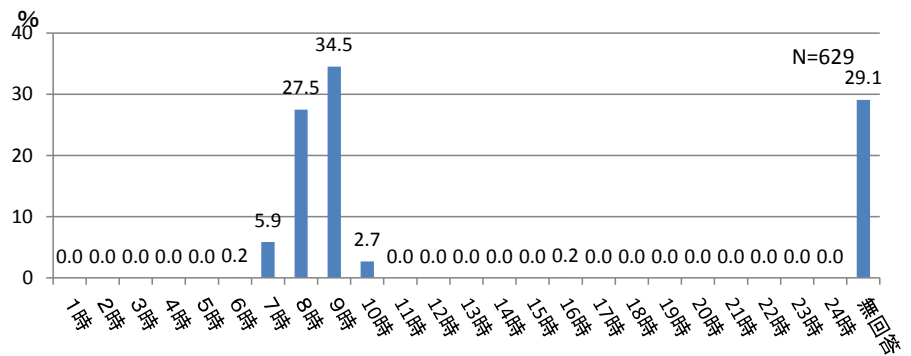
1 週当たり何日



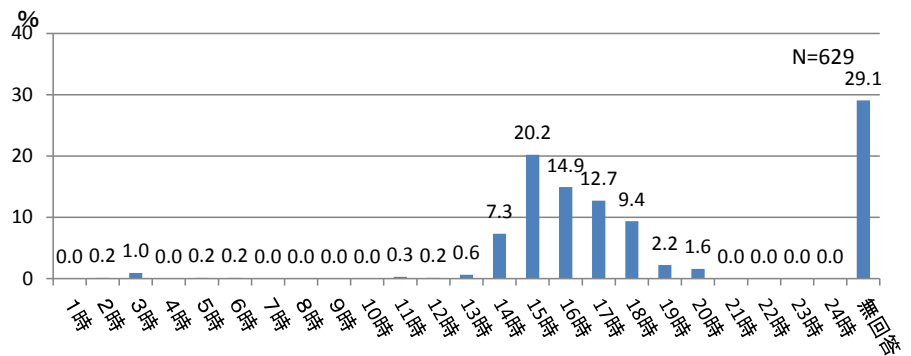
1 日当たり何時間



何時から



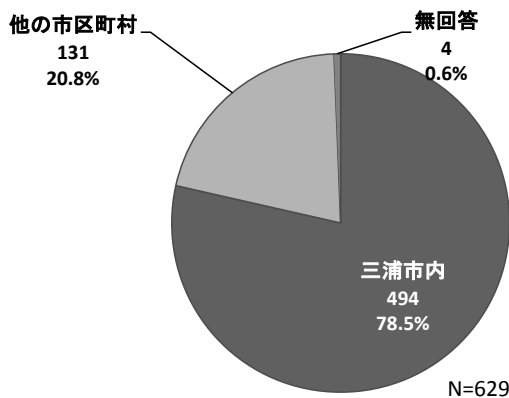
何時まで



○ 「日中の定期的な教育・保育の事業」全体

- 利用日数：現在は週5日利用が84.9%と最も多い。希望も週5日利用が59.6%と最も多くなっている。
- 利用時間：現在は1日6時間が24.3%、次いで5時間が21.1%だが、希望は6～8時間（13.7%～15.9%）に分散し、長い傾向にある。
- 開始時間：現在は9時が51.8%、次いで8時が33.5%。希望も9時が34.5%、8時が27.5%で、分布もほぼ同じ傾向にある。
- 終了時間：現在は14時が最も多く31.2%、次いで15時が21.9%だが、希望は15時が20.2%、次いで16時が14.9%と、現状より遅い傾向にある。

問 15-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどちらですか。(〇は1つ)

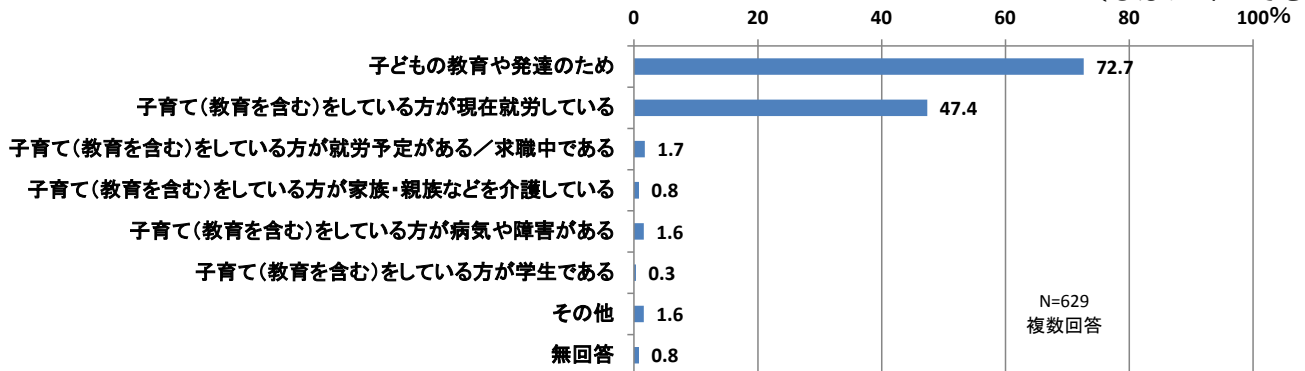


現在、利用している教育・保育事業の実施場所（地域・就労状況別）

	合計	問15-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所			
		三浦市内	他の市区町村	無回答	
全体	629	78.5	20.8	0.6	
問1 お住まいの地区	三崎地区	187	93.0	6.4	0.5
	南下浦地区	265	73.6	26.0	0.4
	初声地区	174	70.7	28.2	1.1
世帯の就労状況	ひとり親家庭	54	90.7	9.3	0.0
	共稼ぎ(フルタイム)	136	88.2	11.8	0.0
	共稼ぎ(パート)	167	74.9	24.0	1.2
	専業主婦・主夫	229	71.6	27.5	0.9
	その他	43	83.7	16.3	0.0

問 15-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている主な理由は何ですか。

(〇はいくつでも)



平日に定期的に教育・保育の事業を利用している主な理由（地域・就労状況別）

	合計	問15-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用している主な理由								
		子どもの教育や発達のため	子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している	子育て(教育を含む)をしている方が就労予定がある/求職中である	子育て(教育を含む)をしている方が家族・親族などを介護している	子育て(教育を含む)をしている方が病気や障害がある	子育て(教育を含む)をしている方が学生である	その他	無回答	
全体	629	72.7	47.4	1.7	0.8	1.6	0.3	1.6	0.8	
問1 お住まいの地区	三崎地区	187	70.6	51.9	2.7	1.6	0.5	0.5	2.7	0.5
	南下浦地区	265	74.3	46.0	2.3	0.4	2.3	0.4	0.8	0.8
	初声地区	174	72.4	44.8	0.0	0.6	1.7	0.0	1.7	1.1
世帯の就労状況	ひとり親家庭	54	51.9	83.3	3.7	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0
	共稼ぎ(フルタイム)	136	44.1	89.7	1.5	0.7	0.7	0.7	0.7	0.0
	共稼ぎ(パート)	167	73.7	62.9	0.0	0.6	0.6	0.6	2.4	1.2
	専業主婦・主夫	229	93.4	1.7	3.1	0.9	2.6	0.0	2.2	1.3
	その他	43	74.4	51.2	0.0	0.0	4.7	0.0	0.0	0.0

- 「日中の定期的な教育・保育の事業」の実施場所は、三浦市内が78.5%。地域別では三崎地区、就労状況別ではひとり親家庭で三浦市内の割合が高い。
- 「利用している理由」は、「子どもの教育や発達のため」が72.7%、「就労しているため」が47.4%。

現状の利用日数×希望の利用日数

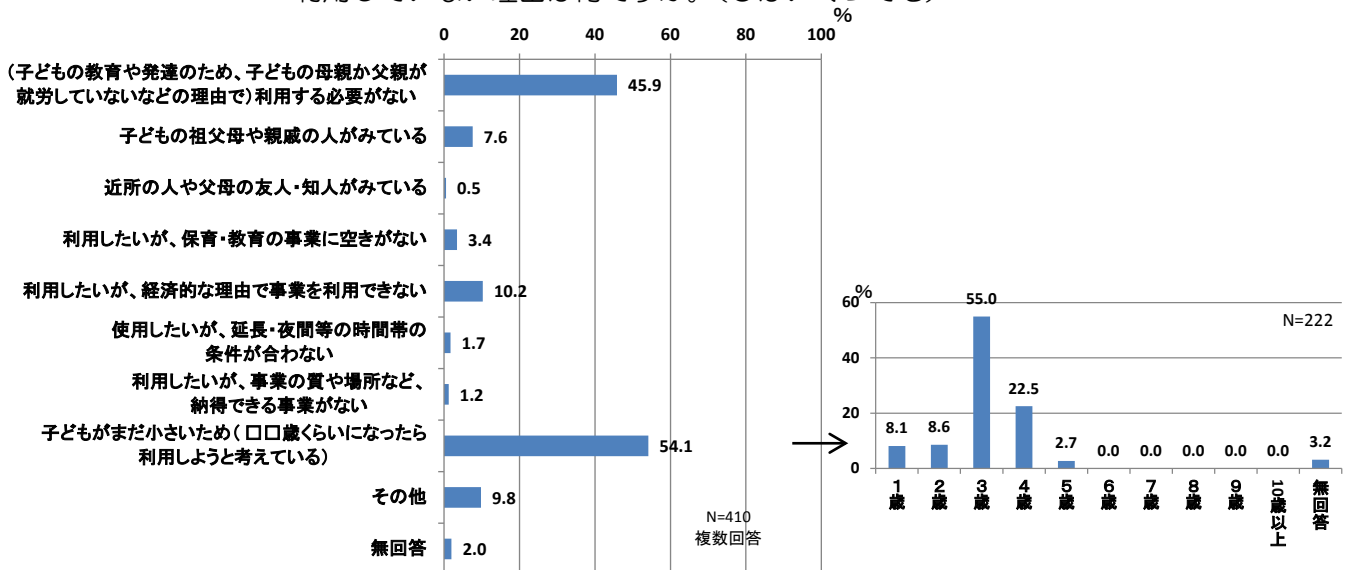
		合計	問15-2(2) 【希望】 平日希望利用時間（1週当たり（日））							
			1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
全体		629	0.2	1.6	1.1	1.7	59.6	7.0	0.2	28.6
問15-2(1)-1 【現在】 平日 希望利用時間 (1週当たり (日))	1日	20	5.0	25.0	5.0	0.0	20.0	0.0	0.0	45.0
	2日	24	0.0	20.8	25.0	4.2	29.2	4.2	0.0	16.7
	3日	3	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0
	4日	19	0.0	0.0	0.0	36.8	21.1	5.3	0.0	36.8
	5日	534	0.0	0.0	0.0	0.2	66.7	6.0	0.2	27.0
	6日	23	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	43.5	0.0	52.2
	7日	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	6	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7

「日中の定期的な教育・保育の事業」の利用×平日に定期的に教育・保育の事業を利用している主な理由

		合計	問15-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用している主な理由							
			子どもの教育や発達のため	子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している	子育て（教育を含む）をしている方が就労予定がある／求職中である	子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族などを介護している	子育て（教育を含む）をしている方が病気や障害がある	子育て（教育を含む）をしている方が学生である	その他	無回答
全体		629	72.7	47.4	1.7	0.8	1.6	0.3	1.6	0.8
問15-1 平日、年間を通じて「定期的に」利用している教育・保育の事業	幼稚園	348	97.7	14.7	0.3	0.0	0.0	0.0	2.3	0.9
	幼稚園の預かり保育	41	80.5	63.4	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	2.4
	認可保育所	241	35.7	94.6	3.7	2.1	4.1	0.4	0.4	0.0
	認定こども園	3	66.7	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	家庭的保育	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	事業所内保育施設	4	25.0	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	自治体の認証・認定保育施設	4	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他の認可外の保育施設	2	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	居宅訪問型保育	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ファミリー・サポート・セン	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	17	94.1	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	5.9

問 15-5 問 15 で「2. 利用していない」に回答された方にうかがいます。

利用していない理由は何ですか。（〇はいくつでも）



利用していない理由(子の年齢別)

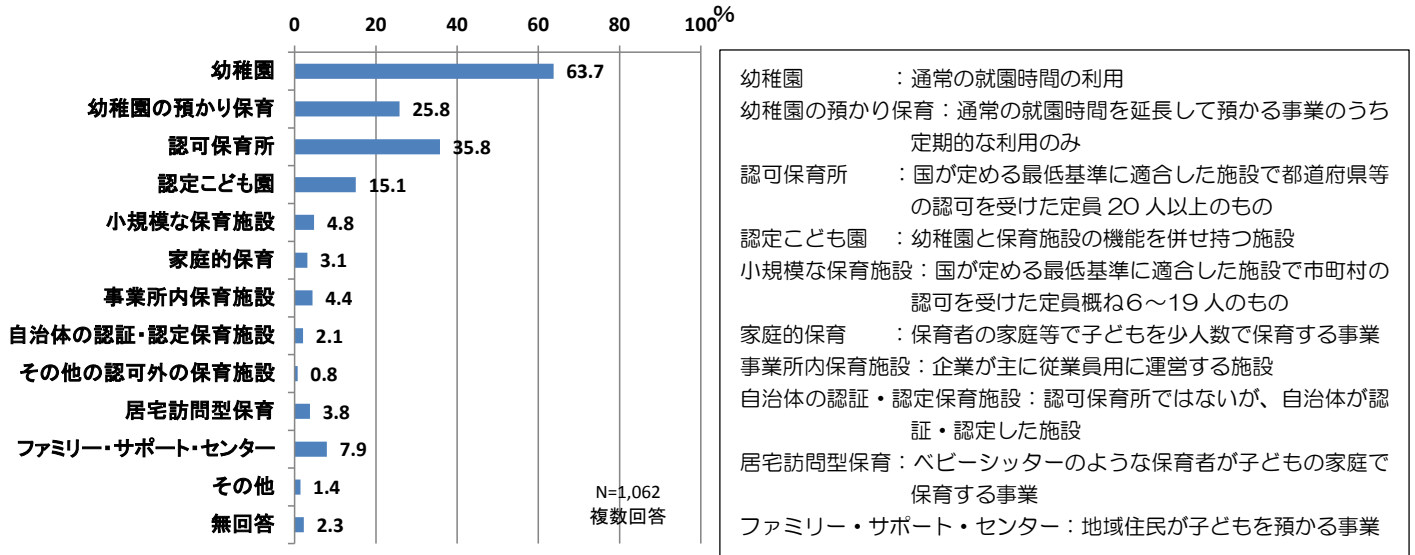
	合計	問15-5 利用していない理由									
		利用する 必要がない	子どもの 祖父母や 親戚の人が みている	近所の人 や父母の 友人・知 人がみ ている	利用した いが、保 育・教育 に空きが ない	利用した いが、経 済的な理 由で事業 を利用で きない	使用した いが、延 長・夜間 等帯の条 件が合わ ない	利用した いが、事 業の質や 場所な ど、納得 できる事 業がない	子どもが まだ小さ いため(こ ろになっ たら利用 しようと 考 えている)	その他	無回答
全体	410	45.9	7.6	0.5	3.4	10.2	1.7	1.2	54.1	9.8	2.0
問2 子の年齢											
0歳	214	47.2	8.4	0.0	3.3	9.3	2.3	0.9	57.5	5.6	1.9
1歳	108	45.4	5.6	0.9	4.6	10.2	1.9	0.9	63.9	6.5	1.9
2歳	65	43.1	10.8	1.5	1.5	13.8	0.0	1.5	40.0	18.5	1.5
3歳	19	42.1	0.0	0.0	5.3	10.5	0.0	5.3	10.5	42.1	5.3
4歳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
5歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

利用していない理由(就労状況・配偶関係・世帯の年収別)

	合計	問15-5 利用していない理由									
		利用する 必要がない	子どもの 祖父母や 親戚の人が みている	近所の人 や父母の 友人・知 人がみ ている	利用した いが、保 育・教育 に空きが ない	利用した いが、経 済的な理 由で事業 を利用で きない	使用した いが、延 長・夜間 等帯の条 件が合わ ない	利用した いが、事 業の質や 場所な ど、納得 できる事 業がない	子どもが まだ小さ いため(こ ろになっ たら利用 しようと 考 えている)	その他	無回答
全体	410	45.9	7.6	0.5	3.4	10.2	1.7	1.2	54.1	9.8	2.0
問5 配偶者の有無											
配偶者がいる	390	46.4	6.7	0.5	2.8	10.0	1.5	1.3	54.6	10.0	1.8
配偶者がいない	12	33.3	33.3	0.0	25.0	16.7	8.3	0.0	50.0	0.0	0.0
世帯の就労状況											
ひとり親家庭	10	40.0	40.0	0.0	10.0	20.0	10.0	0.0	60.0	0.0	0.0
共稼ぎ(フルタイム)	41	29.3	14.6	2.4	2.4	4.9	0.0	0.0	61.0	14.6	0.0
共稼ぎ(パート)	50	24.0	16.0	0.0	16.0	22.0	2.0	2.0	52.0	6.0	0.0
専業主婦・主夫	285	52.6	4.2	0.4	0.7	9.1	1.8	1.4	55.1	9.1	2.1
その他	24	41.7	4.2	0.0	8.3	4.2	0.0	0.0	33.3	20.8	8.3
問39 世帯の年収											
～200万円	25	32.0	12.0	0.0	8.0	20.0	4.0	0.0	64.0	12.0	0.0
200～300万円	58	50.0	8.6	1.7	1.7	19.0	1.7	0.0	50.0	10.3	3.4
300～400万円	92	43.5	8.7	0.0	2.2	14.1	1.1	1.1	52.2	7.6	2.2
400～500万円	83	55.4	7.2	0.0	2.4	12.0	3.6	3.6	54.2	6.0	1.2
500～700万円	99	49.5	7.1	1.0	4.0	2.0	1.0	0.0	51.5	14.1	3.0
700～1,000万円	27	25.9	7.4	0.0	3.7	3.7	0.0	0.0	77.8	7.4	0.0
1,000万円以上	11	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	63.6	9.1	0.0

○「利用していない理由」は、「子どもが小さいため」54.1%と「理由する必要がない」45.9%が多い。また、「子どもが小さいため」と回答した人の55%は、子どもが3歳になったら利用を考
えられている。

問 16 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考えている事業をお答えください。(〇はいくつでも) なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。



「定期的に」利用したいと考える事業(子の年齢別)

		合計	問16 現在の利用にかかわらず、平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したい事業												
			幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
全体		1062	63.7	25.8	35.8	15.1	4.8	3.1	4.4	2.1	0.8	3.8	7.9	1.4	2.3
問2 子の年齢	0歳	237	63.3	22.8	46.4	16.0	8.0	3.4	4.6	3.0	1.7	5.5	9.3	0.8	2.1
	1歳	148	58.8	27.0	41.2	20.3	3.4	4.1	4.7	2.0	0.7	2.7	9.5	2.7	2.7
	2歳	158	67.1	27.2	34.8	13.3	5.1	1.9	3.2	2.5	1.3	2.5	6.3	2.5	2.5
	3歳	167	66.5	31.1	28.7	12.0	3.0	0.6	3.6	0.6	0.0	3.0	7.2	1.8	1.8
	4歳	174	65.5	24.7	34.5	16.1	4.6	2.9	4.6	1.1	0.0	3.4	6.9	1.1	0.6
	5歳	173	60.7	24.3	26.0	13.3	3.5	5.8	5.8	2.9	0.6	4.6	8.1	0.0	4.0

「日中の定期的な教育・保育の事業」の利用×「定期的に利用したいと考える事業」

		合計	問16 現在の利用にかかわらず、平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したい事業												
			幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
全体		1062	63.7	25.8	35.8	15.1	4.8	3.1	4.4	2.1	0.8	3.8	7.9	1.4	2.3
問15 「定期的な教育・保育の事業」の利用	利用している	635	57.8	24.9	37.3	14.8	3.3	2.8	4.9	1.7	0.3	3.6	7.9	1.3	2.0
	利用していない	410	72.9	27.3	34.4	16.1	7.3	3.4	3.7	2.7	1.5	3.7	8.0	1.7	1.7

「利用中の日中の定期的な教育・保育の事業」×「定期的にご利用したいと考える事業」

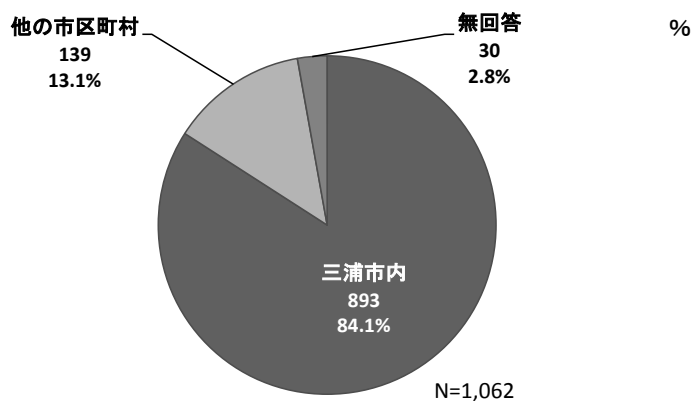
		問16 現在の利用にかかわらず、平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したい事業													
		合計													
		幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設	育施設の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答	
問15-1 平日、年間を通じて「定期的に」利用している教育・保育の事業	全体	1062	63.7	25.8	35.8	15.1	4.8	3.1	4.4	2.1	0.8	3.8	7.9	1.4	2.3
	幼稚園	348	92.8	34.2	5.5	11.8	2.6	2.3	2.6	1.1	0.3	3.2	6.3	0.3	1.7
	幼稚園の預かり保育	41	68.3	85.4	9.8	17.1	0.0	0.0	4.9	0.0	0.0	0.0	9.8	0.0	2.4
	認可保育所	241	9.5	8.3	84.6	19.5	3.7	3.3	6.6	2.1	0.0	5.0	10.0	2.5	1.2
	認定こども園	3	33.3	66.7	66.7	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	家庭的保育	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	事業所内保育施設	4	25.0	75.0	75.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	自治体の認証・認定保育施設	4	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他の認可外の保育施設	2	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	居宅訪問型保育	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ファミリー・サポート・センター	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	17	88.2	29.4	17.6	17.6	5.9	5.9	11.8	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	5.9

「定期的に」利用したいと考える事業(就労状況・配偶関係・世帯の年収別)

		問16 現在の利用にかかわらず、平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したい事業													
		合計													
		幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設	育施設の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答	
問5 配偶者の有無	全体	1062	63.7	25.8	35.8	15.1	4.8	3.1	4.4	2.1	0.8	3.8	7.9	1.4	2.3
	配偶者がいる	977	66.1	26.2	34.7	14.2	4.5	2.9	4.2	2.1	0.8	3.1	7.8	1.3	1.9
	配偶者がいない	70	32.9	21.4	52.9	21.4	2.9	7.1	5.7	1.4	0.0	11.4	7.1	2.9	4.3
問39 世帯の年収	~200万円	86	46.5	16.3	45.3	12.8	4.7	7.0	3.5	2.3	1.2	5.8	9.3	2.3	5.8
	200~300万円	143	64.3	24.5	41.3	16.1	4.9	1.4	4.2	2.8	1.4	1.4	6.3	0.7	0.7
	300~400万円	208	71.6	24.0	34.1	13.0	4.8	2.4	1.9	1.0	0.0	0.5	6.3	1.0	1.0
	400~500万円	197	63.5	23.4	33.5	18.3	8.1	5.1	6.1	4.1	1.5	9.1	15.2	0.5	2.0
	500~700万円	268	68.7	30.6	31.7	15.3	3.7	2.6	3.7	1.5	0.7	2.2	4.9	1.5	1.5
	700~1,000万円	98	57.1	34.7	38.8	12.2	4.1	0.0	10.2	1.0	0.0	3.1	9.2	3.1	2.0
	1,000万円以上	30	56.7	26.7	36.7	13.3	0.0	3.3	3.3	0.0	0.0	6.7	6.7	6.7	3.3

○定期的にご利用したい事業は、「幼稚園」が63.7%、「認可保育所」が35.8%、「幼稚園の預かり保育」が25.8%となっており、回答者の96.3%が何らかの教育・保育事業を利用したいと考えている。
 ○子の年齢別では、「幼稚園」はすべての年齢で5割を超えているが、「認可保育所・公立保育所」は0歳で43.4%と、他に比べて高い数値となっている。

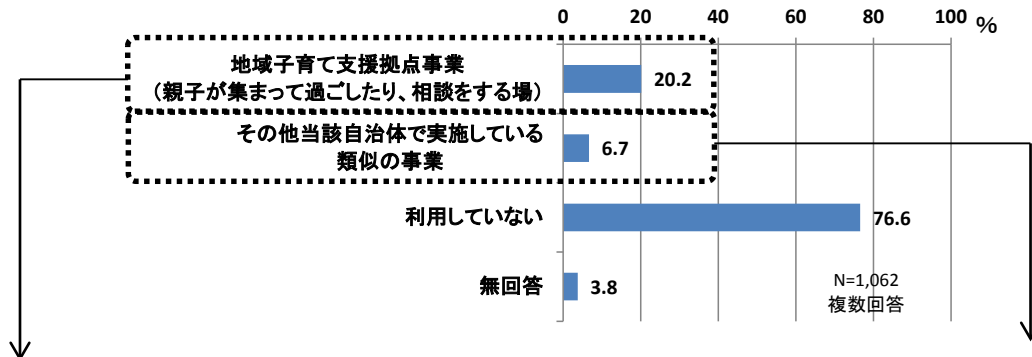
問 16-1 教育・保育事業を利用したい場所はどちらですか。(○は1つ)



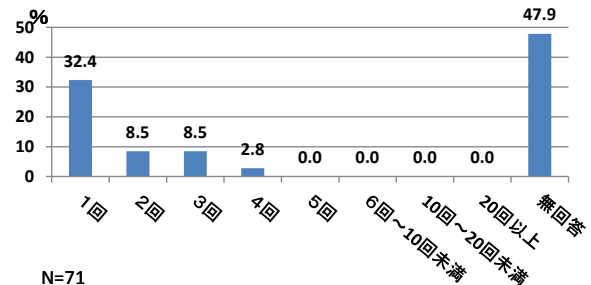
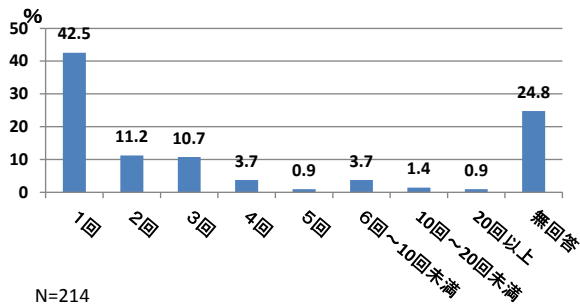
○「日中の定期的な教育・保育の事業」は78.5%が三浦市内で利用しているのに対し、希望は84.1%ある。

地域の子育て支援事業の利用状況について

問 17 あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。（〇はいくつでも）また、利用されている場合は、おおよその利用回数（頻度）をお答えください。（数字を記入）



地域子育て支援拠点事業利用回数(1ヶ月当たり) その他当該自治体で実施している類似の事業(1ヶ月当たり)



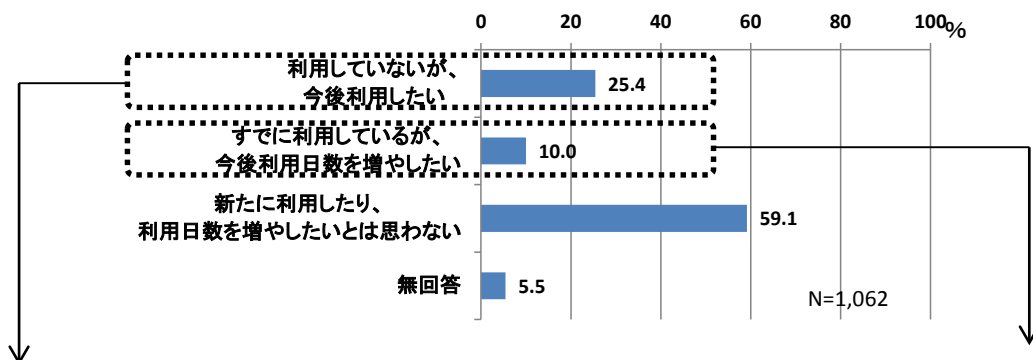
(地域子育て支援拠点事業の)利用状況—子どもの年齢別

		合計	問17 現在、地域子育て支援拠点事業の利用			
			地域子育て支援拠点事業 (親子が集まって過ごしたり、相談をする場)	その他当該自治体で実施している類似の事業	利用していない	無回答
全体		1062	20.2	6.7	76.6	3.8
問2 子の年齢	0歳	237	32.9	8.4	62.9	2.1
	1歳	148	41.2	10.8	56.1	2.0
	2歳	158	20.9	7.6	74.7	5.7
	3歳	167	9.6	4.8	91.0	2.4
	4歳	174	9.8	5.7	86.2	4.6
	5歳	173	4.6	2.3	90.8	6.4

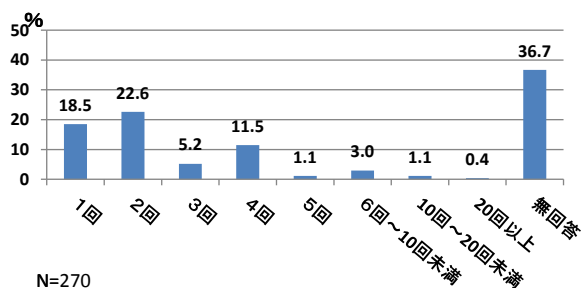
○「地域子育て支援拠点事業」を利用している人は、20.2%、利用していない人は76.6%。
利用している人の1ヶ月当たりの回数は、1回がもっとも多く42.5%。

○子どもの年齢別利用状況では、「地域子育て支援拠点事業」は0歳、1歳、2歳の20~40%程度の方が利用しているが、3歳以上になると利用していない人が9割前後を占める。

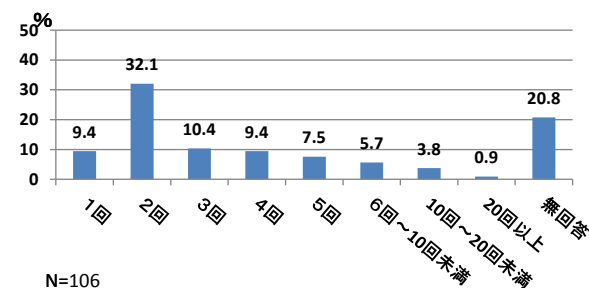
問 18 問 17 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。(○は1つ) また、おおよその利用希望回数(頻度)をお答えください。(数字を記入) なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。



利用していないが、今後利用したい日数



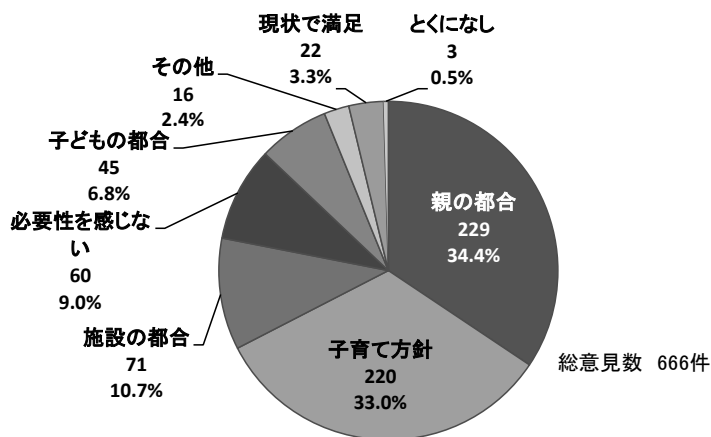
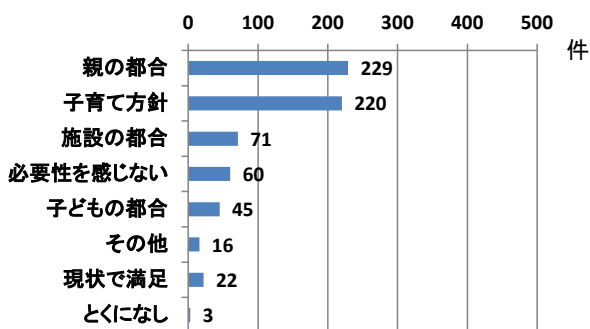
すでに利用しているが今後増やしたい利用日数



問 18-1 問 18 で「3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」にお答えいただいた方にうかがいます。その理由はどんなことですか。(自由にお書きください)

回答のあった件数 590 件
意見総数 666 件

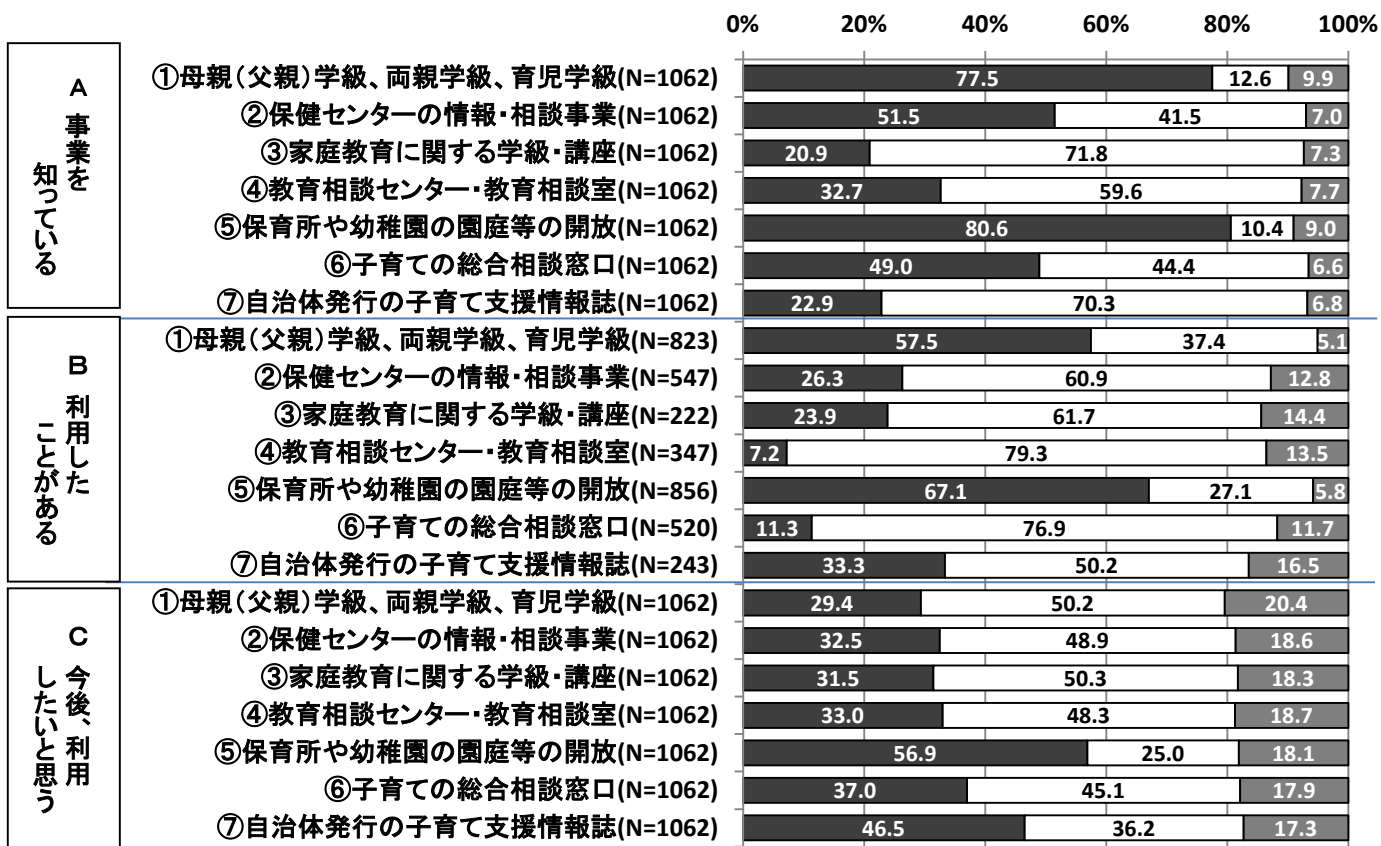
意見の種類別件数



意見の主な内容

意見の種類		主な内容	件数
親の都合	229	親の仕事の都合で余裕がない	52
		相談できる人がいる	39
		時間がない	36
		きょうだいの都合で余裕がない	26
		時間が合わない	19
		家庭の都合で余裕がない(自営、介護等)	11
		親しい人がいない、入りづらい	11
		対人関係が苦手	8
		親同士の付き合いが面倒	7
		行くのが面倒	6
		興味がない	4
		頻度が多すぎる	4
		利用者負担がある	4
		体調が悪い	2
子育て方針	220	幼稚園に通っている(ので十分)	95
		保育園に通っている(ので十分)	59
		家族で過ごしたい(休日等)	26
		友達・きょうだい児が面倒を見てくれる	21
		習い事で忙しい	10
		面倒をみる家族がいる	5
		外で遊ばせたい	4
		施設の都合	71
		施設・機能に魅力を感じられない	21
		駐車場がない、少ない、料金が高い	9
		職員に良い印象がない	5
必要性を感じない	60	必要性を感じない	60
子どもの都合	45	子どもの年齢が高くなった	24
		感染症が心配	14
		子どもがまだ小さい	4
		子どものペースと合わない	2
		子供が嫌がる	1
その他	16	負担が大きい	3
		利用の仕方が分らない	3
		きっかけがなかった	2
		サービスがわからない	2
		引越すため	1
		その他	5
現状で満足	22	現状で満足	22
とくになし	3	とくになし、わからない	3
総計	666		666

問 19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答え下さい。(①～⑦の事業ごとに A、B、C それぞれ〇は1つ) なお、事業によっては、三浦市で実施されていないものもあります。



■はい □いいえ ■無回答

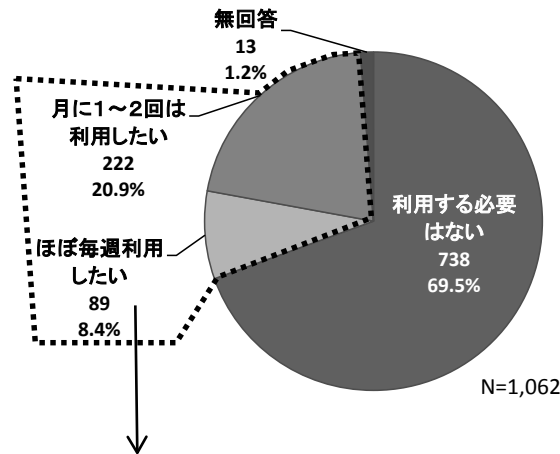
○「母親(父親)学級・両親学級・育児学級」「保育所や幼稚園の園庭等の開放」は「知っている」それぞれ77.5%、80.6%、「知っている人」のうち、「利用したことがある」57.5%、67.1%。「保育所や幼稚園の園庭等の開放」は「知らない人」のうち、56.9%、「自治体発行の子育て支援情報誌」は「知らない人」のうち、46.5%が今後利用したいと回答。

土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

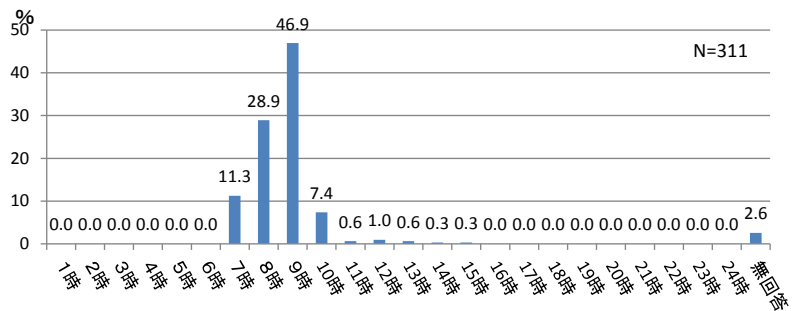
問 20 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。（○は 1 つ） 希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。（数字を記入）（例）09 時～18 時のように 24 時間制で記入してください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※保育・教育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

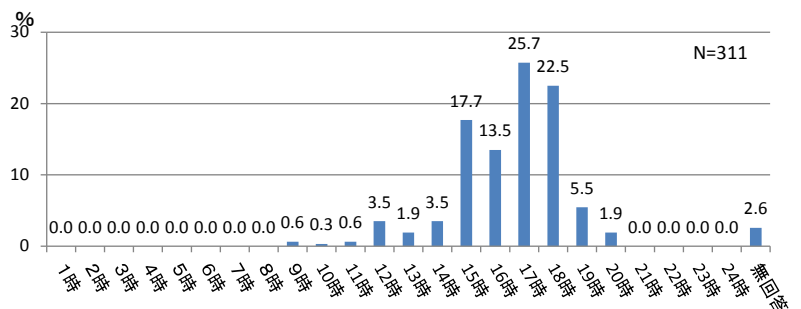
（1）土曜日



何時から

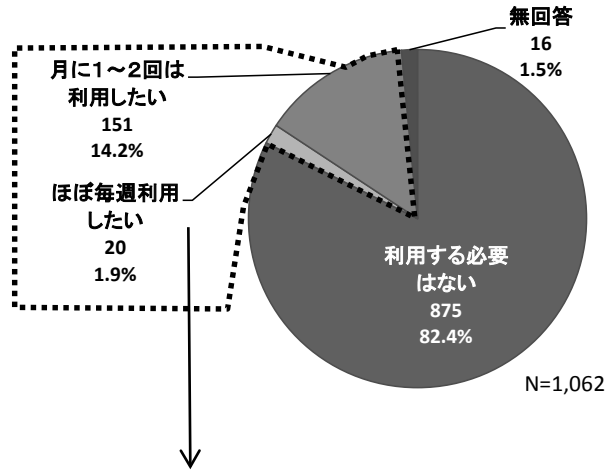


何時まで

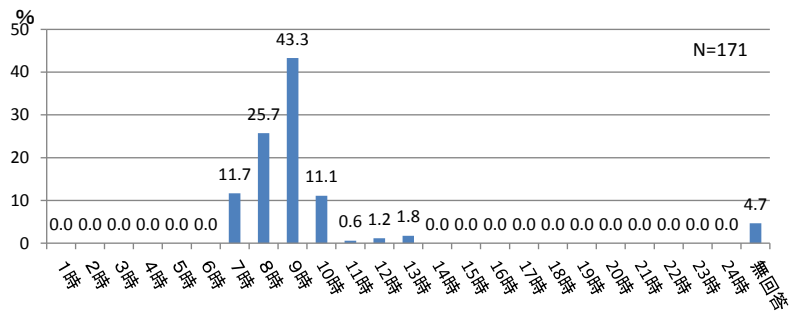


- 土曜日の定期的な利用希望は 29.3%、日曜日・祝日は 16.1%となっており、利用したい時間帯は、どちらも7～10 時からと 18 時までがもっとも多い。
- 夜間(21 時～7 時)の定期的な利用希望はほとんどない。
- 「毎週ではなく、たまに利用したい理由」は、「月に数回仕事が入るため」が 55.2%でもっとも多く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が 37.5%。

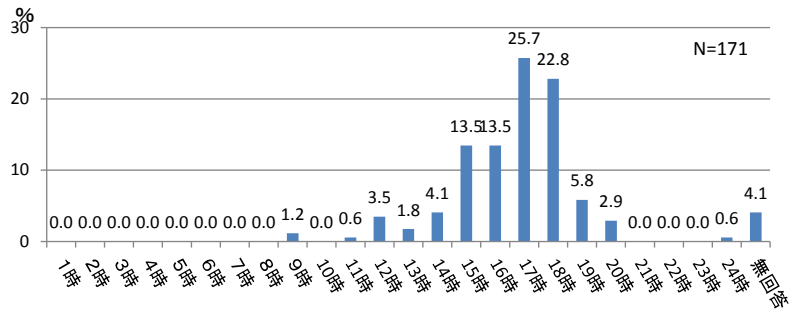
(2) 日曜・祝日



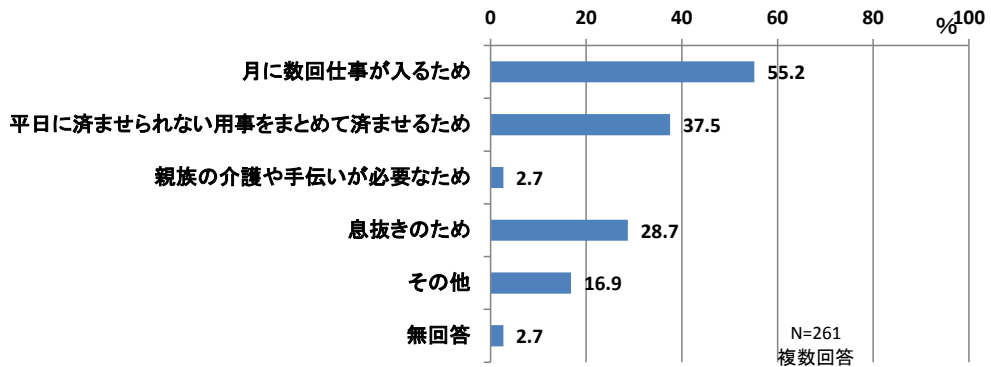
何時から



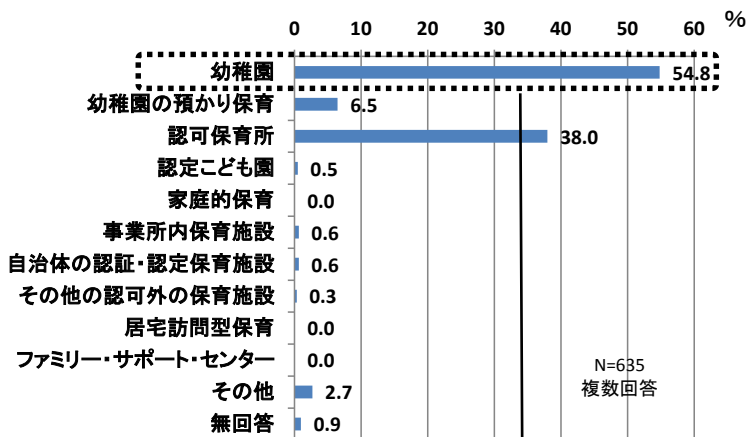
何時まで



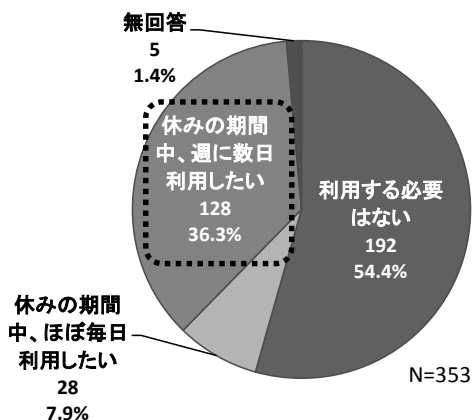
問 20-1 問 20 の (1)【土曜日】もしくは (2)【日曜・祭日】で「3. 月に 1~2 回は利用したい」に回答された方にかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(〇はいくつでも)



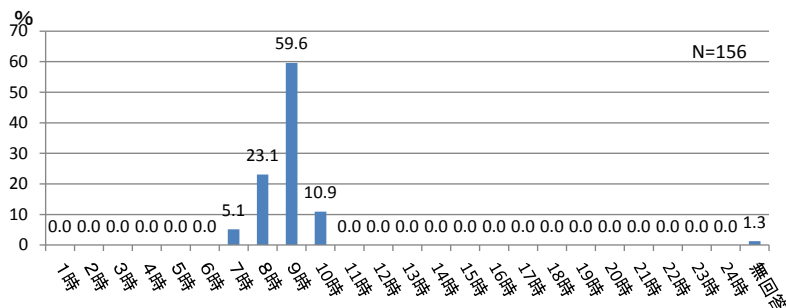
問 21 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中に教育・保育の事業の利用を希望しますか。(〇は1つ) 希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。(数字を記入) (例) 09時~18時のように、24時間制で記入してください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。



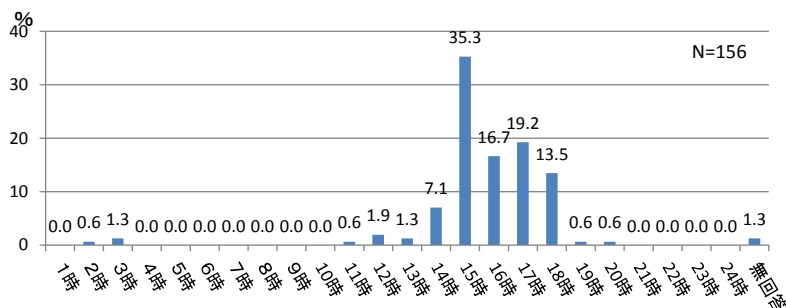
再掲(問 15-1)



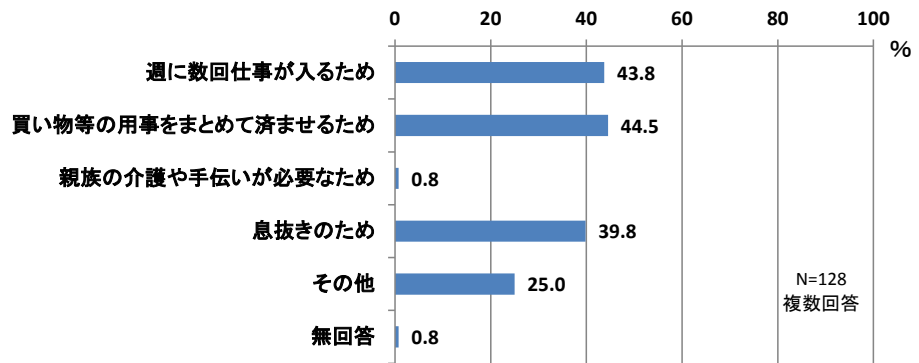
何時から



何時まで



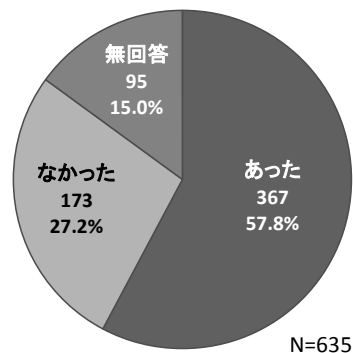
問 21-1 問 21 で「3. 週に数日利用したい」に回答された方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（〇はいくつでも）



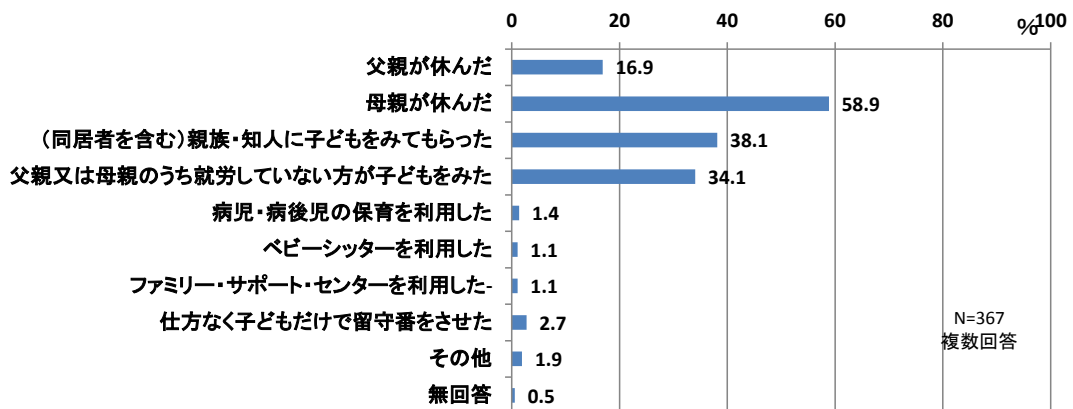
〇幼稚園利用者の44.2%が、夏休み・冬休みなど長期休業期間中の預かり保育を希望。利用したい時間帯は8時～9時からが82.7%、15時までが35.3%となっている。
 〇「週に数日利用したい」と回答した人では、たまに利用したい理由に、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」44.5%と「週に数回仕事が入るため」43.8%とそれぞれ半数近くの人が回答している。

お子さんの病気の際の対応について (平日の教育・保育を利用する方のみ)

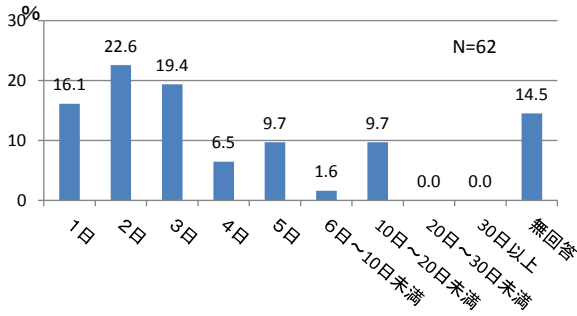
問 22 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方、問 15 で「1. 利用している」に〇をつけた方にうかがいます。利用していらっしゃらない方は、問 23 にお進みください。この1年間にあて名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。



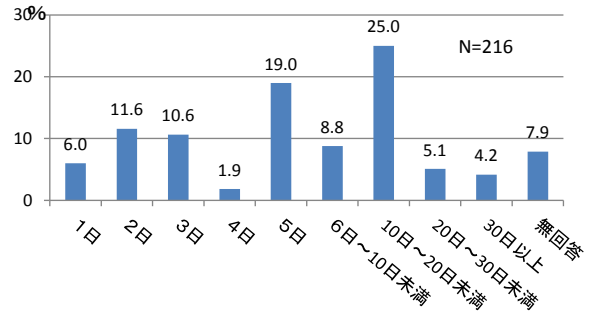
問 22-1 あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法をお答えください。（〇はいくつでも）また、それぞれの日数もご記入ください(数字を記入)。(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください)。



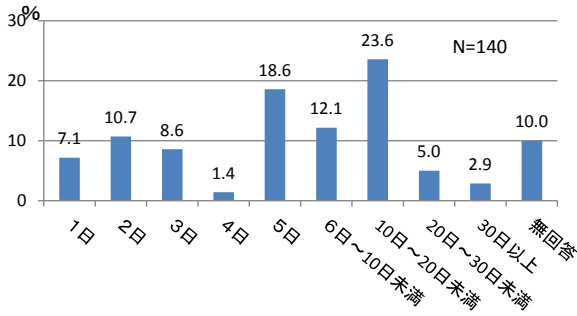
1. 父親が休んだ



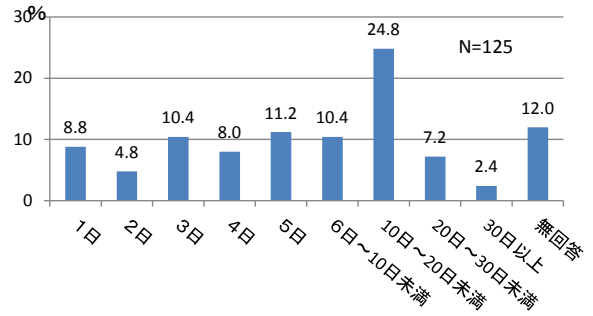
2. 母親が休んだ



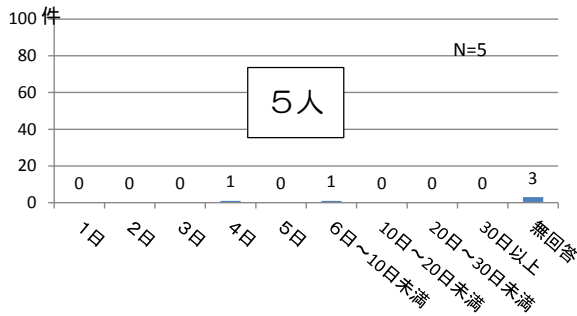
3. 親族・知人に子どもをみてもらった



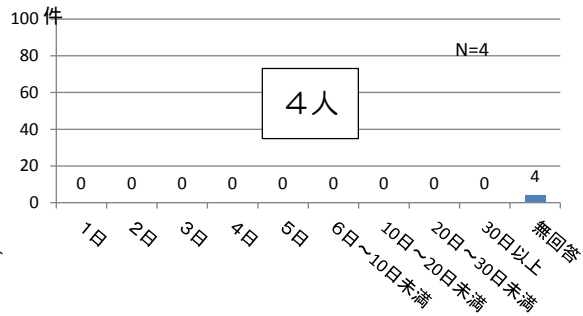
4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた



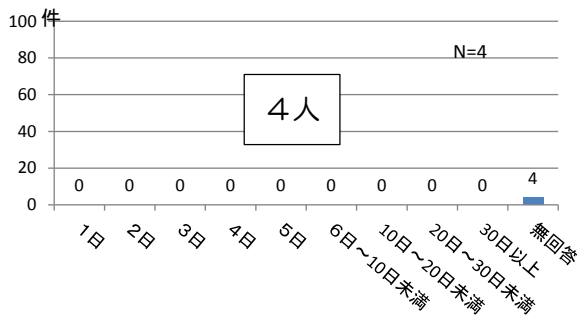
5. 病児・病後児の保育を利用した



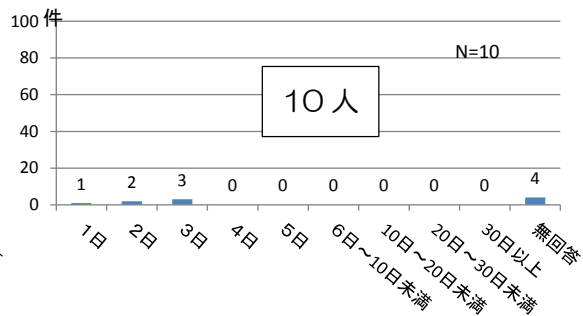
6. ベビーシッターを利用した



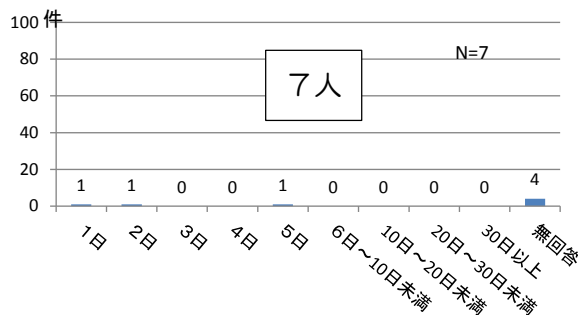
7. ファミリー・サポート・センターを利用した



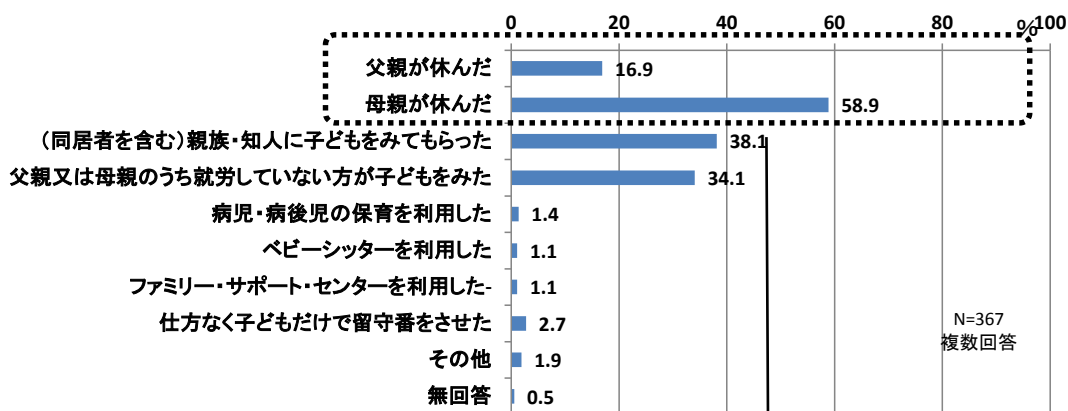
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた



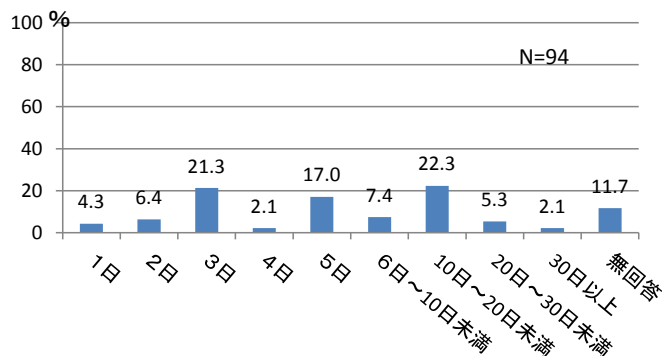
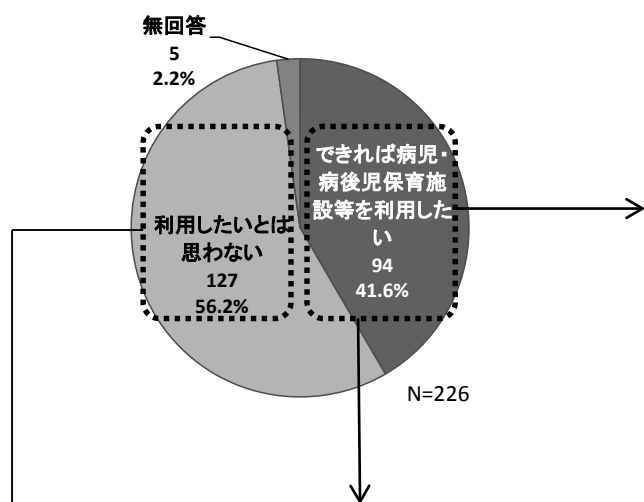
9. その他



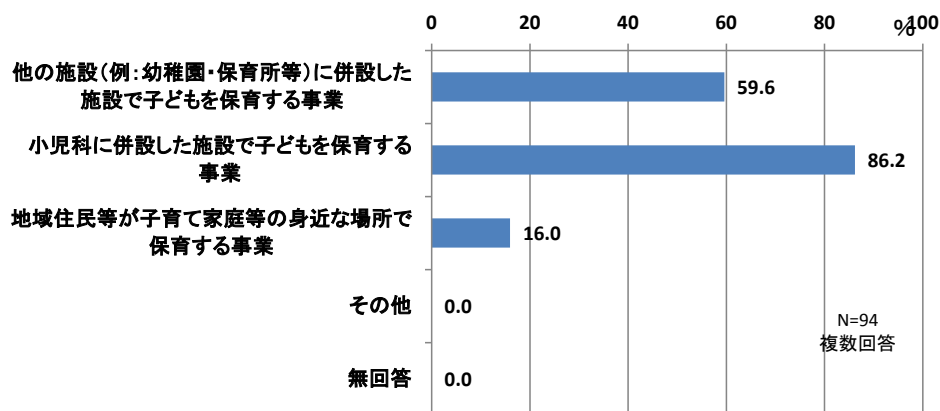
問 22-2 問 22-1 で「1. 父親が休んだ」「2. 母親が休んだ」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。（○は 1 つ）また、その日数もご記入ください。（数字を記入）なお、病児・病後児のための事業等の利用には一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。



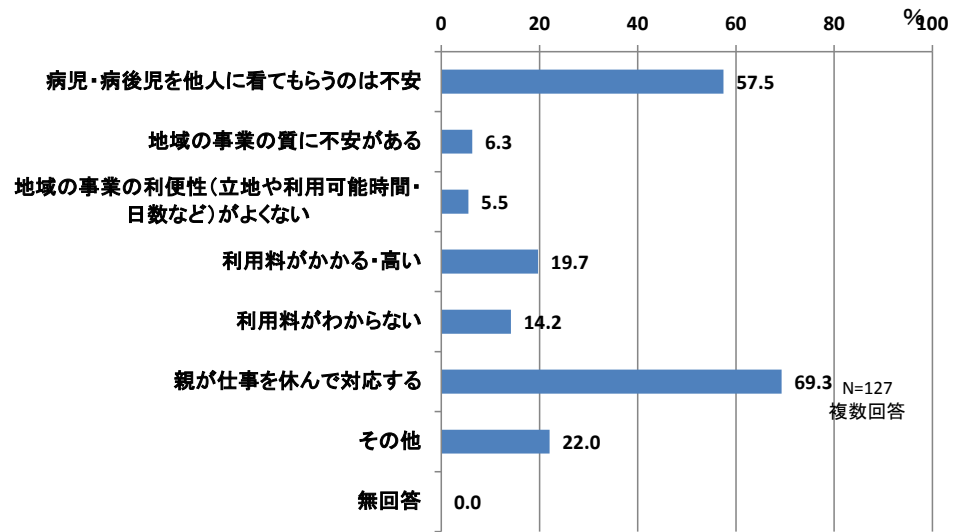
再掲(問 22-1)



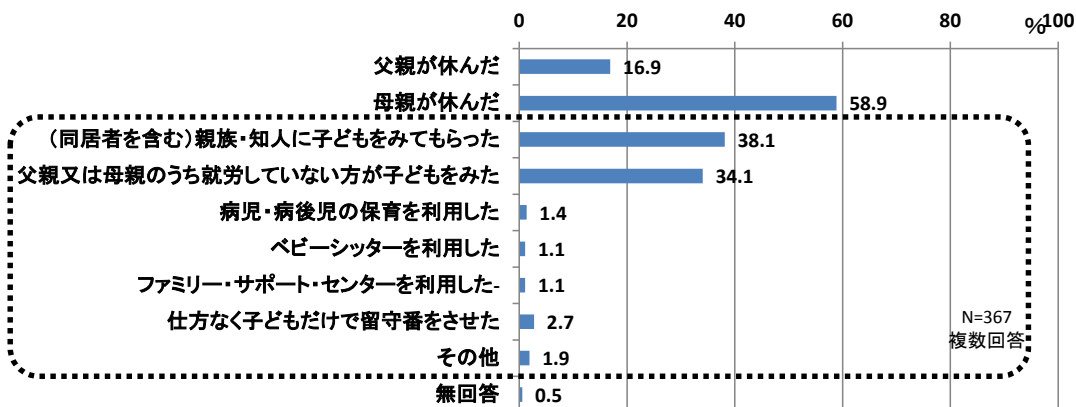
問 22-3 問 22-2 で「1. できれば、病児・病後児保育施設等を利用したい」に回答された方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。（○はいくつでも）



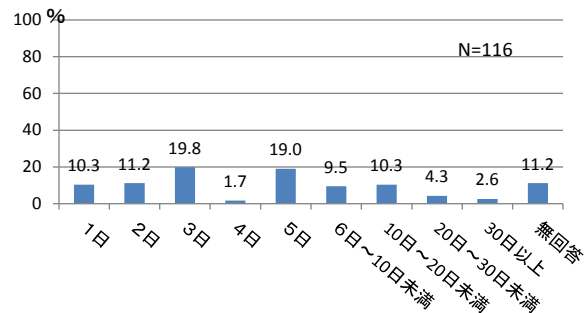
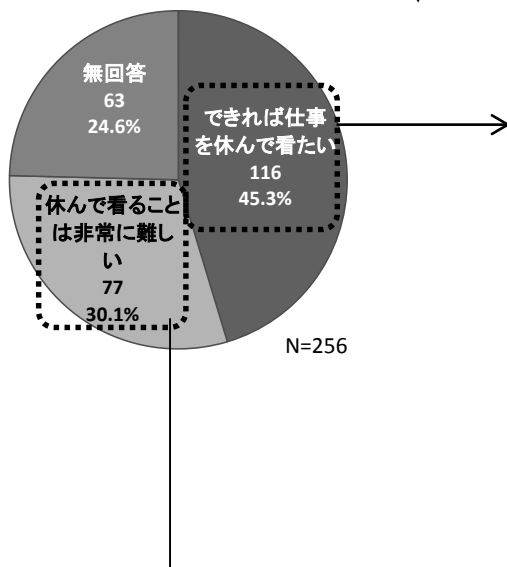
問 22-4 問 22-2 で「2. 利用したいと思わない」に回答された方にうかがいます。そう思われる理由は何ですか。（〇はいくつでも）



問 22-5 問 22-1 で「3.」から「9.」のいずれかに回答された方にうかがいます。その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。（〇は1つ）また、「3.」から「9.」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についてもご記入ください。

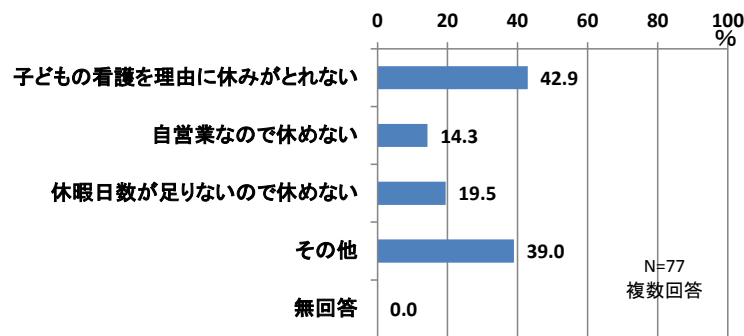


再掲(問 22-1)





問 22-6 問 22-5 で「2. 休んで見ることは非常に難しい」に回答された方にうかがいます。
そう思われる理由は何ですか。（〇はいくつでも）



○この1年間に子どもの病気やケガで通常の事業が利用できなかったことがある人は57.8%。
○その時のもっとも多い対処方法は、「母親が休んだ」で58.9%、次いで「親戚・知人に預けた」38.1%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」34.1%、「父親が休んだ」16.9%となっている。

○「できれば病児・病後児のための保育施設等に預けたい」と思われた人は41.6%で、その日数は、10日～20日未満程度がもっとも多く22.3%。

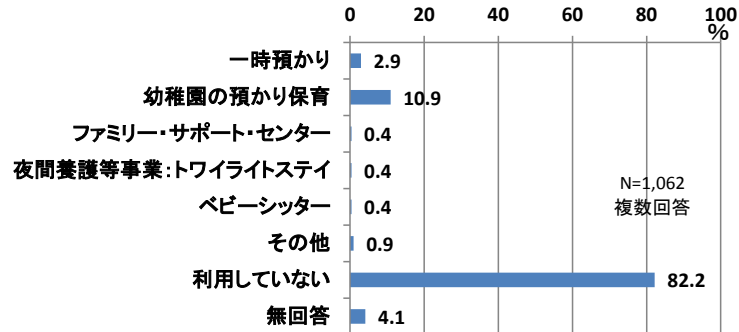
○病気やケガで病児・病後児保育施設等に子どもを預ける場合、86.2%が「小児科に併設した施設」、59.6%が「他の施設に併設した施設」が望ましい事業形態と回答している。

○「利用したいと思わない」理由は、「親が仕事を休んで対応する」69.3%、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」57.5%。

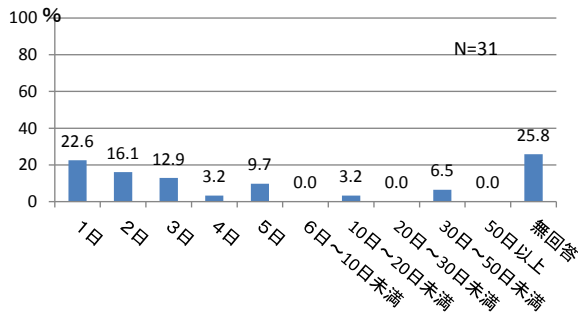
○対処方法が父母や親戚以外と回答した人で、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」という人は45.3%。その日数は、年間1～10日程度。
○「休んで見ることは非常に難しい」と回答した理由は、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が42.9%、「休暇日数が足りないので休めない」が19.5%。

不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

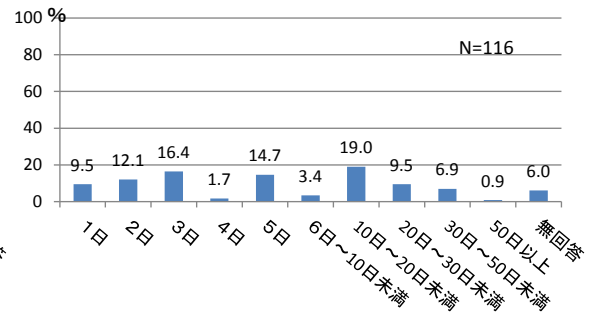
問 23 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。(〇はいくつでも) また、その場合の1年間の利用日数(おおよそ)もご記入ください。(数字を記入)



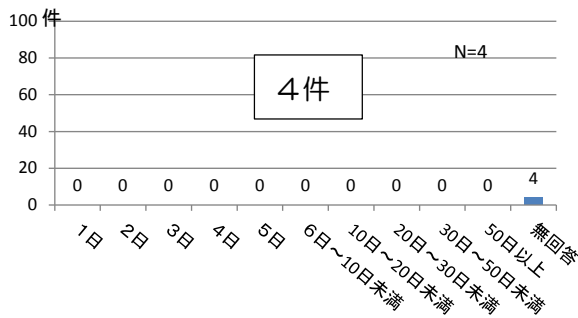
1. 一時預かり



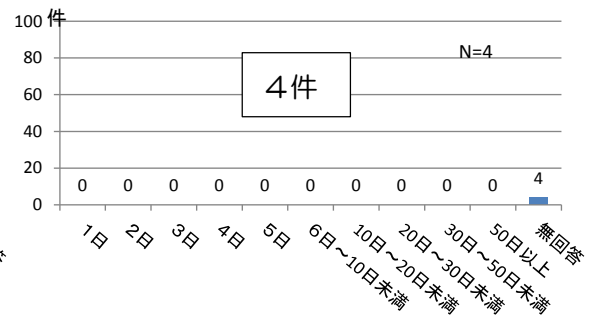
2. 幼稚園の預かり保育



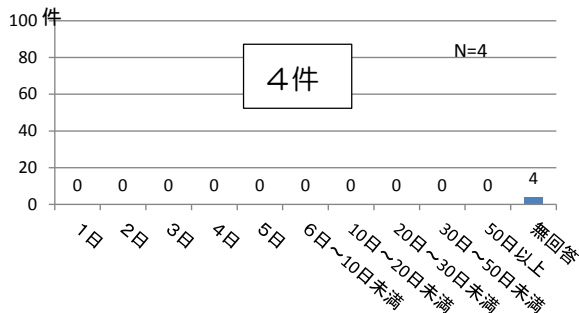
3. ファミリー・サポート・センター



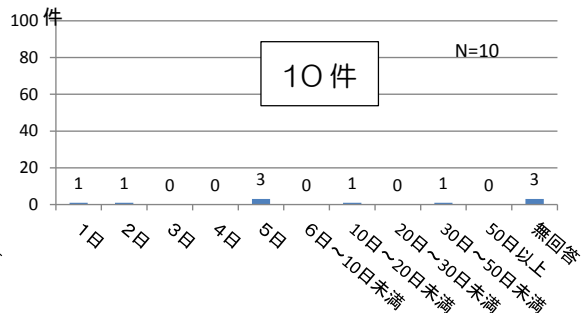
4. 夜間養護等事業:トワイライトステイ



5. ベビーシッター

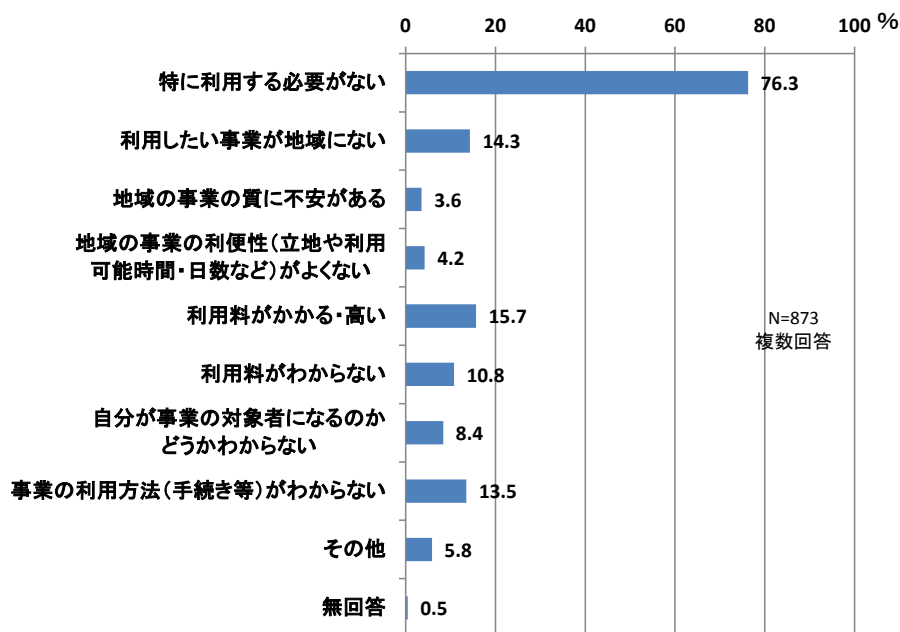


6. その他



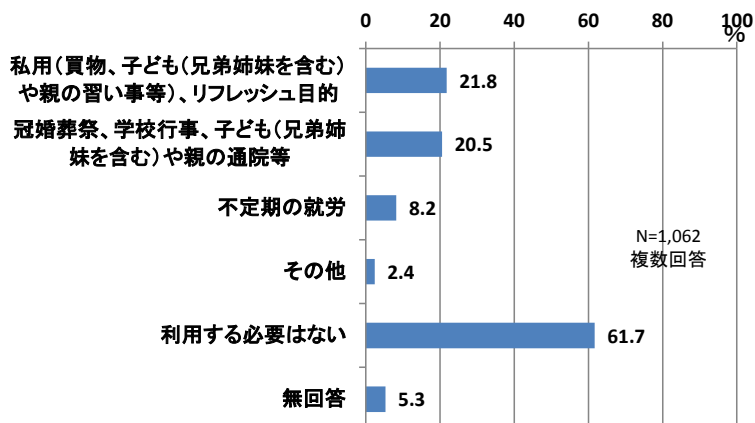
○不規則の就労のため利用される事業でもっとも多いのは「幼稚園の預かり保育」10.9%、次いで「一時預かり」2.9%、「利用していない」は82.2%。

問 23-1 問 23 で「7. 利用していない」と回答した方にかがいます。現在利用していない理由は何ですか。（○はいくつでも）

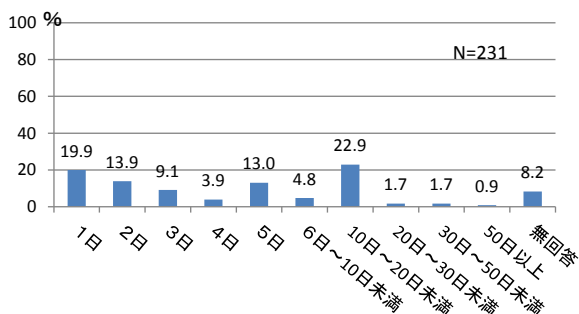


○不規則の事業を利用しない理由は「利用料がかかる・高い」15.7%、「利用したい事業が地域にない」14.3%、「事業の利用方法がわからない」13.5%、「特に利用する必要がない」は76.3%。

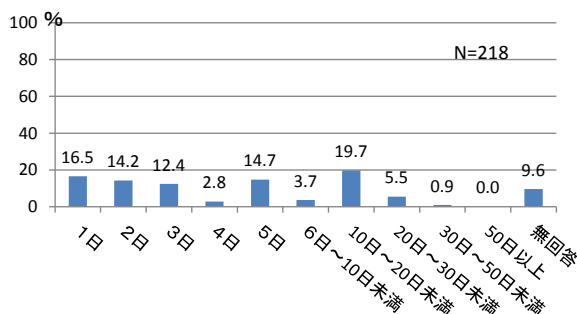
問 24 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労の目的で、利用する希望がありますか。ある場合、その利用の目的は何ですか。(〇はいくつでも) また、必要な日数も記入してください。(数字を記入) なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。



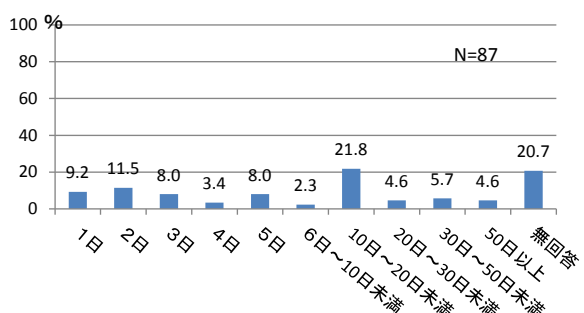
1. 私用、リフレッシュ目的



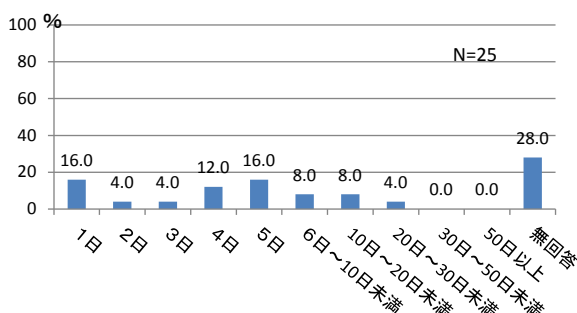
2. 冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等



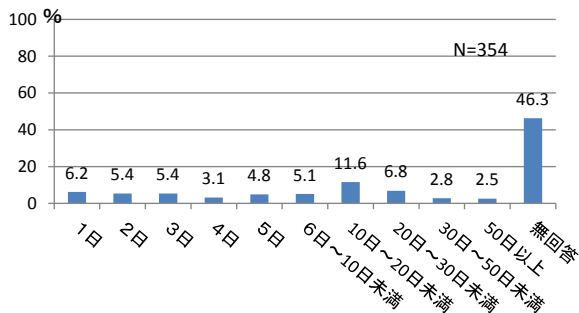
3. 不定期の就労



4. その他

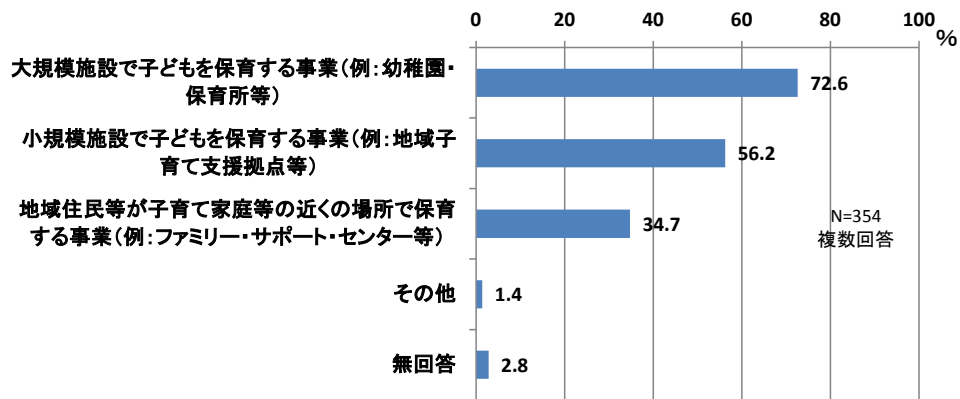


合計



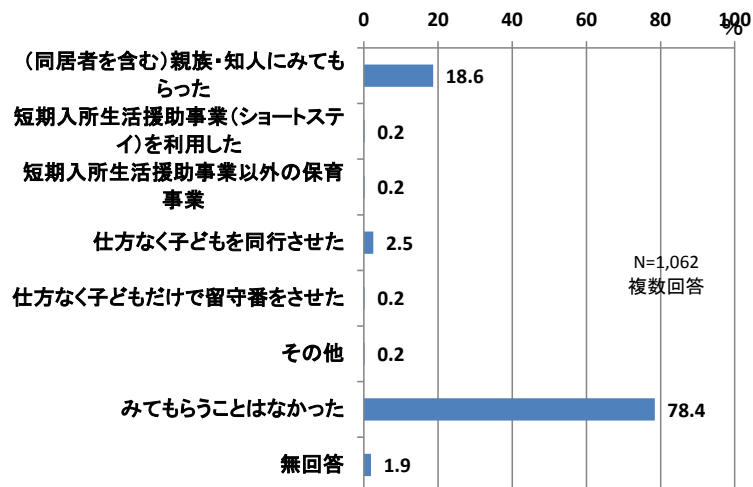
〇不定期の事業を利用の目的は、「私用のため」21.8%、「冠婚葬祭、子供の親の通院のため」20.5%、「不定期の就労のため」8.2%。「利用する必要はない」は61.7%。

問 24-1 問 24 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。（〇はいくつでも）

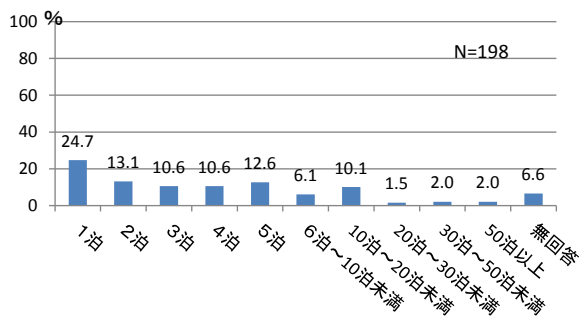


〇私用、親の通院、不定期の就労の目的で預ける場合望ましいのは「大規模施設で子どもを預かる事業」72.6%、「小規模施設で子どもを保育する事業」56.2%、「地域住民が子育て家庭の近くの場所で預かる事業」が34.7%。

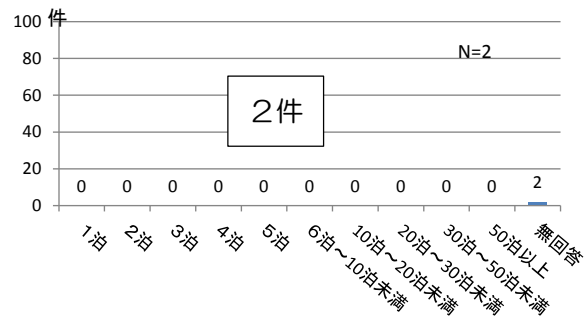
問 25 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。（〇はいくつでも）
（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、日数もご記入ください。（数字を記入）



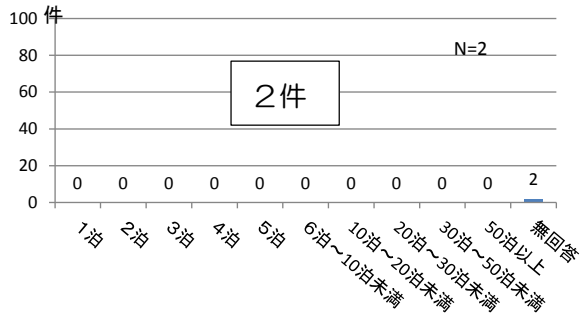
1. (同居者を含む)親族・知人にみてもらった



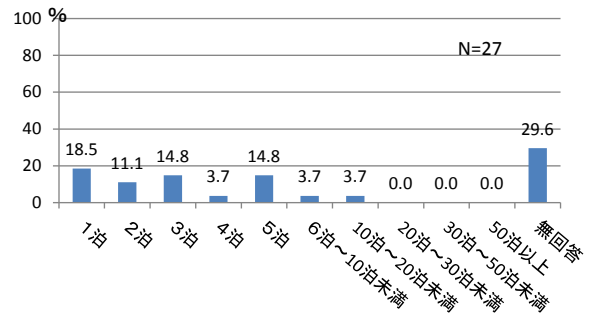
2. 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した



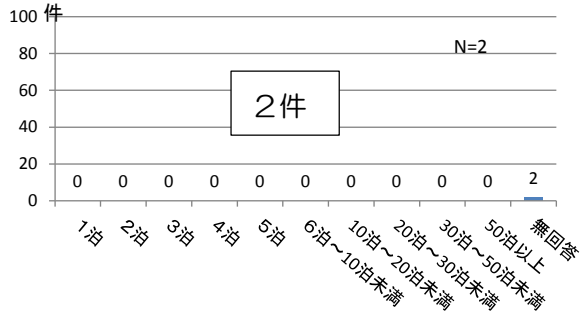
3. 2以外の保育事業



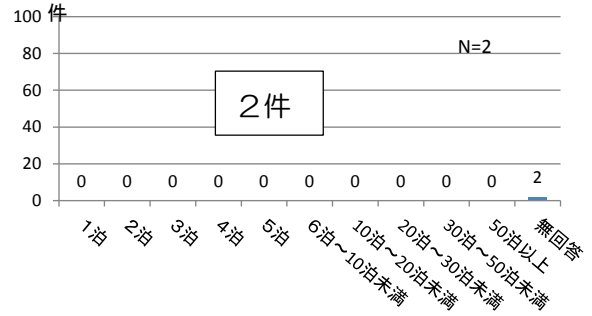
4. 仕方なく子どもを同行させた



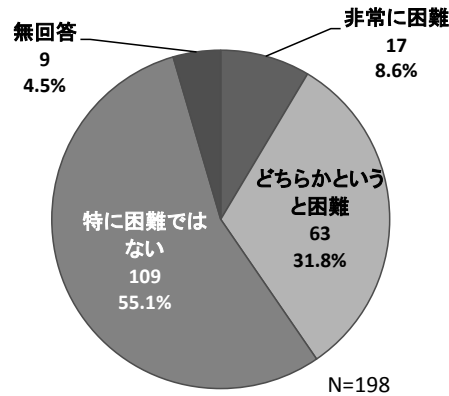
5. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた



6. その他を利用した



問 25-1 問 25 で「1. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」と回答された方にうかがいます。その場合の困難度はどの程度でしたか。(〇は1つ)



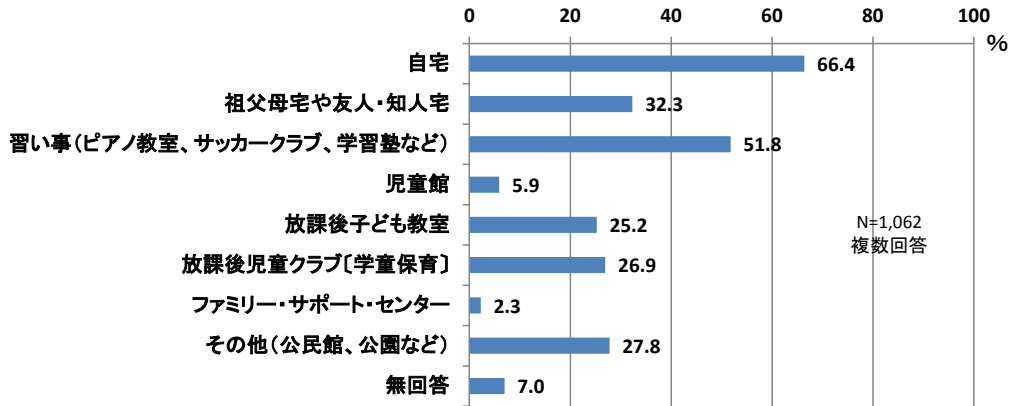
○保護者の用事により、泊りがけで家族以外に預けることがあったのは 19.7%で、その時の対処方法は、「親族・知人に預ける」が 18.6%。「仕方なく子どもを同行させた」は 2.5%。

○保護者の用事により、泊りがけで家族以外に預けるケースの「困難度」は、「困難」40.4%、「特に困難ではない」55.1%。

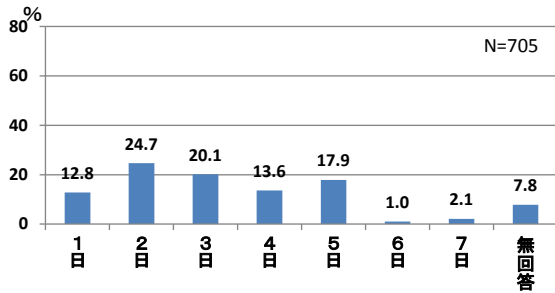
小学校就学後の放課後の過ごし方について

問 26 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（〇はいくつでも）また、それぞれ希望する週当たり日数をご記入ください。なお、「放課後児童クラブ」の場合には、利用する時間もご記入ください。（数字を記入）時間は必ず（例）18時のように、24時間制で記入してください。

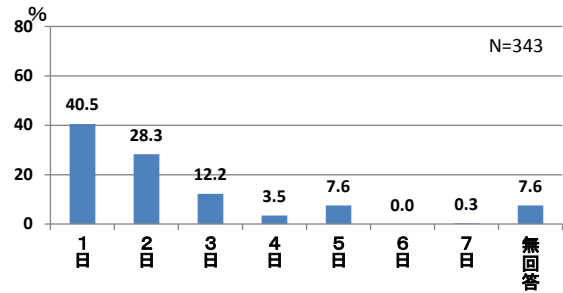
「放課後児童クラブ」…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員のもと、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。



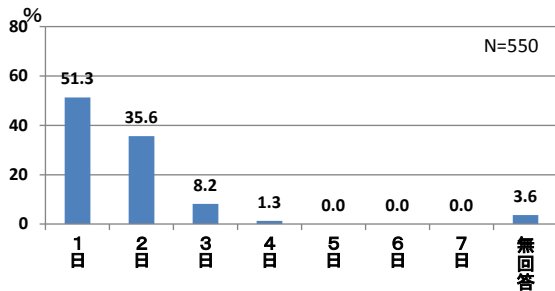
1. 自宅



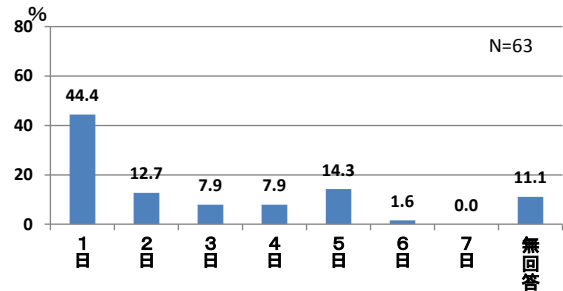
2. 祖父母宅や友人・知人宅



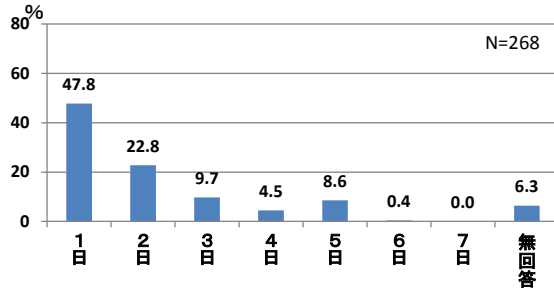
3. 習い事



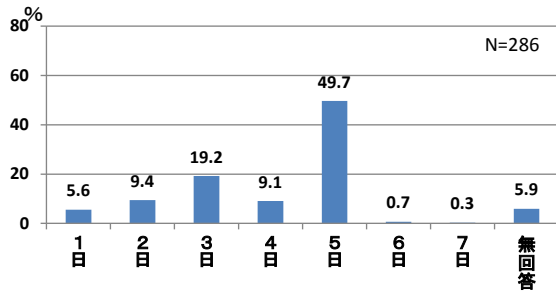
4. 児童館



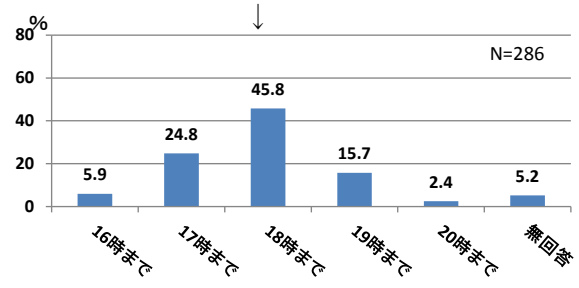
5. 放課後子ども教室



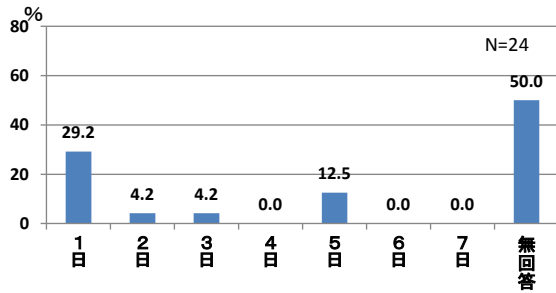
6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕



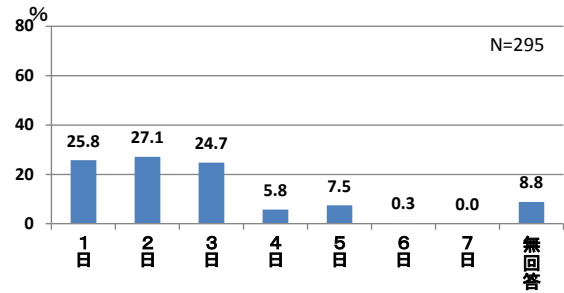
下校時から



7. ファミリー・サポート・センター



8. その他(公民館、公園など)



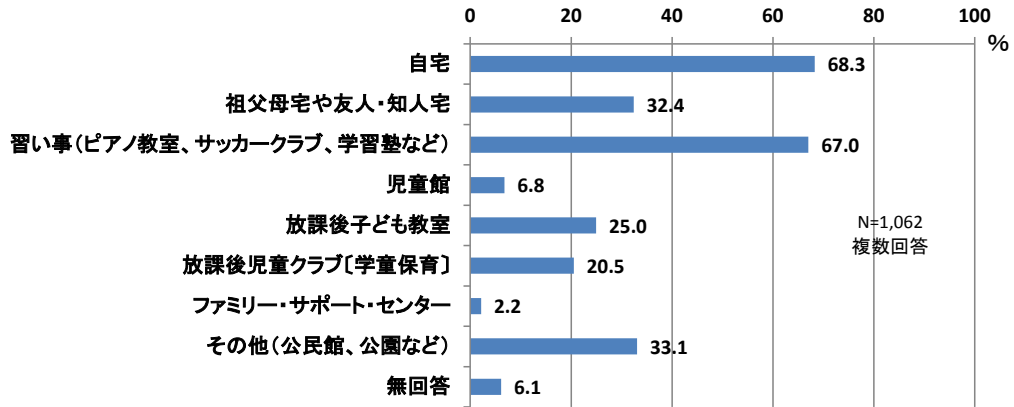
小学校低学年(1～3年生)で放課後の時間を過ごさせたい場所(各種属性別)

		合計	問26【小学校低学年(1～3年生)】放課後(平日の小学校終了後) 過ごさせたい場所								
			自宅	祖父母宅 や友人・ 知人宅	習い事 (ピアノ 教室、 サッカー クラブ、 学習塾な ど)	児童館	放課後子 ども教室	放課後児 童クラブ 〔学童保 育〕	ファミ リー・サ ポート・ センター	その他 (公民 館、公園 など)	無回答
問2 子の年齢	全体	1062	66.4	32.3	51.8	5.9	25.2	26.9	2.3	27.8	7.0
	0歳	237	63.7	38.4	53.6	9.3	23.6	27.8	5.5	25.7	11.0
	1歳	148	60.1	27.0	50.0	5.4	29.7	30.4	2.0	33.1	9.5
	2歳	158	65.2	34.8	56.3	5.1	29.1	27.2	1.3	27.8	7.6
	3歳	167	67.1	37.7	49.7	2.4	23.4	28.1	0.6	27.5	3.6
	4歳	174	67.2	24.7	52.3	8.0	29.3	29.3	2.3	23.6	6.9
問5 配偶者の有無	5歳	173	74.0	28.9	48.0	3.5	17.9	19.7	0.6	28.3	2.3
	配偶者がいる	977	67.6	33.5	53.2	6.2	26.3	26.0	2.4	28.2	6.6
問39 世帯の年収	配偶者はいない	70	50.0	21.4	35.7	2.9	14.3	40.0	1.4	15.7	11.4
	～200万円	86	58.1	30.2	27.9	5.8	11.6	25.6	2.3	24.4	14.0
	200～300万円	143	74.8	32.9	51.0	6.3	29.4	23.8	0.7	33.6	2.8
	300～400万円	208	68.8	36.1	50.5	7.2	23.1	20.7	1.9	31.7	7.7
	400～500万円	197	67.5	36.5	56.9	3.6	27.4	29.9	4.6	22.3	5.6
	500～700万円	268	66.0	29.1	58.2	6.7	26.1	29.1	1.5	28.4	5.2
	700～1,000万円	98	59.2	27.6	46.9	6.1	26.5	34.7	3.1	21.4	7.1
	1,000万円以上	30	66.7	23.3	56.7	3.3	30.0	26.7	0.0	36.7	3.3
問15 「定期的な教育・ 保育の事業」の利用	利用している	635	65.2	30.2	48.3	4.4	23.9	30.2	1.3	24.9	5.0
	利用していない	410	68.8	35.4	56.8	8.3	27.1	22.2	3.9	32.0	9.8
問15-1平日、年間を通じ て「定期的に」利用して いる教育・保育の事業	幼稚園	348	81.3	31.9	61.2	4.0	26.7	13.5	1.4	32.2	5.2
	幼稚園の預かり保育	41	51.2	22.0	48.8	0.0	19.5	31.7	0.0	22.0	14.6
	認可保育所	241	43.6	26.6	29.5	4.6	21.2	54.4	0.4	13.3	4.1
	認定こども園	3	66.7	33.3	100.0	33.3	66.7	66.7	33.3	66.7	0.0
	家庭的保育	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	事業所内保育施設	4	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0	25.0
	自治体の認証・認定保育施設	4	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	その他の認可外の保育施設	2	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	居宅訪問型保育	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ファミリー・サポート・センター	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	17	70.6	64.7	47.1	5.9	29.4	11.8	5.9	35.3	5.9
問32 現在、子育てをして いて、楽しさと大変さ のどちらを感じるものが 多いか	楽しさを感じる	309	69.3	31.7	55.7	7.1	23.9	25.6	3.9	29.4	5.8
	どちらかといえば楽しさを感じる	274	68.6	32.1	50.7	7.7	27.4	25.9	2.6	25.9	6.2
	楽しさと大変さを同等に感じる	360	65.3	35.8	51.9	4.4	27.2	28.1	1.1	28.9	6.1
	どちらかといえば大変さを感じる	92	58.7	25.0	45.7	2.2	20.7	32.6	1.1	25.0	10.9
	大変さを感じる	17	52.9	17.6	41.2	0.0	5.9	23.5	0.0	11.8	23.5
問33 お住まいの地域に おける子育ての環境や支 援の満足度	満足度が低い	192	61.5	24.0	49.5	10.4	24.0	33.9	2.1	26.0	7.3
	満足度がやや低い	346	68.8	31.8	54.3	5.8	28.0	29.2	3.2	29.8	6.1
	満足度は普通	365	67.4	39.5	51.5	4.7	24.9	21.1	2.2	28.5	7.1
	満足度がやや高い	117	65.8	29.9	51.3	2.6	23.1	28.2	0.9	21.4	8.5
	満足度が高い	33	63.6	24.2	51.5	6.1	21.2	24.2	0.0	33.3	3.0
問9 日頃、子どもをみて もらえる親族・知人	日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	401	70.8	40.6	53.9	4.7	23.4	19.0	2.0	29.7	6.2
	緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族	594	67.2	33.7	52.9	5.1	25.8	28.6	2.9	28.3	7.1
	日常的に子どもをみてもらえる友人・知人も	37	70.3	21.6	59.5	0.0	27.0	16.2	0.0	37.8	10.8
	緊急時もしくは用事の際には子どもをみても	164	71.3	34.1	48.2	6.1	29.3	23.2	1.8	31.1	9.8
	いずれもない	96	55.2	11.5	50.0	14.6	30.2	37.5	3.1	28.1	9.4
問38 子育てについて、 気軽に相談できる人(統 合)	親族・友人・近所の人	1020	66.9	33.4	52.4	6.1	25.7	26.8	2.4	28.1	6.5
	子育ての専門スタッフ	485	65.8	34.6	49.7	7.8	27.4	30.9	2.7	27.8	6.0
	とくにいない	47	55.3	17.0	42.6	4.3	23.4	34.0	2.1	27.7	8.5

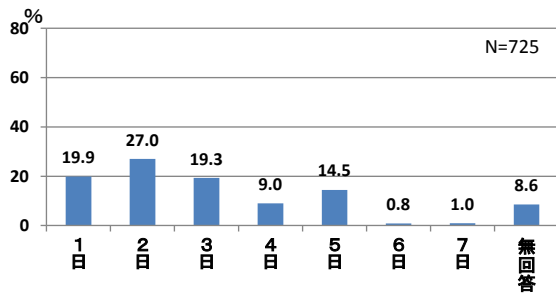
小学校低学年(1～3年生)で放課後の時間を過ごさせたい場所(地域別・就労状況別)

		合計	問26【小学校低学年(1～3年生)】放課後(平日の小学校終了後) 過ごさせたい場所								
			自宅	祖父母宅 や友人・ 知人宅	習い事 (ピアノ 教室、 サッカー クラブ、 学習塾な ど)	児童館	放課後子 ども教室	放課後児 童クラブ 〔学童保 育〕	ファミ リー・サ ポート・ センター	その他 (公民 館、公園 など)	無回答
問1 お住まいの地区	全体	1062	66.4	32.3	51.8	5.9	25.2	26.9	2.3	27.8	7.0
	三崎地区	311	65.9	37.0	47.3	4.2	22.2	26.7	0.6	27.3	4.8
	南下浦地区	446	62.3	31.6	53.1	6.1	26.5	30.3	2.7	25.6	8.7
	初声地区	297	72.7	28.3	54.5	7.7	26.9	22.9	3.4	31.0	6.4
世帯の就労状況	ひとり親家庭	66	50.0	21.2	36.4	3.0	15.2	40.9	1.5	15.2	10.6
	共稼ぎ(フルタイム)	180	37.8	22.8	37.8	4.4	22.8	53.3	2.2	15.0	6.7
	共稼ぎ(パート)	221	70.6	34.4	50.7	7.7	22.2	29.4	1.8	24.0	1.8
	専業主婦・主夫	522	77.6	35.4	60.2	5.9	30.1	16.3	2.3	35.4	7.5
	その他	73	58.9	37.0	43.8	6.8	15.1	17.8	4.1	27.4	16.4

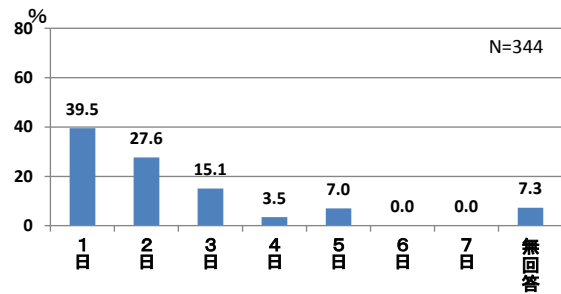
問 27 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（〇はいくつでも）また、それぞれ希望する週当たり日数をご記入ください。（数字を記入）なお、「放課後児童クラブ」の場合には、利用する時間もご記入ください。（数字を記入）時間は必ず（例）18時のように、24時間制で記入してください。
 ※だいたい先のこととなりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。



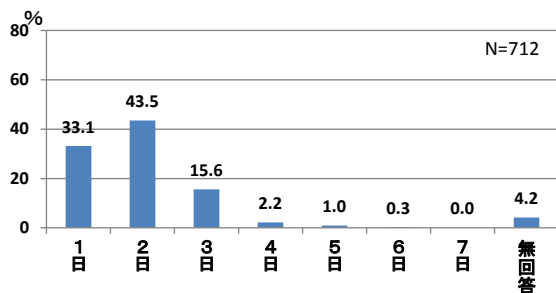
1. 自宅



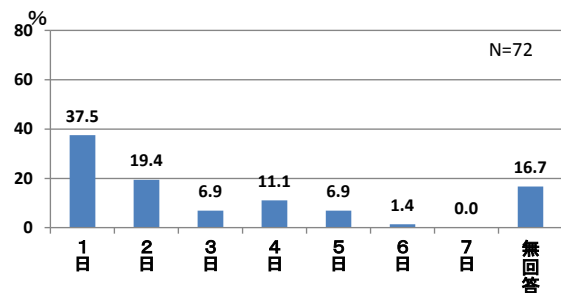
2. 祖父母宅や友人・知人宅



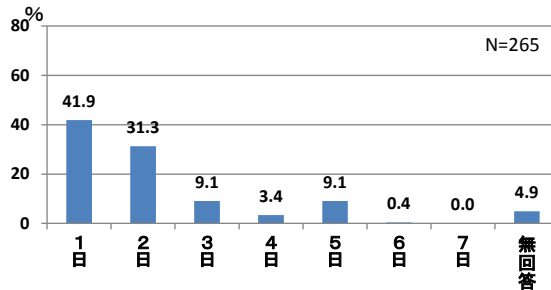
3. 習い事



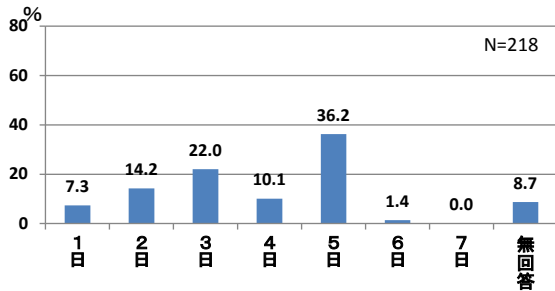
4. 児童館



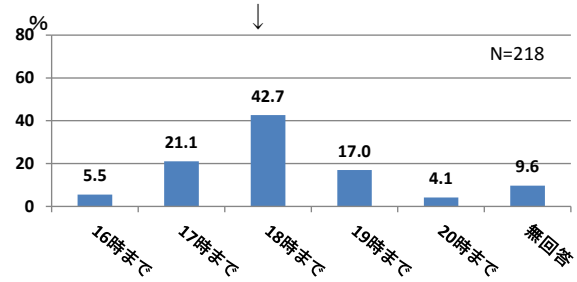
5. 放課後子ども教室



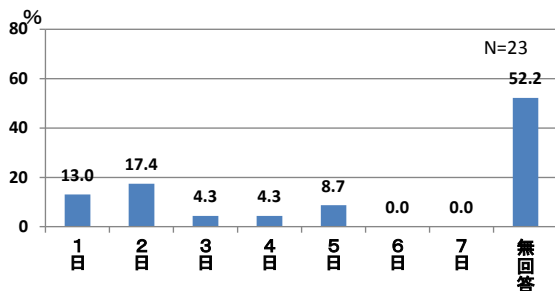
6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕



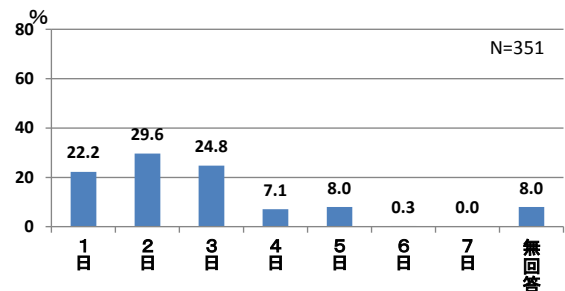
下校時から



7. ファミリー・サポート・センター



8. その他(公民館、公園など)



○「小学校就学後に放課後の時間を過ごさせたい場所」は、「自宅」が小学校低学年時、高学年時のいずれにおいても66.4%、68.3%と高く、「習い事」が、低学年時では51.8%、高学年時ではそれを大きく上回る67.0%となっている。次いで、「祖父母宅や友人・知人宅」がそれぞれ32%程度、「その他(公民館、公園など)」がやや高学年の割合が高いがそれぞれ30%前後、「放課後子ども教室」がそれぞれ25%程度、「放課後児童クラブ」は、低学年では25%強だが高学年では20%強程度、「児童館」はそれぞれ5%前後と、高学年になると習い事の割合が多く、低学年でやや学童保育の割合が高いものの、小学校低学年でも高学年でも放課後の過ごし方はあまり変わらないようである。

小学校高学年(4～6年生)で放課後の時間を過ごさせたい場所(各種属性別)

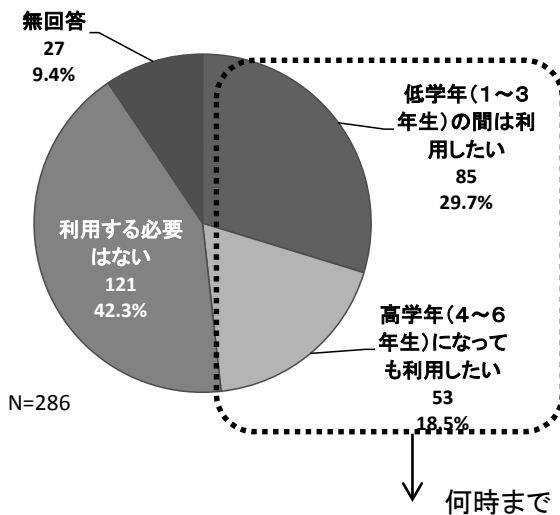
		合計	問27【小学校高学年(4～6年生)放課後(平日の小学校終了後)過ごさせたい場所								
			自宅	祖父母宅 や友人・ 知人宅	習い事 (ピアノ 教室、 サッカー クラブ、 学習塾な ど)	児童館	放課後子 ども教室	放課後児 童クラブ 〔学童保 育〕	ファミ リー・サ ポート・ センター	その他 (公民 館、公園 など)	無回答
問2 子の年齢	全体	1062	68.3	32.4	67.0	6.8	25.0	20.5	2.2	33.1	6.1
	0歳	237	65.0	37.1	66.2	10.1	23.6	22.8	4.6	31.2	9.7
	1歳	148	57.4	31.1	65.5	6.1	29.7	20.9	2.0	33.1	10.1
	2歳	158	70.9	36.7	67.1	7.0	29.1	21.5	1.9	35.4	5.7
	3歳	167	70.1	34.1	68.9	3.6	22.2	19.8	0.6	32.9	3.0
	4歳	174	67.2	23.6	65.5	6.3	26.4	25.3	2.3	25.9	5.7
	5歳	173	78.0	30.6	69.4	5.8	20.2	12.7	0.6	38.7	1.7
問5 配偶者の有無	配偶者がいる	977	69.5	33.6	69.3	6.7	25.8	19.5	2.4	33.7	5.6
	配偶者がいない	70	51.4	20.0	40.0	10.0	17.1	35.7	0.0	22.9	11.4
問39 世帯の年収	～200万円	86	58.1	29.1	40.7	7.0	12.8	23.3	1.2	31.4	12.8
	200～300万円	143	76.2	35.7	61.5	9.1	32.2	17.5	0.7	43.4	3.5
	300～400万円	208	72.6	38.9	66.8	6.3	21.2	16.3	1.9	36.5	5.8
	400～500万円	197	68.0	32.0	71.6	6.1	27.9	24.4	4.1	27.9	4.6
	500～700万円	268	66.4	29.9	75.0	7.1	24.3	18.7	1.9	32.5	5.2
	700～1,000万円	98	62.2	31.6	66.3	6.1	29.6	30.6	3.1	23.5	5.1
	1,000万円以上	30	86.7	16.7	86.7	0.0	26.7	13.3	0.0	40.0	3.3
問15 「定期的な教育・ 保育の事業」の利用	利用している	635	69.4	30.7	65.5	4.9	23.8	21.7	1.3	30.4	4.3
	利用していない	410	66.8	35.1	69.8	9.8	26.6	19.3	3.7	36.6	8.8
問15-1平日、年間を通じ て「定期的に」利用して いる教育・保育の事業	幼稚園	348	78.4	30.2	77.9	5.2	25.9	11.8	1.4	37.6	3.7
	幼稚園の預かり保育	41	58.5	24.4	68.3	0.0	17.1	17.1	0.0	24.4	14.6
	認可保育所	241	67.3	29.5	68.1	4.1	21.6	37.3	0.4	19.9	4.1
	認定こども園	3	66.7	33.3	100.0	33.3	66.7	66.7	33.3	66.7	0.0
	家庭的保育	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	事業所内保育施設	4	25.0	0.0	50.0	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0	25.0
	自治体の認証・認定保育施設	4	100.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	その他の認可外の保育施設	2	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	居宅訪問型保育	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ファミリー・サポート・センター	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	17	70.6	58.8	70.6	5.9	35.3	0.0	5.9	29.4	5.9
問32 現在、子育てをして いて、楽しさと大変さ のどちらを感じるものが 多いか	楽しさを感じる	309	71.8	29.4	68.0	6.1	25.9	20.4	3.6	33.0	4.9
	どちらかといえば楽しさを感じる	274	67.9	36.1	69.0	9.9	25.5	17.5	2.6	37.2	5.8
	楽しさと大変さを同等に感じる	360	66.9	34.4	69.2	5.8	26.7	22.2	1.1	32.2	5.0
	どちらかといえば大変さを感じる	92	63.0	25.0	54.3	3.3	18.5	26.1	1.1	28.3	10.9
	大変さを感じる	17	70.6	23.5	58.8	0.0	5.9	17.6	0.0	11.8	17.6
問33 お住まいの地域に おける子育ての環境や支 援の満足度	満足度が低い	192	63.5	24.0	63.5	10.4	22.9	27.1	2.1	29.2	6.3
	満足度がやや低い	346	66.8	31.8	69.1	6.9	29.5	22.3	2.9	34.1	5.5
	満足度は普通	365	74.2	38.1	68.5	5.8	22.7	15.1	2.2	35.3	6.0
	満足度がやや高い	117	65.0	32.5	66.7	2.6	23.9	23.1	0.9	29.9	7.7
	満足度が高い	33	60.6	27.3	63.6	9.1	24.2	21.2	0.0	36.4	3.0
問9 日頃、子どもをみて もらえる親族・知人	日常的に祖父母等の親族にみもらえる	401	70.3	40.1	69.3	7.2	24.2	14.7	2.2	37.2	6.0
	緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみもらえる	594	68.5	32.7	68.9	5.2	25.9	22.2	2.7	31.8	5.6
	日常的に子どもをみもらえる友人・知人にみもらえる	37	73.0	24.3	70.3	0.0	27.0	10.8	0.0	45.9	8.1
	緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人にみもらえる	164	67.1	32.9	67.7	6.1	30.5	17.7	1.2	36.0	7.3
	いずれもない	96	60.4	15.6	61.5	15.6	28.1	29.2	3.1	33.3	9.4
問31 現在、子育てで感 じている悩み(統合)	悩みがある	825	67.3	33.1	69.1	7.2	26.8	22.8	2.7	32.1	6.7
	悩みはない	227	73.1	30.4	59.5	5.7	20.3	12.8	0.4	38.3	3.1
問38 子育てについて、 気軽に相談できる人(統 合)	親族・友人・近所の人	1020	68.6	33.5	67.9	7.0	25.4	20.6	2.3	33.5	5.6
	子育ての専門スタッフ	485	67.4	36.5	67.0	7.6	26.8	22.5	2.7	30.7	5.4
	とくにいない	47	63.8	23.4	51.1	2.1	23.4	23.4	2.1	34.0	8.5

小学校高学年(4～6年生)で放課後の時間を過ごさせたい場所(地域別・就労状況別)

		合計	問27【小学校高学年(4～6年生)放課後(平日の小学校終了後)過ごさせたい場所								
			自宅	祖父母宅 や友人・ 知人宅	習い事 (ピアノ 教室、 サッカー クラブ、 学習塾な ど)	児童館	放課後子 ども教室	放課後児 童クラブ 〔学童保 育〕	ファミ リー・サ ポート・ センター	その他 (公民 館、公園 など)	無回答
問1 お住まいの地区	全体	1062	68.3	32.4	67.0	6.8	25.0	20.5	2.2	33.1	6.1
	三崎地区	311	68.6	36.7	61.7	4.8	20.9	19.9	0.6	31.5	4.8
	南下浦地区	446	65.2	33.6	66.8	7.2	27.1	24.7	2.5	29.4	7.8
	初声地区	297	74.1	25.9	72.7	8.4	26.3	15.5	3.4	39.7	4.7
世帯の就労状況	ひとり親家庭	66	51.5	19.7	40.9	10.6	18.2	36.4	0.0	22.7	10.6
	共稼ぎ(フルタイム)	180	48.3	23.3	62.2	2.2	23.3	40.6	1.7	20.6	5.6
	共稼ぎ(パート)	221	79.6	35.7	66.5	6.8	21.3	19.0	1.4	28.5	1.4
	専業主婦・主夫	522	72.4	35.2	73.2	7.5	28.2	12.8	2.5	39.8	6.7
	その他	73	68.5	35.6	60.3	9.6	23.3	16.4	5.5	38.4	13.7

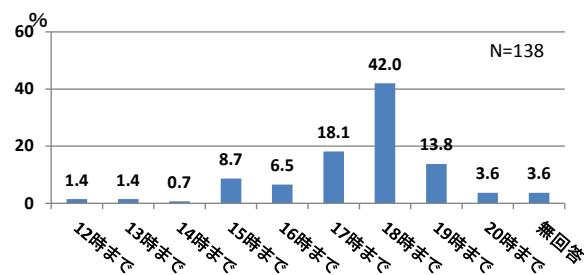
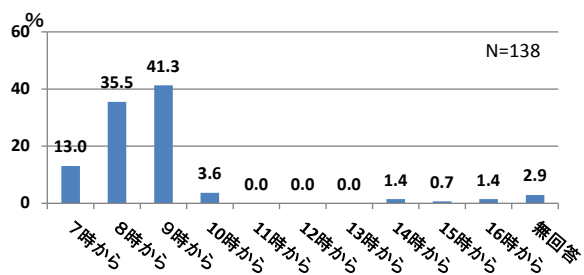
問 28 問 26 または問 27 で「6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕」に回答された方にうかがいます。あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。((1) (2) それぞれに○は 1 つ) また、利用希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。(数字を記入) (例) 09 時～18 時のように、24 時間制で記入してください。

(1) 土曜日

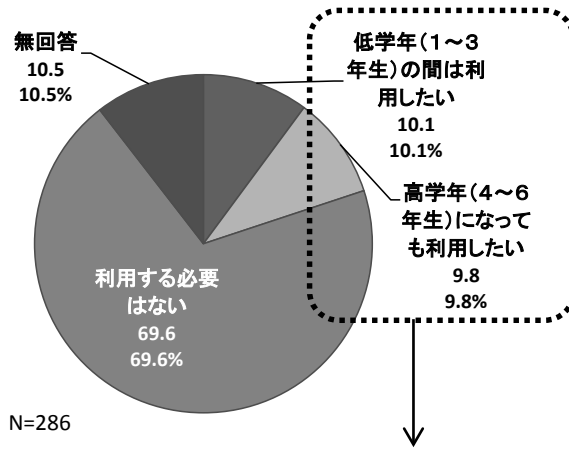


何時から

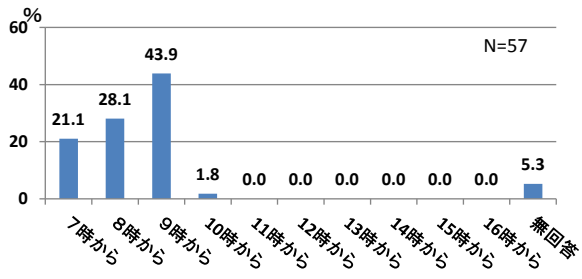
何時まで



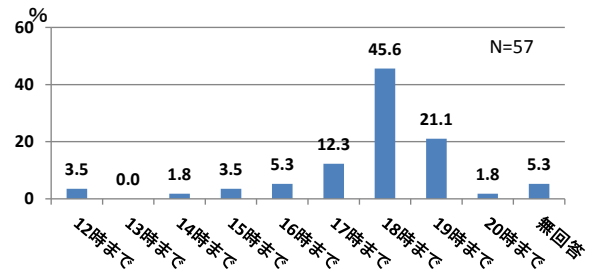
(2) 日曜・祝日



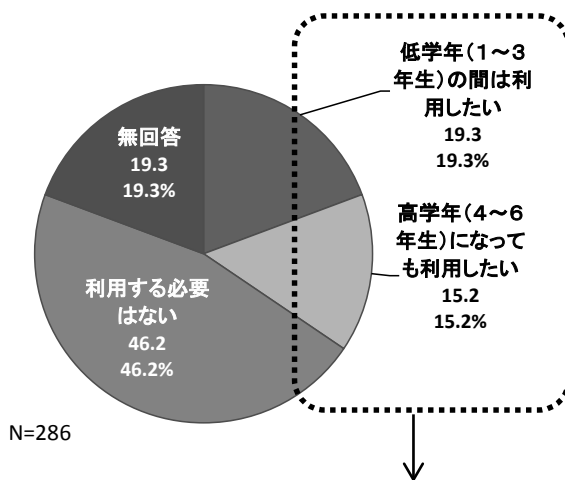
何時から



何時まで

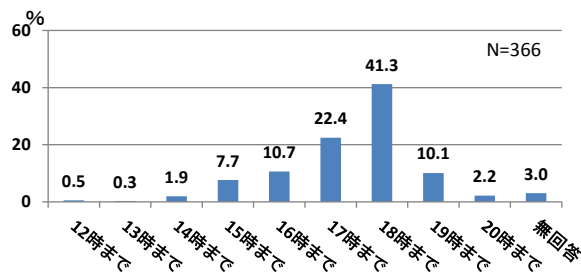
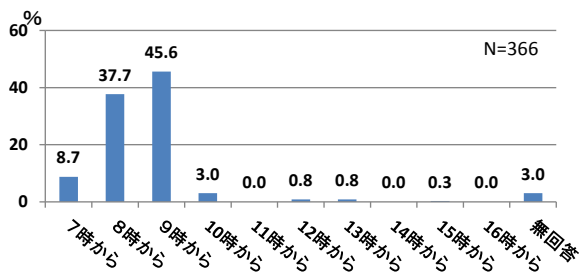


問 29 あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。(○は1つ) 事業の利用には、一定の利用料がかかります。利用希望がある場合は、利用したい時間帯を(例)09時~18時のように、24時間制で記入してください。



何時から

何時まで

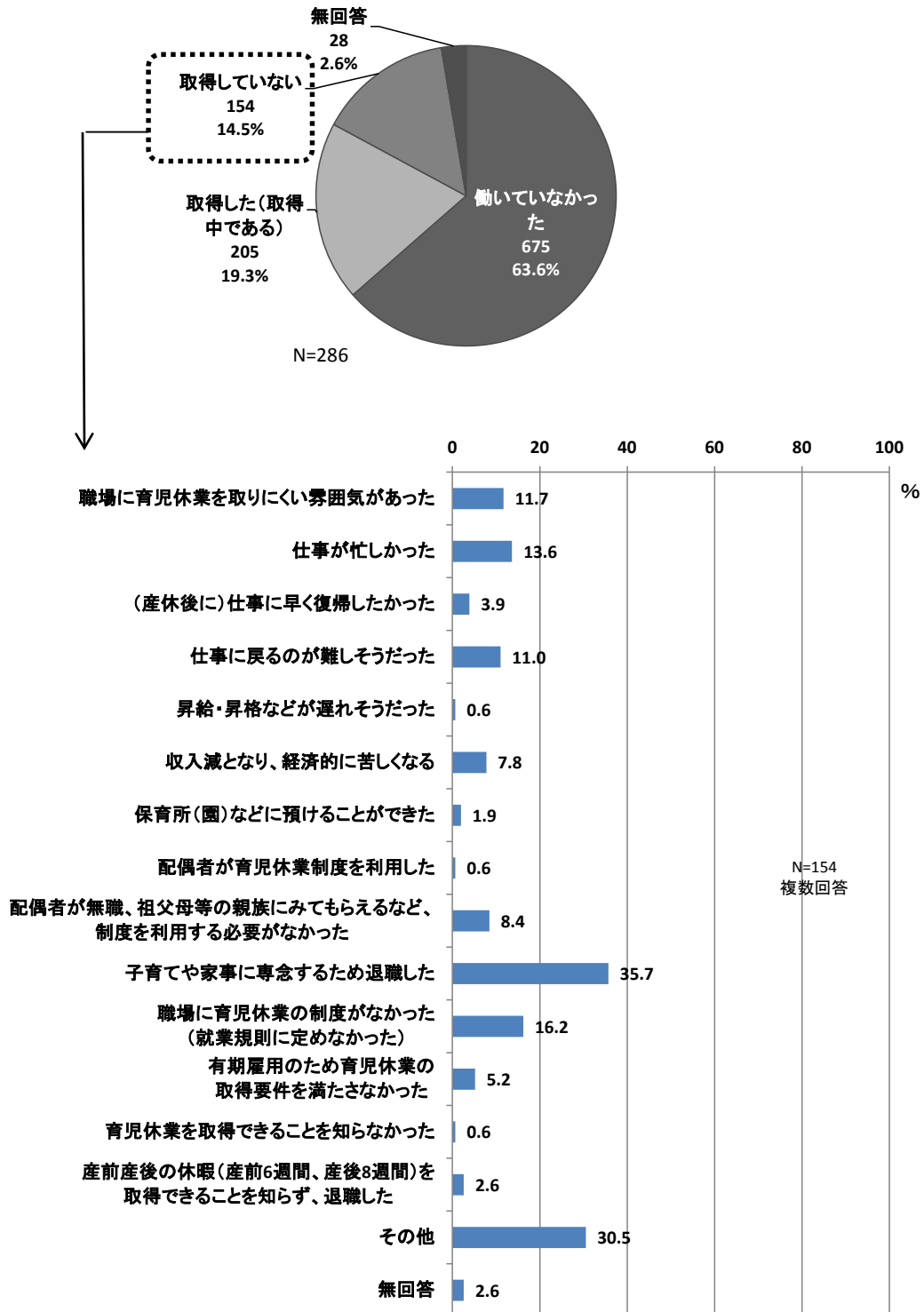


- 「放課後児童クラブ(学童保育)」に回答された方について、土曜日の放課後児童クラブの利用希望は、「低学年の間は利用したい」が29.7%、「高学年になっても利用したい」が18.5%、「利用する必要はない」が42.3%。
- 「放課後児童クラブ(学童保育)」に回答された方について、日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望は、「低学年の間は利用したい」が10.1%、「高学年になっても利用したい」が9.8%、「利用する必要はない」が69.6%。
- 「放課後児童クラブ(学童保育)」に回答された方について、夏休み・冬休みなどの長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望は、「低学年の間は利用したい」が19.3%、「高学年になっても利用したい」が15.2%、「利用する必要はない」が46.2%。
- 「放課後児童クラブ(学童保育)」は日曜日は低学年も高学年も利用希望は少なめだが、土曜日と長期休暇中は、特に低学年での利用希望が高くあった。
- 「放課後児童クラブ(学童クラブ)」の利用については、いずれも8時または9時からが28.1%~45.6%、18時までが41.3%~45.6%と希望が多く、日曜・祝日については、7時からという希望も21.1%あった。

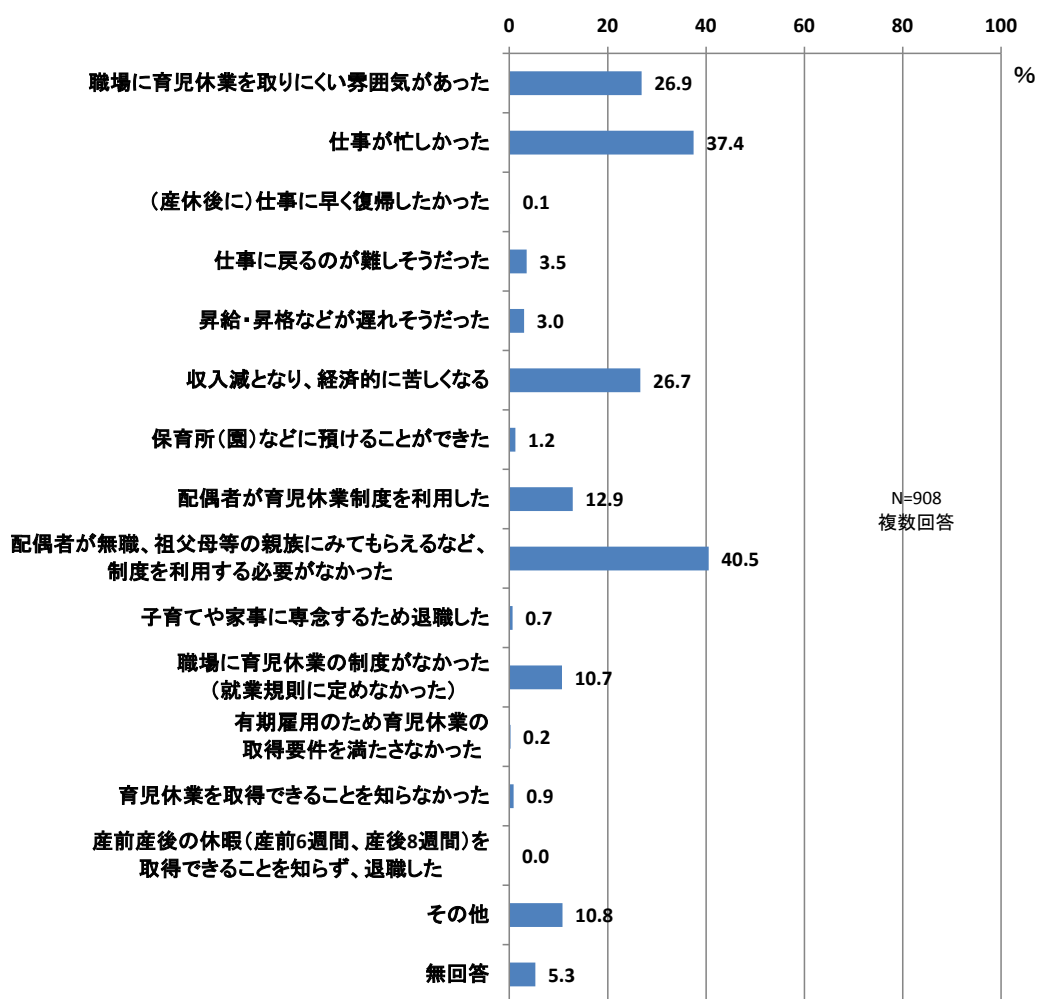
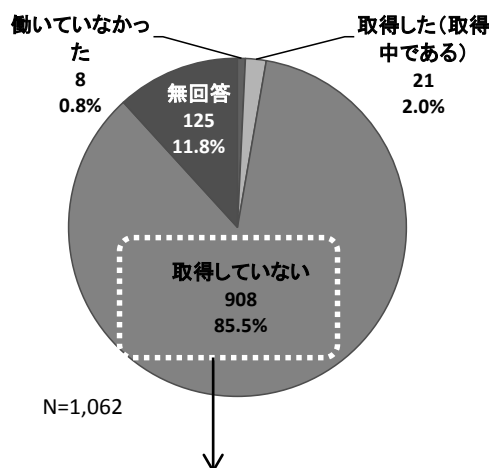
育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問30 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。(母親、父親それぞれに○は1つ) また、取得していない方はその理由をご記入ください。(数字を記入)

母親



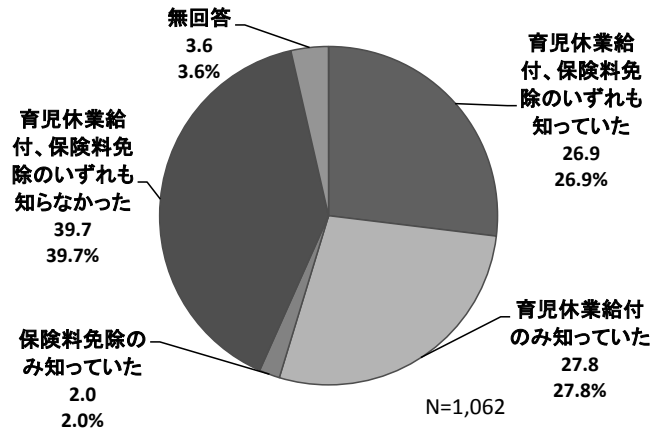
父親



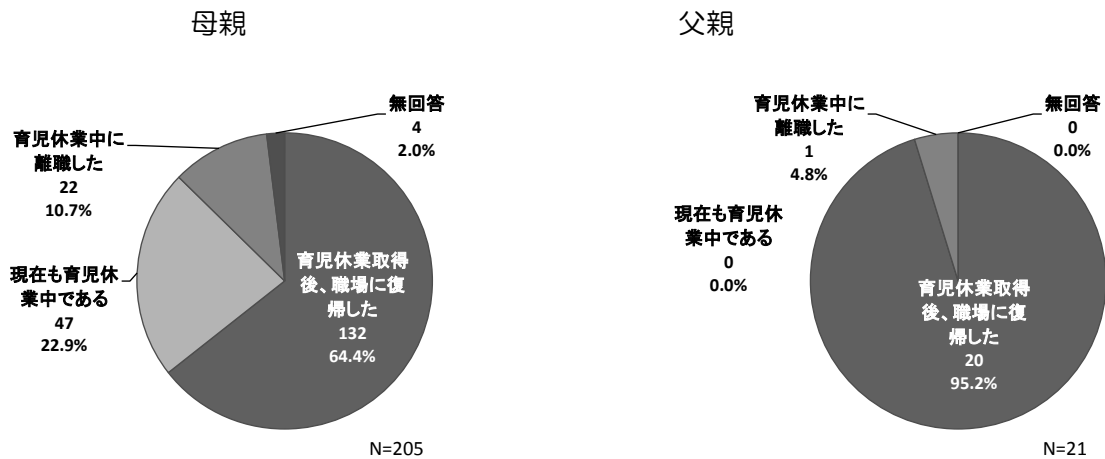
○「育児休業を取得した(取得中)」と回答した母親は 19.3%、父親は 2.0%。「育児休業を取得していない」と回答した母親は 14.5%、父親は 85.5%。

○育児休業を取得しない理由は、母親は、「子育てや家事に専念するため退職した」が 35.7%と最も多く、次いで、「職場に育児休業の制度がなかった」が 16.2%。父親は「制度を利用する必要がなかった」40.5%、「仕事が忙しかった」37.4%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」26.9%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」26.7%。

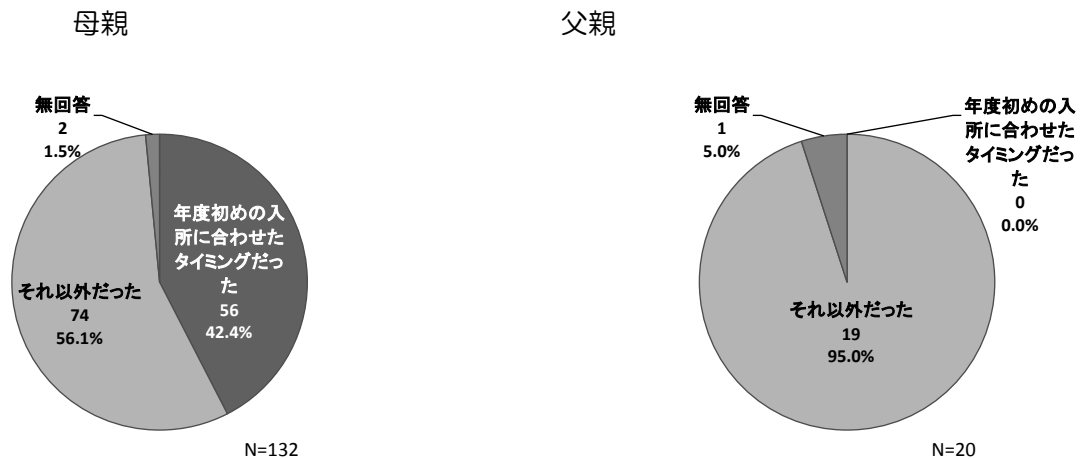
問 30-1 子どもが原則 1 歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は 1 歳 6 ヶ月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満 3 歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。（〇は 1 つ）



問 30-2 問 30 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。（該当しない方は、問 31 へ）育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（〇は 1 つ）



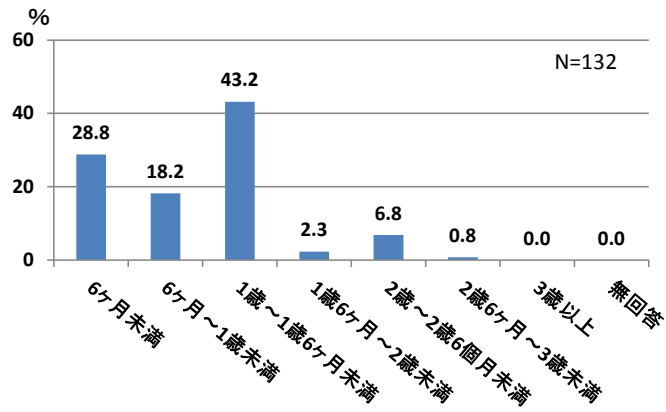
問 30-3 問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。（〇は 1 つ）



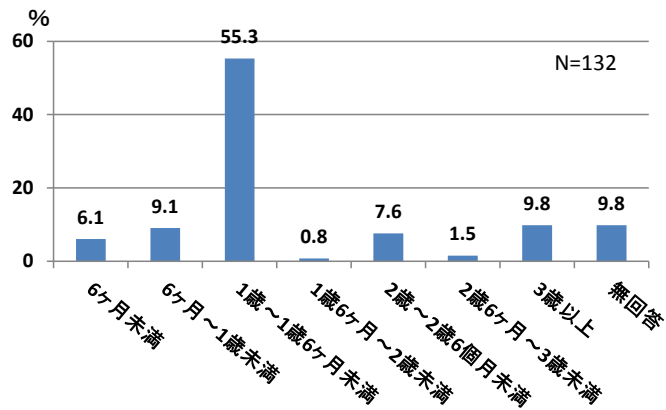
問 30-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったのですか。（数字を記入）

(1) 母親

実際の取得期間



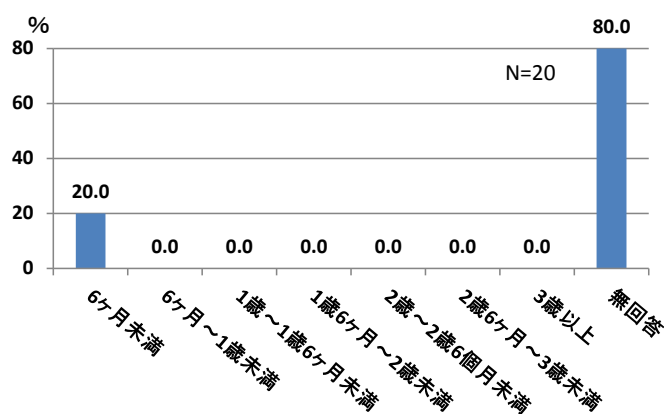
希望の期間



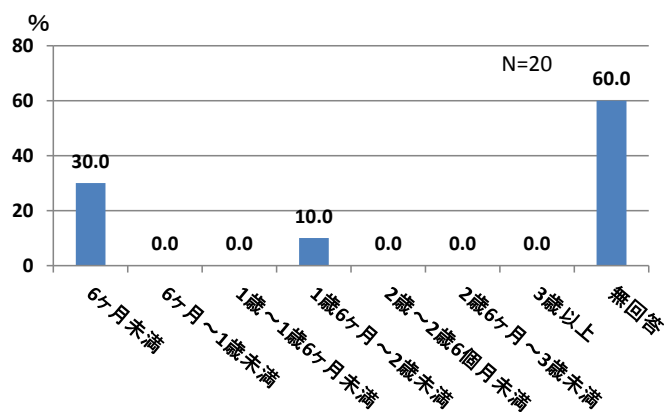
○「育児休業を取得した（取得中）」とする取得期間は、母親は、1歳～1歳6ヶ月未満がもっとも多く43.2%、次いで6ヶ月未満28.8%で、1年6ヶ月以上とった方は9.8%。父親は6ヶ月未満20.0%で、6ヶ月以上取ったとの回答はなかった。

(2) 父親

実際の取得期間

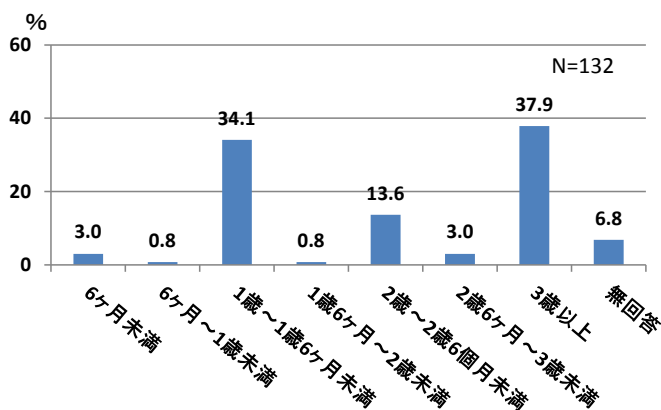


希望の期間

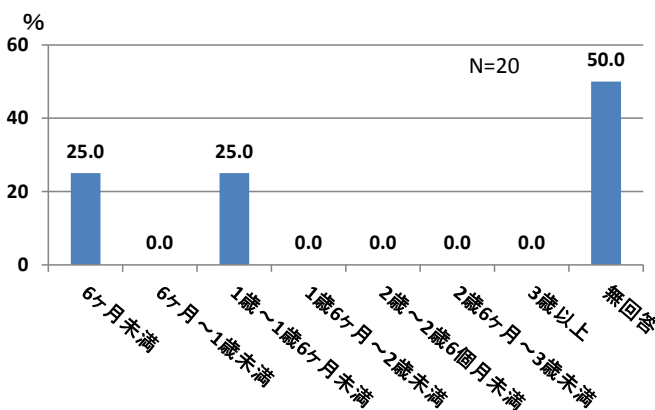


問 30-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。(数字を記入)

(1) 母親

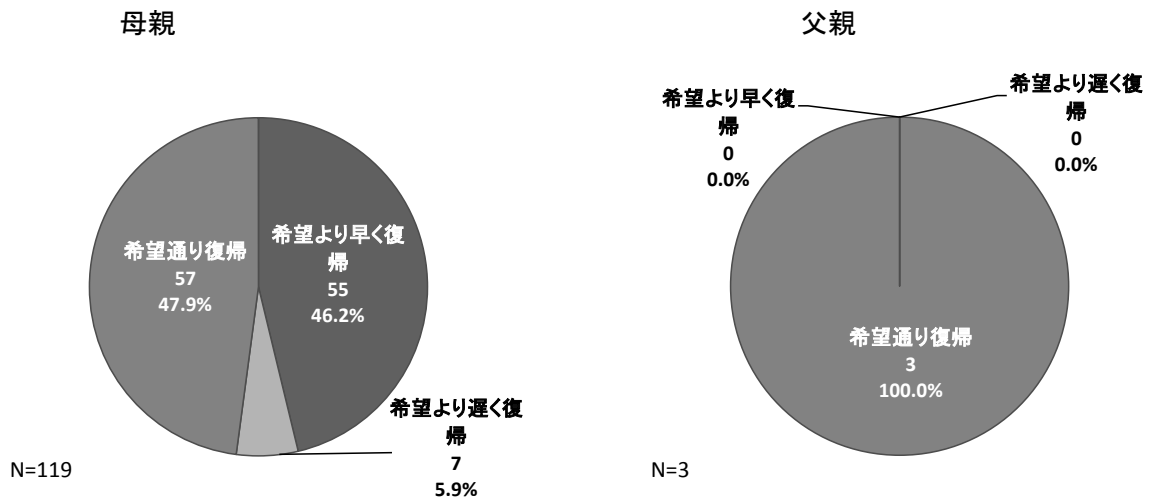


(2) 父親



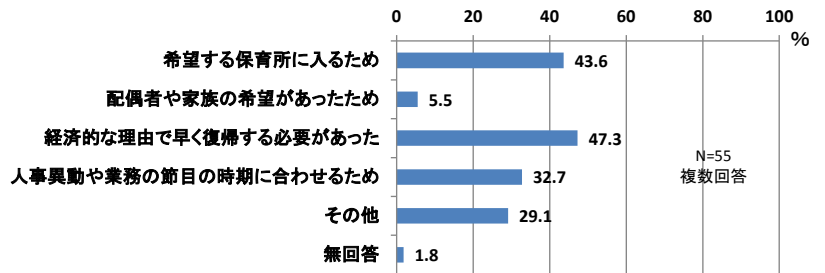
○母親の勤め先に育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「3歳以上」希望が37.9%、次いで「1歳～1歳半未満」が34.1%。

問 30-6 問 30-4 で実際の復帰と希望が異なる方に、希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

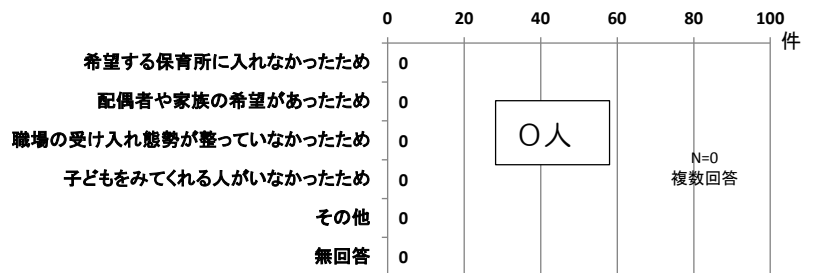


(1) 「希望」より早く復帰した方 (〇はいくつでも)

①母親

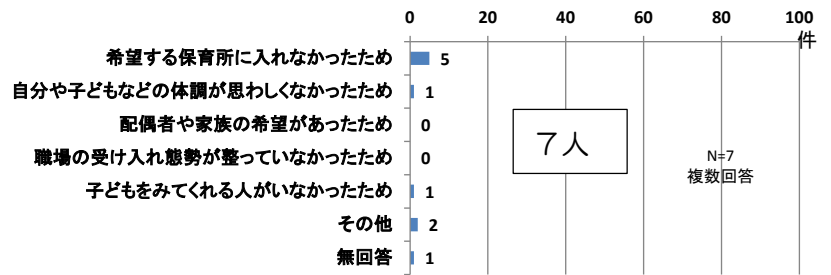


②父親

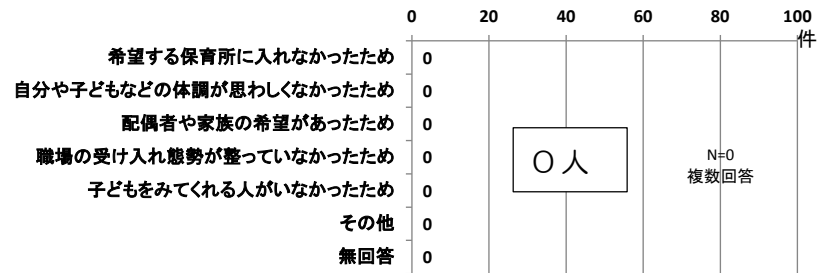


(2) 「希望」より遅く復帰した方 (〇はいくつでも)

①母親

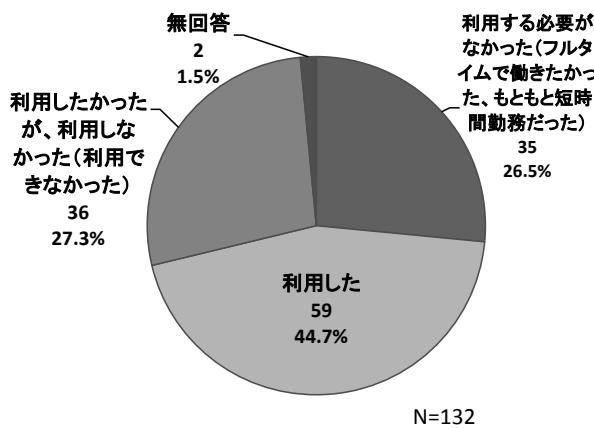


②父親

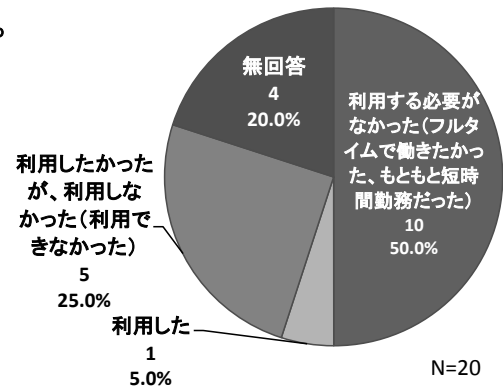


問 30-7 問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。
育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。(〇は1つ)

(1)母親



(2)父親

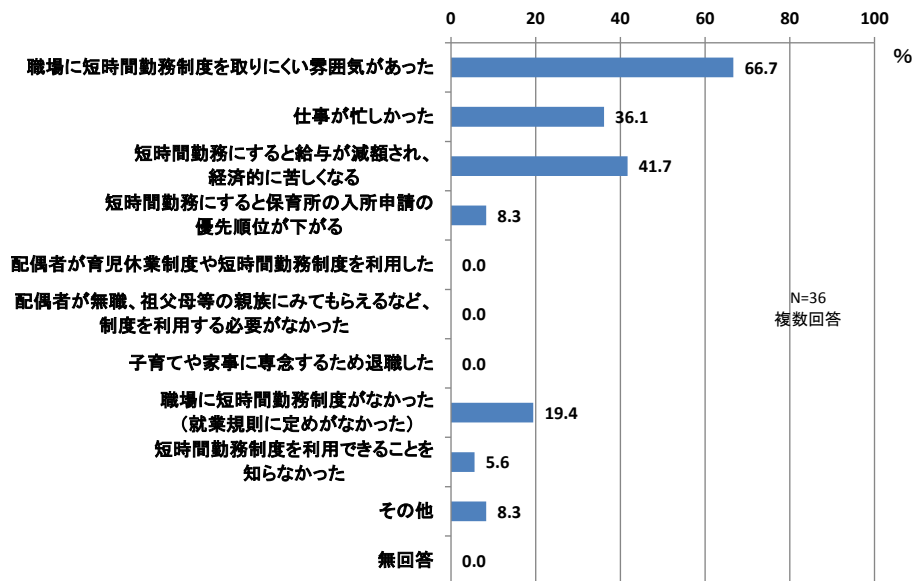


〇母親では、実際の復帰と希望が異なる人の46.2%が「希望より早く復帰」、5.9%が「希望より遅く復帰」。

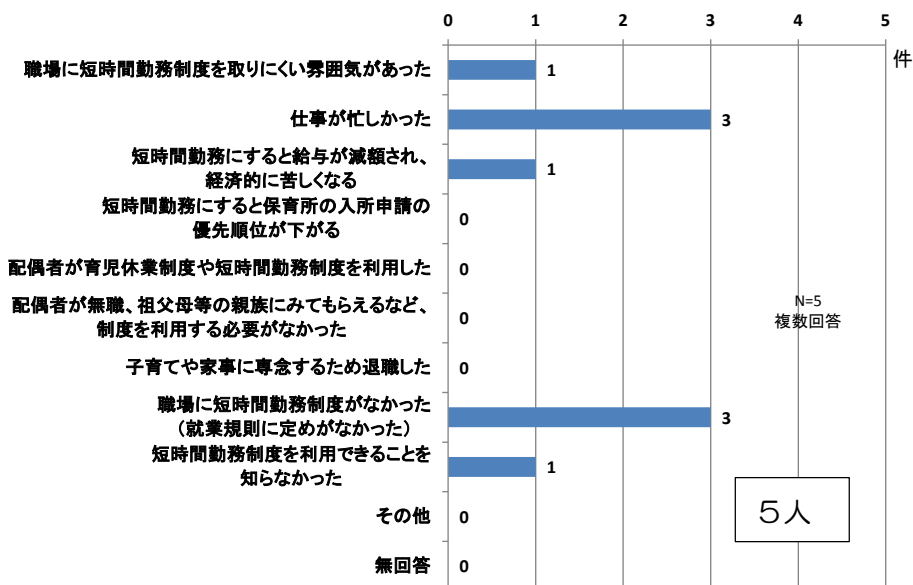
〇「希望より早く復帰した理由」では「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が47.3%、「希望する保育所に入るため」が43.6%。「希望より遅く復帰した理由」では「希望する保育所に入れなかったため」が71.4% (5人)であった。

問 30-8 問 30-7 で「3. 利用しなかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方にうかがいます。短時間勤務制度を利用しなかった、利用できなかった理由は何ですか。（〇はいくつでも）

(1) 母親



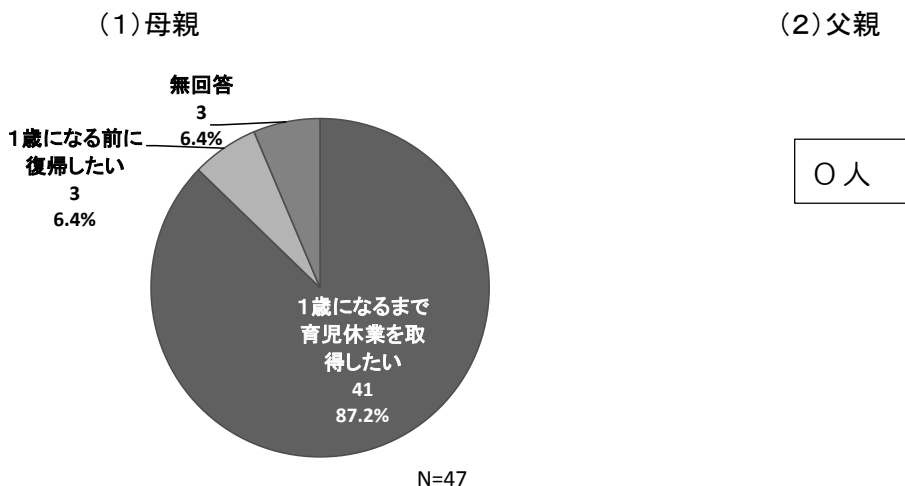
(2) 父親



○母親で、育児休業からの職場復帰時に短時間勤務制度を利用した人は 44.7%。

○「短時間勤務制度を利用しなかった」理由は、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が 66.7%でもっとも多く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」が 41.7%、「仕事が忙しかった」が 36.1%。

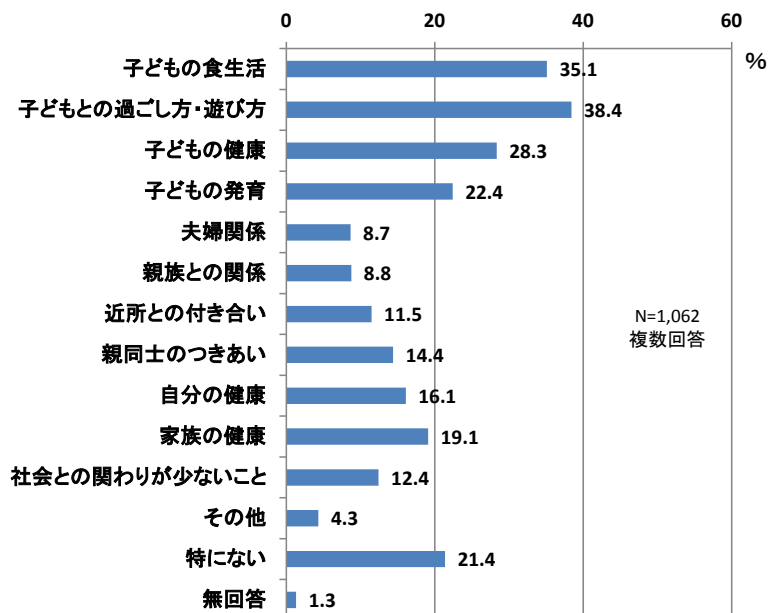
問 30-9 問 30-2 で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。あて名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。(〇はひとつ)



〇現在も育児休業中の母親で、子どもが1歳になったときに必ず預けられる事業があれば「1歳になるまで育児休業を取得したい」が87.2%。

現状での子育て環境の満足度について

問 31 現在、子育てをしていて感じている悩みは何ですか。(〇はいくつでも)



〇現在、子育てをしていて感じている悩みは、「子どもとの過ごし方・遊び方」が38.4%ともっとも多く、次いで「子どもの食生活」が35.1%、「子どもの健康」28.3%、「子どもの発育」22.4%である。

〇子育てについて気軽に相談できる相手がいない人は、現在、子育てで感じている悩みが多い傾向にある。

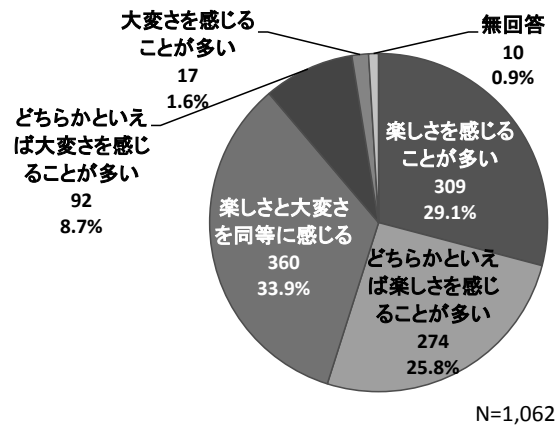
現在、子育てで感じている悩み(各種属性別)

	合計	問31 現在、子育てをしていて感じている悩み													
		子どもの食生活	子どもとの遊び方	子どもの健康	子どもの発育	夫婦関係	親族との関係	近所との付き合い	親同士のつきあ	自分の健康	家族の健康	が少ないこと	社会との関わり	その他	特にな
問2 子の年齢	1062	35.1	38.4	28.3	22.4	8.7	8.8	11.5	14.4	16.1	19.1	12.4	4.3	21.4	1.3
0歳	237	32.5	40.5	30.4	26.6	10.5	9.7	10.1	13.5	18.6	19.4	18.1	3.0	20.3	0.4
1歳	148	45.3	48.0	29.7	22.3	11.5	4.7	8.8	13.5	13.5	15.5	16.2	5.4	14.9	2.0
2歳	158	35.4	39.9	24.7	22.8	8.2	9.5	13.3	18.4	17.1	18.4	14.6	5.7	20.9	2.5
3歳	167	40.1	39.5	33.5	20.4	9.6	10.8	12.0	11.4	15.0	21.6	9.6	4.2	19.8	0.6
4歳	174	31.0	36.8	26.4	24.1	5.7	9.2	10.9	13.2	14.9	18.4	8.0	3.4	24.7	0.6
5歳	173	29.5	26.6	25.4	17.3	5.8	7.5	14.5	17.3	16.2	21.4	6.9	4.6	26.6	2.3
問3 きょうだいの有無															
きょうだいはいない	240	42.5	43.8	30.4	25.8	10.8	5.8	9.6	11.3	20.0	20.0	17.1	5.4	22.1	1.3
きょうだいがいる	822	33.0	36.9	27.7	21.4	8.0	9.6	12.0	15.3	15.0	18.9	11.1	4.0	21.2	1.3
問5 配偶者の有無															
配偶者がいる	977	34.4	38.1	27.8	22.0	8.9	8.5	11.3	14.5	15.0	18.9	12.8	4.2	21.8	1.2
配偶者がいない	70	41.4	40.0	28.6	24.3	4.3	12.9	11.4	11.4	25.7	11.4	7.1	5.7	20.0	2.9
問39 世帯の年収															
～200万円	86	45.3	43.0	31.4	23.3	12.8	8.1	7.0	10.5	19.8	18.6	7.0	3.5	20.9	2.3
200～300万円	143	33.6	44.1	26.6	21.0	10.5	14.0	13.3	20.3	14.7	21.0	14.7	4.2	16.8	0.7
300～400万円	208	29.8	33.2	26.0	25.5	7.2	6.7	12.5	12.0	12.0	19.2	15.9	3.8	23.6	1.4
400～500万円	197	38.1	42.6	32.0	27.9	8.6	13.2	12.2	15.7	17.8	21.8	8.6	5.1	16.2	3.0
500～700万円	268	35.1	37.7	31.7	20.1	6.0	5.2	11.9	14.9	14.6	17.5	17.2	3.4	22.8	0.0
700～1,000万円	98	35.7	31.6	20.4	16.3	7.1	7.1	7.1	12.2	16.3	13.3	4.1	3.1	32.7	0.0
1,000万円以上	30	43.3	46.7	20.0	10.0	20.0	10.0	10.0	3.3	30.0	26.7	10.0	0.0	13.3	0.0
問15 「定期的な教育・保育の事業」の利用															
利用している	635	35.4	36.7	30.1	22.0	9.1	9.0	12.9	15.9	16.5	20.3	8.8	4.1	21.6	1.4
利用していない	410	33.9	42.0	25.4	23.2	8.0	8.5	9.5	12.4	14.9	17.1	18.5	4.9	21.0	1.0
問15-1平日、年間を通じて「定期的に」利用している教育・保育の事業															
幼稚園	348	31.9	35.3	29.9	16.7	6.9	9.2	11.5	13.5	17.5	21.6	9.2	3.7	24.7	1.1
幼稚園の預かり保育	41	34.1	26.8	22.0	12.2	7.3	7.3	17.1	24.4	26.8	17.1	2.4	7.3	19.5	0.0
認可保育所	241	39.0	37.8	30.3	30.7	10.8	8.7	13.7	17.4	14.1	18.3	6.6	4.6	18.3	2.1
認定こども園	3	66.7	100.0	100.0	100.0	66.7	33.3	33.3	100.0	66.7	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
家庭的保育	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
事業所内保育施設	4	75.0	100.0	50.0	25.0	25.0	25.0	25.0	50.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0
自治体の認証・認定保育施設	4	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
その他の認可外の保育施設	2	100.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
居宅訪問型保育	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ファミリー・サポート・センター	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	17	23.5	47.1	35.3	29.4	17.6	5.9	11.8	23.5	5.9	23.5	29.4	0.0	11.8	0.0
問32 現在、子育てをしていて、楽しさと大変さのどちらを感じる人が多いか															
楽しさを感じる	309	31.1	22.0	22.7	14.6	4.2	3.6	9.4	9.4	12.9	12.9	6.8	4.9	35.0	1.3
どちらかといえば楽しさを感じる	274	37.6	40.9	27.7	22.6	6.9	8.8	10.2	9.1	15.0	21.5	10.9	4.4	19.0	2.2
楽しさと大変さを同等に感じる	360	34.2	43.3	32.8	25.6	7.8	9.7	12.8	17.5	16.1	21.1	16.4	3.3	16.4	0.3
どちらかといえば大変さを感じる	92	41.3	59.8	31.5	32.6	27.2	20.7	16.3	33.7	26.1	25.0	18.5	4.3	8.7	0.0
大変さを感じる	17	52.9	88.2	41.2	35.3	41.2	23.5	17.6	23.5	47.1	23.5	23.5	11.8	0.0	0.0
問33 お住まいの地域における子育ての環境や支援の満足度															
満足度が低い	192	29.2	48.4	37.0	22.9	14.6	15.6	16.1	26.6	26.0	28.1	21.4	7.3	16.7	2.6
満足度がやや低い	346	36.1	44.8	26.0	24.0	10.7	10.1	13.0	15.6	14.5	21.1	13.6	5.2	18.2	0.3
満足度は普通	365	37.5	34.0	29.6	22.2	3.8	5.2	8.8	9.3	15.1	14.5	9.6	1.9	24.1	1.1
満足度がやや高い	117	36.8	24.8	17.1	22.2	10.3	5.1	10.3	8.5	8.5	15.4	6.8	3.4	25.6	0.9
満足度が高い	33	33.3	15.2	36.4	9.1	3.0	3.0	3.0	12.1	15.2	9.1	3.0	9.1	39.4	0.0
問9 日頃、子どもをみてもらえる親族・知人															
日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	401	38.9	41.9	29.2	24.7	8.0	7.2	11.7	10.5	14.5	19.2	9.7	4.0	19.7	0.7
緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	594	33.5	37.9	28.3	22.2	10.4	10.3	11.1	15.2	16.3	18.9	12.5	4.0	20.9	1.7
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	37	27.0	27.0	10.8	10.8	13.5	5.4	10.8	10.8	8.1	10.8	2.7	13.5	27.0	0.0
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	164	29.3	26.8	15.9	19.5	7.9	4.9	8.5	12.2	15.2	17.1	5.5	4.3	29.3	0.6
いずれもない	96	35.4	42.7	30.2	18.8	10.4	8.3	10.4	20.8	22.9	24.0	19.8	8.3	21.9	2.1
問38 子育てについて、気軽に相談できる人(統合)															
親族・友人・近所の人	1020	34.6	38.2	27.6	21.7	8.1	8.2	11.4	14.4	15.7	18.9	12.2	4.4	21.8	1.1
子育ての専門スタッフ	485	36.7	37.1	29.7	26.4	8.2	5.4	10.1	13.2	17.5	18.1	8.2	3.9	24.5	0.8
とくにいない	47	34.0	46.8	38.3	34.0	19.1	23.4	21.3	19.1	31.9	36.2	21.3	10.6	14.9	2.1

現在、子育てで感じている悩み(地域別・就労状況別)

	合計	問31 現在、子育てをしていて感じている悩み													
		子どもの食生活	子どもとの遊び方	子どもの健康	子どもの発育	夫婦関係	親族との関係	近所との付き合い	親同士のつきあ	自分の健康	家族の健康	が少ないこと	社会との関わり	その他	特にな
全体	1062	35.1	38.4	28.3	22.4	8.7	8.8	11.5	14.4	16.1	19.1	12.4	4.3	21.4	1.3
問1 お住まいの地区															
三崎地区	311	33.1	35.7	32.8	26.7	6.1	9.0	8.7	16.7	16.7	22.5	13.8	2.3	23.5	2.6
南下浦地区	446	38.6	41.3	26.7	20.0	9.2	9.4	13.2	14.3	14.6	16.8	14.3	6.1	19.5	1.1
初声地区	297	32.7	37.0	25.6	21.9	10.8	7.7	11.4	12.1	17.8	18.9	8.4	3.7	21.9	0.3
世帯の就労状況															
ひとり親家庭	66	40.9	40.9	27.3	22.7	4.5	13.6	12.1	12.1	25.8	12.1	7.6	4.5	19.7	3.0
共稼ぎ(フルタイム)	180	46.1	38.3	28.9	24.4	13.3	11.7	10.6	15.6	15.6	20.6	7.2	2.2	20.6	1.1
共稼ぎ(パート)	221	36.2	35.7	28.1	26.7	7.2	6.8	14.0	15.4	10.0	17.2	5.9	4.1	20.4	0.5
専業主婦・主夫	522	30.7	38.9	26.1	18.6	8.0	7.7	10.5	14.0	16.9	19.5	16.5	4.2	22.8	1.5
その他	73	31.5	41.1	45.2	31.5	9.6	11.0	12.3	13.7	21.9	24.7	20.5	11.0	17.8	1.4

問32 現在、子育てをされていて、楽しさと大変さのどちらを感じる人が多いですか。(〇は1つ)



現在、子育てで感ずること(各種属性別)

	合計	問32 現在、子育てをされていて、楽しさと大変さのどちらを感ずることが多いか					
		楽しさを感ずることが多い	どちらかといえば楽しさを感ずることが多い	楽しさと大変さを同等に感ずる	どちらかといえば大変さを感ずることが多い	大変さを感ずることが多い	無回答
全体	1062	29.1	25.8	33.9	8.7	1.6	0.9
問2 子の年齢							
0歳	237	36.7	24.1	29.5	8.0	1.3	0.4
1歳	148	27.0	27.0	34.5	9.5	1.4	0.7
2歳	158	26.6	24.1	30.4	13.9	2.5	2.5
3歳	167	28.7	29.9	33.5	5.4	1.8	0.6
4歳	174	25.9	23.6	39.1	9.2	1.7	0.6
5歳	173	26.6	27.7	37.0	6.4	1.2	1.2
問3 きょうだいの有無							
きょうだいはいない	240	33.8	30.0	27.5	6.7	1.7	0.4
きょうだいがいる	822	27.7	24.6	35.8	9.2	1.6	1.1
問5 配偶者の有無							
配偶者がいる	977	29.6	26.2	33.8	8.0	1.5	0.9
配偶者がいない	70	27.1	21.4	30.0	18.6	1.4	1.4
問39 世帯の年収							
～200万円	86	24.4	22.1	34.9	17.4	0.0	1.2
200～300万円	143	32.9	18.9	35.7	11.2	1.4	0.0
300～400万円	208	30.3	25.5	34.6	7.2	1.9	0.5
400～500万円	197	26.9	31.5	33.0	6.1	2.0	0.5
500～700万円	268	27.2	25.0	37.3	7.8	1.9	0.7
700～1,000万円	98	41.8	26.5	21.4	8.2	0.0	2.0
1,000万円以上	30	16.7	30.0	53.3	0.0	0.0	0.0
問15 「定期的な教育・保育の事業」の利用							
利用している	635	27.2	25.2	35.9	8.8	1.7	1.1
利用していない	410	31.5	27.3	30.7	8.5	1.5	0.5
問15-1平日、年間を通じて「定期的に」利用している教育・保育の事業							
幼稚園	348	27.6	26.4	34.2	8.6	2.6	0.6
幼稚園の預かり保育	41	26.8	29.3	29.3	14.6	0.0	0.0
認可保育所	241	28.2	24.5	36.9	8.3	0.4	1.7
認定こども園	3	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
家庭的保育	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
事業所内保育施設	4	25.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0
自治体の認証・認定保育施設	4	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
その他の認可外の保育施設	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
居宅訪問型保育	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ファミリー・サポート・センター	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	17	11.8	23.5	47.1	11.8	5.9	0.0
問33 お住まいの地域における子育ての環境や支援の満足度							
満足度が低い	192	23.4	19.8	38.5	14.6	3.6	0.0
満足度がやや低い	346	23.7	26.6	37.0	10.7	1.7	0.3
満足度は普通	365	31.8	27.4	32.6	6.3	0.8	1.1
満足度がやや高い	117	37.6	30.8	27.4	3.4	0.0	0.9
満足度が高い	33	66.7	15.2	15.2	0.0	3.0	0.0
問9 日頃、子どもをみてもらえる親族・知人							
日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	401	29.9	26.2	32.4	8.2	2.2	1.0
緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	594	28.1	25.1	35.7	8.6	1.7	0.8
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	37	35.1	29.7	35.1	0.0	0.0	0.0
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	164	39.6	28.0	28.7	2.4	0.0	1.2
いずれもない	96	22.9	30.2	30.2	12.5	2.1	2.1
問38 子育てについて、気軽に相談できる人(統合)							
親族・友人・近所の人	1020	29.8	26.4	33.7	8.0	1.4	0.7
子育ての専門スタッフ	485	29.5	27.0	34.8	6.6	1.4	0.6
とくにいない	47	19.1	21.3	34.0	19.1	4.3	2.1

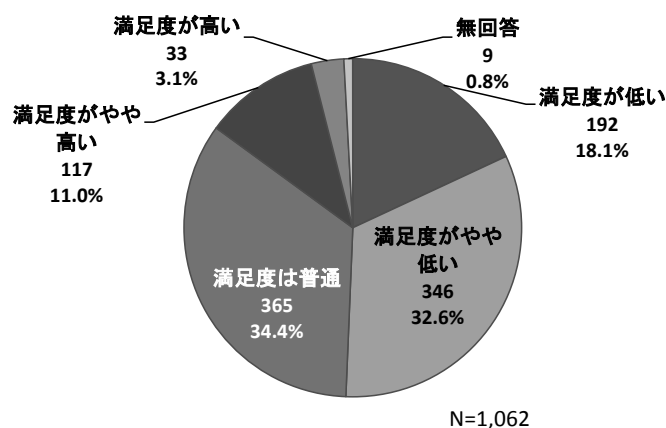
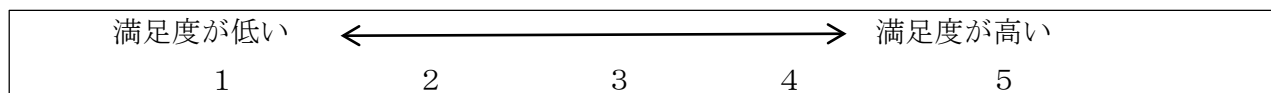
現在、子育てで感じること(地域別・就労状況別)

	合計	問32 現在、子育てをしていて、楽しさと大変さのどちらを感じる ことが多いか					無回答
		楽しさを 感じるこ とが多い	どちらか といえ ば楽し さを感 じるこ とが多い	楽しさと 大変さ を同等 に感 じる	どちらか といえ ば大 変さを 感じる ことが多い	大変さを 感じるこ とが多い	
全体	1062	29.1	25.8	33.9	8.7	1.6	0.9
問1 お住まいの地区							
三崎地区	311	27.3	24.4	37.9	6.8	1.9	1.6
南下浦地区	446	28.5	23.8	35.0	10.3	1.6	0.9
初声地区	297	31.6	30.6	27.6	8.4	1.3	0.3
世帯の就労状況							
ひとり親家庭	66	28.8	22.7	27.3	18.2	1.5	1.5
共稼ぎ(フルタイム)	180	36.1	24.4	34.4	4.4	0.6	0.0
共稼ぎ(パート)	221	33.5	24.4	33.9	5.9	0.9	1.4
専業主婦・主夫	522	25.7	27.6	34.1	9.8	2.1	0.8
その他	73	23.3	23.3	37.0	11.0	2.7	2.7

○子育てで「楽しさと大変さを同等に感じる」33.9%、「楽しさを感ずることが多い」29.1%、「どちらかといえば楽しさを感ずることが多い」が25.8%。

○子育てで、ひとり親と共稼ぎフルタイムの方は、楽しさを感ずる割合が高く、共稼ぎパートと専業主婦・主夫では楽しさと大変さを同等に感ずる傾向が高い傾向にある。

問33 お住まいの地域における子育ての環境や支援の満足度についてお答えください。(○は1つ)



○地域における子育ての環境や支援の満足度は、「満足は普通」が34.4%、次いで、「満足度がやや低い」が32.6%で拮抗している。

○満足度が「高い」「やや高い」は1割台で、満足度が「低い」「やや低い」の5割を大きく下回っている。

地域における子育ての環境や支援の満足度(各種属性別)

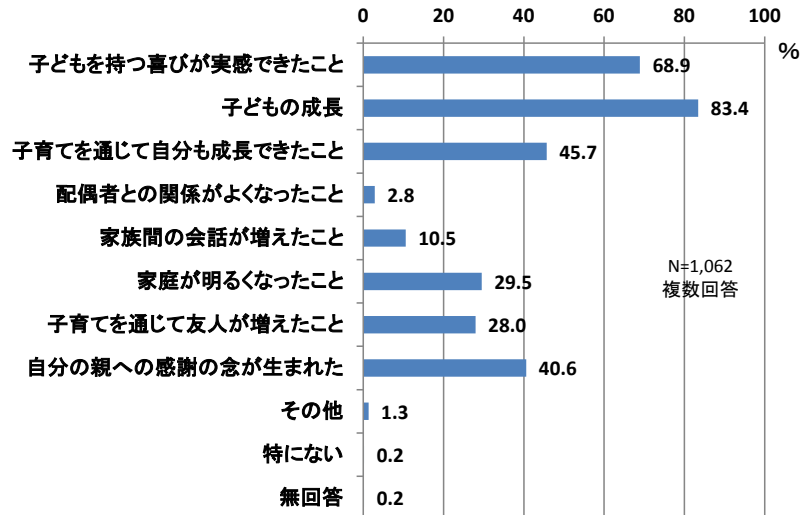
	合計	問33 お住まいの地域における子育ての環境や支援の満足度					
		満足度が低い	満足度がやや低い	満足度は普通	満足度がやや高い	満足度が高い	無回答
全体	1062	18.1	32.6	34.4	11.0	3.1	0.8
問2 子の年齢							
0歳	237	18.6	34.2	34.2	10.1	2.5	0.4
1歳	148	10.8	37.8	34.5	13.5	2.7	0.7
2歳	158	21.5	32.9	34.8	4.4	3.8	2.5
3歳	167	20.4	28.7	38.3	10.8	1.8	0.0
4歳	174	19.0	25.3	34.5	16.1	5.2	0.0
5歳	173	17.3	35.3	31.2	11.6	2.9	1.7
問3 きょうだいの有無							
きょうだいはいない	240	16.7	34.6	31.7	11.3	4.6	1.3
きょうだいがいる	822	18.5	32.0	35.2	10.9	2.7	0.7
問5 配偶者の有無							
配偶者がいる	977	16.9	33.0	35.1	11.5	2.9	0.7
配偶者がいない	70	31.4	27.1	24.3	7.1	7.1	2.9
問39 世帯の年収							
～200万円	86	20.9	30.2	36.0	4.7	5.8	2.3
200～300万円	143	22.4	42.7	22.4	9.8	2.8	0.0
300～400万円	208	13.5	28.4	39.9	14.9	2.4	1.0
400～500万円	197	19.8	38.1	32.0	7.1	2.5	0.5
500～700万円	268	19.4	30.6	36.6	11.2	1.9	0.4
700～1,000万円	98	12.2	27.6	36.7	14.3	9.2	0.0
1,000万円以上	30	13.3	16.7	43.3	26.7	0.0	0.0
問15 「定期的な教育・保育の事業」の利用							
利用している	635	18.3	31.5	34.3	11.8	3.3	0.8
利用していない	410	17.3	35.1	33.9	10.2	2.7	0.7
問15-1平日、年間を通じて「定期的に」利用している教育・保育の事業							
幼稚園	348	19.8	34.2	32.8	9.8	3.4	0.0
幼稚園の預かり保育	41	17.1	24.4	34.1	19.5	4.9	0.0
認可保育所	241	16.2	29.0	35.3	14.5	3.7	1.2
認定こども園	3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
家庭的保育	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
事業所内保育施設	4	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0
自治体の認証・認定保育施設	4	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
その他の認可外の保育施設	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
居宅訪問型保育	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ファミリー・サポート・センター	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	17	5.9	35.3	47.1	11.8	0.0	0.0
問32 現在、子育てをしていて、楽しさと大変さのどちらを感じる人が多いか							
楽しさを感じる	309	14.6	26.5	37.5	14.2	7.1	0.0
どちらかといえば楽しさを感じる	274	13.9	33.6	36.5	13.1	1.8	1.1
楽しさと大変さを同等に感じる	360	20.6	35.6	33.1	8.9	1.4	0.6
どちらかといえば大変さを感じる	92	30.4	40.2	25.0	4.3	0.0	0.0
大変さを感じる	17	41.2	35.3	17.6	0.0	5.9	0.0
問9 日頃、子どもをみてもらえる親族・知人							
日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	401	12.0	28.7	42.9	13.2	2.0	1.2
緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	594	17.0	37.7	33.3	10.1	1.7	0.2
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	37	24.3	29.7	27.0	16.2	2.7	0.0
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	164	18.9	29.3	33.5	11.0	7.3	0.0
いずれもない	96	39.6	25.0	17.7	6.3	9.4	2.1
問38 子育てについて、気軽に相談できる人(統合)							
親族・友人・近所の人	1020	17.7	32.6	34.8	11.2	3.2	0.4
子育ての専門スタッフ	485	15.1	30.1	36.3	14.4	4.1	0.0
とくにいない	47	25.5	38.3	23.4	2.1	4.3	6.4

地域における子育ての環境や支援の満足度(地域別・就労状況別)

	合計	問33 お住まいの地域における子育ての環境や支援の満足度					
		満足度が低い	満足度がやや低い	満足度は普通	満足度がやや高い	満足度が高い	無回答
全体	1062	18.1	32.6	34.4	11.0	3.1	0.8
問1 お住まいの地区							
三崎地区	311	21.9	32.5	32.5	8.4	2.9	1.9
南下浦地区	446	16.4	31.6	33.4	15.2	2.9	0.4
初声地区	297	16.8	34.3	37.0	7.7	3.7	0.3
世帯の就労状況							
ひとり親家庭	66	31.8	25.8	25.8	6.1	7.6	3.0
共稼ぎ(フルタイム)	180	13.3	30.0	38.3	13.9	3.9	0.6
共稼ぎ(パート)	221	16.3	32.6	36.2	12.7	2.3	0.0
専業主婦・主夫	522	16.7	36.0	33.9	9.6	2.9	1.0
その他	73	32.9	20.5	30.1	13.7	1.4	1.4

○地域における子育ての環境や支援の満足度は、ひとり親の方が他の就労状況の方より満足度が低い傾向にある。

問34 子育てをしてよかったこと、嬉しかったことは何ですか。(〇は3つまで)



子育てをしてよかったこと、嬉しかったこと(各種属性別)

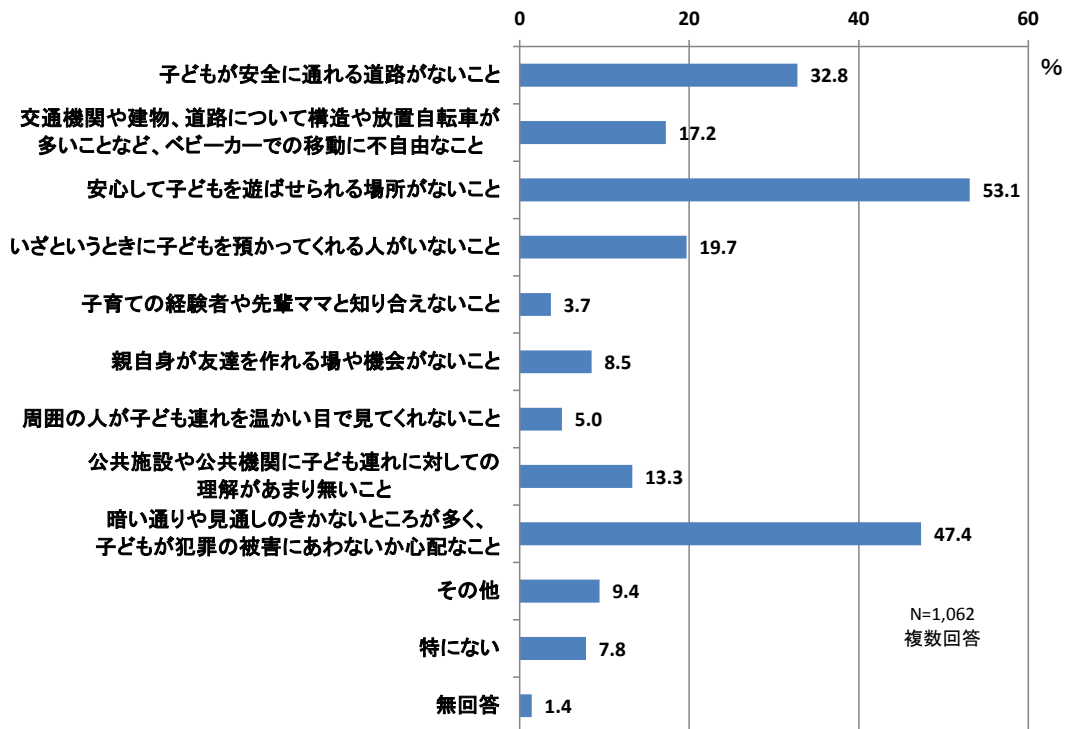
	合計	問34 子育てをしてよかったこと、嬉しかったこと (〇は3つまで)										
		子どもを持つ喜びが実感できたこと	子どもの成長	子育てを通じて自分も成長できたこと	配偶者との関係がよかったこと	家族間の会話が増えたこと	家庭が明るくなったこと	子育てを通じて友人が増えたこと	自分の親への感謝の念が生まれた	その他	特にな	無回答
全体	1062	68.9	83.4	45.7	2.8	10.5	29.5	28.0	40.6	1.3	0.2	0.2
問2 子の年齢												
0歳	237	73.4	82.3	41.4	3.8	11.0	30.4	19.8	43.9	2.1	0.0	0.0
1歳	148	73.0	83.1	42.6	4.1	9.5	30.4	23.6	41.2	0.0	0.0	0.0
2歳	158	72.2	84.2	46.8	2.5	9.5	32.3	29.1	39.2	1.9	0.6	1.3
3歳	167	69.5	83.8	40.7	1.2	12.6	29.9	29.9	34.1	1.8	0.6	0.0
4歳	174	68.4	82.8	47.7	2.3	12.6	27.0	31.0	42.5	0.0	0.0	0.0
5歳	173	56.6	86.1	55.5	2.9	8.1	26.0	37.0	40.5	1.7	0.0	0.0
問3 きょうだいの有無												
きょうだいはいない	240	67.9	83.3	40.4	3.3	11.3	28.8	23.3	44.2	2.1	0.4	0.4
きょうだいがいる	822	69.2	83.5	47.2	2.7	10.3	29.7	29.3	39.5	1.1	0.1	0.1
問5 配偶者の有無												
配偶者がいる	977	69.8	83.2	45.5	3.0	10.6	29.7	28.4	40.6	1.3	0.1	0.2
配偶者はいない	70	60.0	84.3	48.6	0.0	7.1	22.9	21.4	45.7	0.0	0.0	0.0
問39 世帯の年収												
~200万円	86	61.6	89.5	48.8	2.3	12.8	25.6	12.8	48.8	0.0	0.0	0.0
200~300万円	143	77.6	84.6	46.2	5.6	11.2	35.0	21.7	49.7	2.8	0.0	0.0
300~400万円	208	69.2	81.3	43.3	2.9	9.6	28.8	27.4	41.3	1.4	0.0	0.0
400~500万円	197	68.0	81.2	44.7	3.0	10.7	35.5	28.4	39.6	1.0	0.5	0.0
500~700万円	268	69.4	82.5	41.0	1.9	7.5	26.1	36.2	40.7	1.1	0.0	0.0
700~1,000万円	98	63.3	87.8	61.2	3.1	19.4	30.6	27.6	29.6	2.0	0.0	0.0
1,000万円以上	30	70.0	93.3	60.0	0.0	0.0	10.0	26.7	26.7	0.0	0.0	0.0
問15 「定期的な教育・保育の事業」の利用												
利用している	635	65.8	84.1	49.4	2.2	10.6	28.2	31.2	38.0	1.1	0.2	0.2
利用していない	410	73.9	82.9	39.8	3.7	10.2	31.7	23.4	43.9	1.5	0.2	0.0
問15-1 平日、年間を通じて「定期的に」利用している教育・保育の事業												
幼稚園	348	64.4	84.5	46.6	2.3	12.1	27.3	35.9	38.8	0.9	0.3	0.0
幼稚園の預かり保育	41	56.1	85.4	46.3	7.3	22.0	41.5	39.0	39.0	2.4	0.0	0.0
認可保育所	241	69.3	83.4	54.4	2.1	9.1	26.6	24.1	37.8	1.2	0.0	0.4
認定こども園	3	100.0	66.7	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0
家庭的保育	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
事業所内保育施設	4	100.0	75.0	50.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0
自治体の認証・認定保育施設	4	50.0	100.0	50.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の認可外の保育施設	2	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0
居宅訪問型保育	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ファミリー・サポート・センター	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	17	64.7	88.2	29.4	0.0	5.9	47.1	41.2	47.1	0.0	0.0	0.0
問32 現在、子育てをしていて、楽しさと大変さのどちらを感じる人が多いか												
楽しさを感じる	309	70.2	81.9	46.3	3.6	10.7	34.6	28.8	37.2	2.3	0.0	0.0
どちらかといえば楽しさを感じる	274	74.1	84.7	48.5	3.6	11.3	28.8	27.4	42.3	1.5	0.0	0.0
楽しさと大変さを同等に感じる	360	66.9	83.9	44.2	1.9	10.3	29.4	27.5	42.5	0.8	0.0	0.0
どちらかといえば大変さを感じる	92	65.2	85.9	39.1	2.2	7.6	15.2	25.0	47.8	0.0	0.0	0.0
大変さを感じる	17	41.2	76.5	52.9	0.0	23.5	23.5	52.9	11.8	0.0	11.8	0.0
問33 お住まいの地域における子育ての環境や支援の満足度												
満足度が低い	192	70.8	85.4	41.7	3.6	8.9	29.7	26.0	40.6	1.6	0.5	0.0
満足度がやや低い	346	67.1	83.5	48.8	2.6	9.0	29.2	29.8	41.3	1.2	0.0	0.0
満足度は普通	365	71.0	83.0	43.6	2.7	12.1	26.8	28.2	43.6	0.8	0.3	0.0
満足度がやや高い	117	70.9	82.9	46.2	3.4	14.5	35.9	29.1	33.3	3.4	0.0	0.0
満足度が高い	33	60.6	78.8	66.7	0.0	6.1	39.4	21.2	24.2	0.0	0.0	0.0
問9 日頃、子どもをみてもらえる親族・知人												
日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	401	71.8	83.5	43.6	4.0	14.7	29.7	27.7	42.4	0.7	0.2	0.2
緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	594	70.0	83.3	46.0	2.2	9.4	27.9	31.0	43.4	1.5	0.3	0.0
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	37	62.2	73.0	45.9	0.0	5.4	21.6	62.2	37.8	2.7	0.0	0.0
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	164	65.9	78.0	48.2	4.3	9.1	26.2	47.0	32.3	1.8	0.0	0.0
いずれもない	96	67.7	85.4	46.9	2.1	8.3	34.4	14.6	28.1	1.0	0.0	1.0
問38 子育てについて、気軽に相談できる人(統合)												
親族・友人・近所の人	1020	69.5	83.5	46.3	2.9	10.7	28.9	28.8	41.5	1.3	0.0	0.0
子育ての専門スタッフ	485	71.5	84.1	49.5	3.5	11.1	31.3	33.4	39.8	2.1	0.2	0.0
とくにいない	47	61.7	76.6	44.7	6.4	10.6	29.8	10.6	36.2	6.4	2.1	0.0

子育てをしてよかったこと、嬉しかったこと(地域別・就労状況別)

	合計	問34 子育てをしてよかったこと、嬉しかったこと (〇は3つまで) 子どもを持つ喜びが実感できたこと 子どもの成長													
		こ こ こ が 実 感 で き た 喜 び	子 ど も の 成 長	た 自 分 も 成 長 で き て	と 配 偶 者 と の 関 係	が よ く な つ た こ と	増 え た こ と	家 族 間 の 会 話 が	な つ た こ と	家 庭 が 明 る く	と 友 人 が 増 え た こ と	た 謝 自 分 の 念 が 生 ま れ 感	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全体	1062	68.9	83.4	45.7	2.8	10.5	29.5	28.0	40.6	1.3	0.2	0.2			
問1 お住まいの地区	三崎地区	311	65.0	81.4	41.8	3.5	11.9	28.3	36.3	42.1	1.9	0.3	0.6		
	南下浦地区	446	70.9	84.8	46.6	2.9	10.1	29.4	24.4	40.1	1.6	0.0	0.0		
	初声地区	297	69.7	83.5	48.1	2.0	10.1	30.3	24.6	39.4	0.3	0.3	0.0		
世帯の就労状況	ひとり親家庭	66	62.1	83.3	48.5	0.0	7.6	24.2	22.7	47.0	0.0	0.0	0.0		
	共稼ぎ(フルタイム)	180	70.0	83.3	47.8	3.3	10.0	26.7	22.2	38.9	2.2	0.0	0.0		
	共稼ぎ(パート)	221	69.2	83.3	49.8	3.2	9.0	30.3	34.4	37.6	1.4	0.5	0.0		
	専業主婦・主夫	522	69.5	83.9	42.9	2.7	10.2	29.9	27.2	40.0	0.8	0.0	0.2		
	その他	73	67.1	80.8	45.2	4.1	21.9	35.6	32.9	52.1	4.1	1.4	1.4		

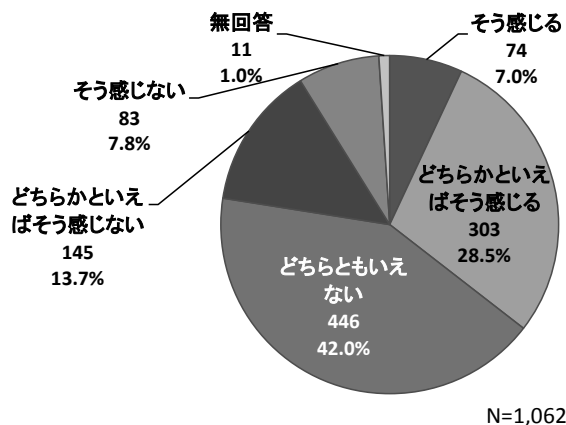
〇子育てをしてよかった、嬉しかったと感じたことは、「子どもの成長」が83.4%でもっとも多く、次いで、「子どもを持つ喜びが実感できたこと」が68.9%。

問35 子育てを行っていて、特に困ること、困ったことは次のうちどれですか。(〇は3つまで)。

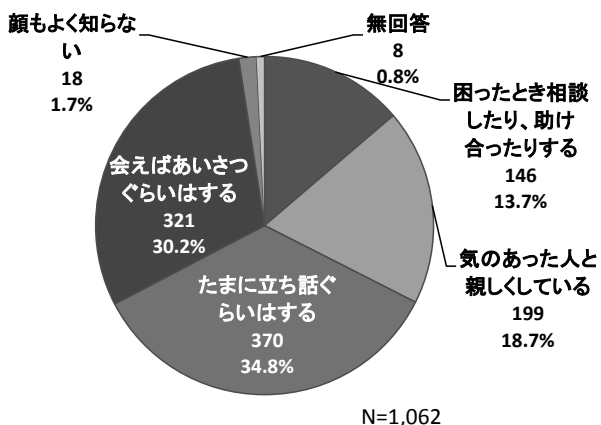


〇子育てをして特に困ること、困ったことは、「安心して子どもを遊ばせられる場所がないこと」がもっとも多く53.1%、次いで「暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配なこと」47.4%、「子どもが安全に通れる道路がないこと」32.8%。

問36 子育てをしていて、地域社会から見守られている、支えられていると感じますか。(〇は1つ)



問37 普段、近所の人とどのようなつきあい方をしていますか。(1つに〇)



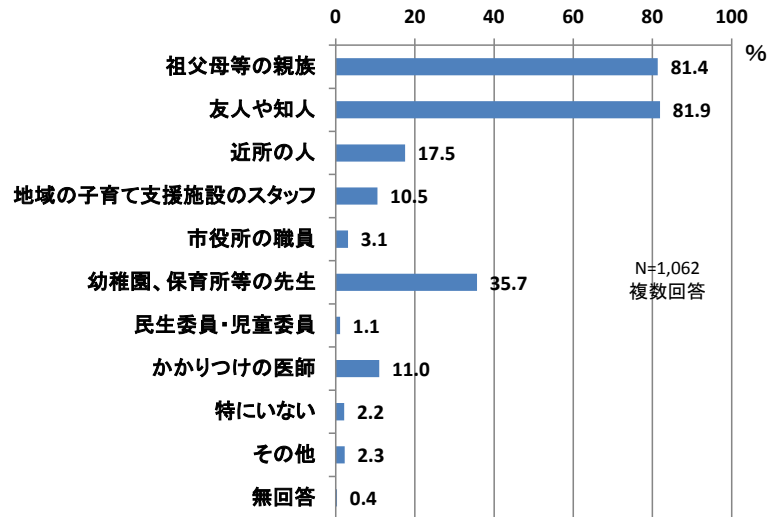
近所の人とのつきあい方(地域別・就労状況別)

		合計	問37 普段、近所の人とのつきあい方					
			困ったとき相談したり、助け合ったりする	気のあった人と親しくしている	たまに立ち話ぐらいはする	会えばあいさつぐらいはする	顔もよく知らない	無回答
全体		1062	13.7	18.7	34.8	30.2	1.7	0.8
問1 お住まいの地区	三崎地区	311	13.5	17.4	37.9	29.9	0.0	1.3
	南下浦地区	446	11.9	20.0	29.4	35.2	2.9	0.7
	初声地区	297	17.2	18.5	39.4	22.9	1.7	0.3
世帯の就労状況	ひとり親家庭	66	12.1	12.1	34.8	40.9	0.0	0.0
	共稼ぎ(フルタイム)	180	14.4	13.9	37.2	31.7	1.7	1.1
	共稼ぎ(パート)	221	17.6	20.4	36.7	24.4	0.5	0.5
	専業主婦・主夫	522	12.3	20.5	33.9	30.8	2.1	0.4
	その他	73	12.3	19.2	30.1	30.1	4.1	4.1

〇子育てをしていて、地域社会から見守られている、支えられていると感じるかは「どちらともいえない」が42%でもっとも多い。次いで「どちらかといえばそう感じる」が28.5%。

〇近所の人とのつきあい方は、「たまに立ち話ぐらいはする」34.8%、「会えばあいさつぐらいはする」30.2%。

問38 子育てについて、気軽に相談できる人はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)



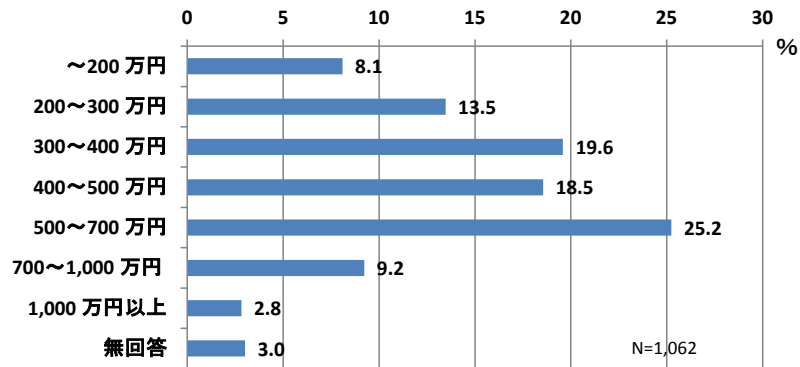
子育てについて、気軽に相談できる人(地域別・就労状況別)

	合計	問38 子育てについて、気軽に相談できる人										
		祖父母等の親族	友人や知人	近所の人	地域の子育て支援施設のスタッフ	市役所の職員	幼稚園、保育所等の先生	民生委員・児童委員	かかりつけの医師	特にいない	その他	無回答
全体	1062	81.4	81.9	17.5	10.5	3.1	35.7	1.1	11.0	2.2	2.3	0.4
問1 お住まいの地区												
三崎地区	311	77.5	82.3	14.5	7.4	4.2	41.8	0.6	12.2	1.3	1.6	1.0
南下浦地区	446	80.9	80.5	15.7	15.2	3.4	35.7	2.0	11.0	2.2	2.2	0.0
初声地区	297	85.9	83.8	23.6	7.1	1.3	29.6	0.3	9.4	3.0	3.0	0.3
世帯の就労状況												
ひとり親家庭	66	75.8	77.3	9.1	6.1	0.0	39.4	1.5	6.1	7.6	1.5	0.0
共稼ぎ(フルタイム)	180	85.6	78.3	13.3	7.2	1.7	50.0	0.6	10.0	3.3	3.3	0.0
共稼ぎ(パート)	221	79.2	84.2	23.1	9.0	3.6	47.1	1.4	12.2	0.5	2.3	0.0
専業主婦・主夫	522	82.2	82.8	18.0	13.0	3.4	25.5	1.1	11.9	1.1	2.1	0.4
その他	73	76.7	82.2	15.1	9.6	5.5	35.6	1.4	8.2	6.8	1.4	2.7

○子育てについて、気軽に相談できるのは、「祖父母等の親族」「友人や知人」がともに80%強。

子育てにかかる費用等について

問39 世帯の年収をおうかがいします（〇は1つ）

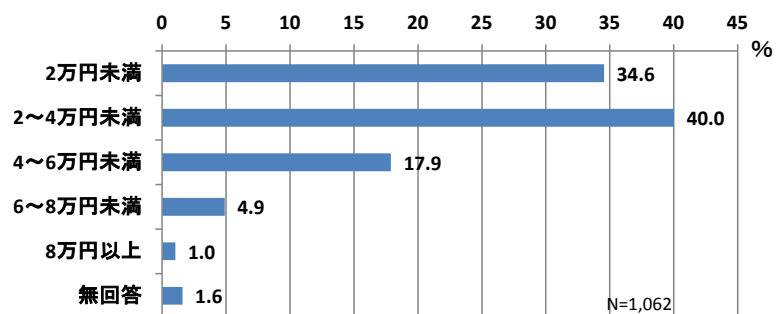


世帯の年収(地域別・就労状況別)

	合計	問39 世帯の年収							
		～200万円	200～300万円	300～400万円	400～500万円	500～700万円	700～1,000万円	1,000万円以上	無回答
全体	1062	8.1	13.5	19.6	18.5	25.2	9.2	2.8	3.0
問1 お住まいの地区									
三崎地区	311	9.3	14.8	20.3	22.2	24.4	5.1	1.0	2.9
南下浦地区	446	8.5	14.6	18.2	16.6	26.2	10.3	3.4	2.2
初声地区	297	6.4	10.1	20.5	17.8	24.6	12.1	4.0	4.4
世帯の就労状況									
ひとり親家庭	66	54.5	18.2	9.1	3.0	7.6	1.5	0.0	6.1
共稼ぎ(フルタイム)	180	4.4	10.6	8.9	17.8	26.1	23.9	7.8	0.6
共稼ぎ(パート)	221	5.4	12.2	24.9	19.9	27.6	6.3	1.4	2.3
専業主婦・主夫	522	4.8	13.6	22.4	21.6	25.9	6.7	2.5	2.5
その他	73	6.8	19.2	19.2	8.2	27.4	6.8	0.0	12.3

〇年収500万円未満が59.7%、500万円以上は37.3%。就労状況別にみると、ひとり親家庭では200万円未満がもっとも多く54.5%。

問40 あて名のお子さんの子育てにかかっている費用は1カ月いくら位ですか。(〇は1つ)



子育てにかかっている費用(地域別・就労状況別)

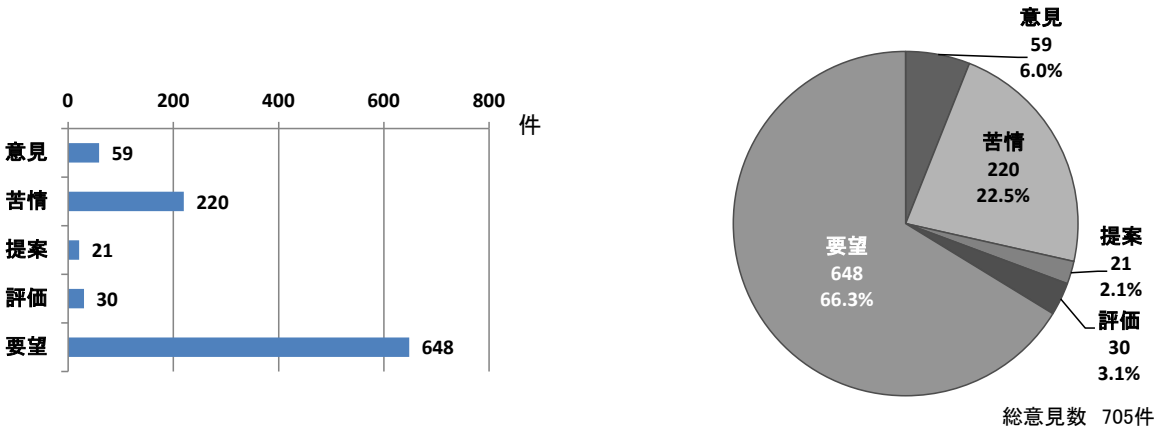
	合計	問40 子育てにかかっている1カ月の費用					無回答
		2万円未満	2~4万円未満	4~6万円未満	6~8万円未満	8万円以上	
全体	1062	34.6	40.0	17.9	4.9	1.0	1.6
問1 お住まいの地区							
三崎地区	311	35.7	36.3	20.3	6.1	0.6	1.0
南下浦地区	446	33.4	42.4	17.5	4.3	1.1	1.3
初声地区	297	34.3	40.7	16.5	4.4	1.3	2.7
世帯の就労状況							
ひとり親家庭	66	27.3	42.4	24.2	6.1	0.0	0.0
共稼ぎ(フルタイム)	180	18.3	35.6	27.8	12.8	3.9	1.7
共稼ぎ(パート)	221	28.5	42.1	22.6	5.4	0.5	0.9
専業主婦・主夫	522	44.8	40.6	11.5	1.3	0.4	1.3
その他	73	26.0	38.4	19.2	8.2	1.4	6.8

○子育てにかかっている費用は、1ヶ月に2万円未満が34.6%、2~4万円未満が40%。
就労状況別にみると専業主婦・主夫で2万円未満の割合が高い。

問4 1 最後に、教育、保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

回答のあった件数 574 件
意見総数 705 件

意見の種類別件数



評価・感謝・満足・御礼に関する主な意見の内容

対象	件数	内容	件数
保育所	7	保育所・保育士に感謝	7
子育て支援センター	6	支援内容	6
経済的支援	2	児童手当	1
		医療費負担	1
子育て支援施策	2	子育て支援施策の充実	1
		子ども課のプログラム	1
幼稚園	2	預り時間を長く	1
		預り保育	1
地域との関わり	2	地域の交流	1
		地域の見守り体制	1
小学校・中学校	1	学童保育の設置	1
医療	1	乳児医療	1
交流	1	母子の交流	1
育児の教室等	1	しつけ等の学習	1
生活環境	1	環境	1
行政	1	行政のあり方	1
その他	3	子育てしやすい環境整備	1
		自然環境がよい	1
		その他	1
総計			30

要望・意見・苦情・提案に関する主な意見の内容

	対象	意見の種類					総計	主な意見	
		意見	苦情	提案	評価	要望			
公園・遊び場	273	公園	1	55			143	199	公園が少ない、遊具の充実・整備
		子どもの遊び場		7	1		66	74	遊び場がない、増やす
保育・教育	134	小学校・中学校	5	14	6	1	44	70	学童保育の設置、放課後教室、遊び場
		保育所	2	14	2	7	24	49	待機児童の解消、預り時間を長く
		幼稚園	3	1		2	8	14	公立幼稚園の設置、幼稚園が少ない
		認定こども園					1	1	認定こども園の設置
子育て支援	132	子育て支援施策		11	6	2	69	88	病児保育施設の設置、ファミリーサポートの充実
		育児の教室等		1	1	1	26	29	1歳児～の場が少ない、回数を増やす
		子育て支援センター		2		6	5	13	支援内容、駐車料金
		相談体制		1			1	2	相談体制の充実
経済的支援	97	経済的支援	4	30		2	61	97	保育料が高い、医療費無料の拡大
生活環境	75	道路・交通	2	22			33	57	歩道整備、通学路整備
		生活環境		7	1	1	9	18	街灯が少ない、授乳室、オムツ交換台の設置
公共施設	57	公共施設		9			48	57	図書館の設置、図書館内容の充実
生活支援	51	交流	1	6	4	1	24	36	母子の交流、イベント
		地域との関わり	3	1		2	2	8	地域との関わりがない、地域の見守り
		就労支援		1			6	7	女性が働ける環境整備
健康・医療	42	医療		14		1	27	42	休日・夜間診療がない、病院の充実
情報発信・情報提供	20	情報発信・情報提供	3	3			14	20	情報の提供、情報不足
行政	14	行政	2	7		1	4	14	支援する環境がない、
その他	83	その他	32	9		3	30	74	育てしやすい環境整備
		アンケート	1	5			3	9	アンケートを活かす
総計			59	220	21	30	648	705	

第4章 量の見込みと確保方策

1 施設・事業の概要

(1) 教育・保育施設

① 施設の種類

施設種別	特徴	利用時間	利用できる保護者
幼稚園	小学校以降の教育の基礎を作る為の幼児期の教育を行う学校	昼過ぎ頃までの教育時間のほか、園により教育時間前後や休業中の預かり保育などを実施	制限なし。
認定こども園	教育と保育を一体的に行う施設	教育のみは幼稚園と。保育については保育所と同様	教育のみは制限なし。保育は保育所と同様
保育所	就労などのため家庭で保育のできない保護者に代わって保育する施設	夕方までの保育のほか、園により延長保育を実施	共働きなど、家庭で保育のできない保護者
家庭的保育 (地域型保育)	家庭的な雰囲気のもとで、少人数(定員5人以下)を対象に保育を実施	主に夕方までの保育	共働きなど、家庭で保育のできない保護者
小規模保育 (地域型保育)	少人数(定員6~19人)を対象に、家庭的保育に近い雰囲気のもと、保育を実施	主に夕方までの保育	共働きなど、家庭で保育のできない保護者
事業所内保育 (地域型保育)	会社の事業所の保育施設等で従業員の子どもと地域の子どもと一緒に保育	主に夕方までの保育	共働きなど、家庭で保育のできない保護者
居宅訪問型保育 (地域型保育)	障害・疾患などで個別のケアが必要な場合等、保護者の自宅で1対1の保育を実施	主に夕方までの保育	共働きなど、家庭で保育のできない保護者

* 認定こども園、地域型保育事業所については、平成27年3月現在、三浦市内にはありません。

② 区分認定

平成 27 年度 (2015 年度) より、教育・保育施設を利用するためには、区分認定を受ける必要があります。区分認定とは、保護者の「保育を必要とする事由」の状況にて 3 区分に分類されます。認定された区分により、利用可能な施設が決定します。

認定区分	概要	利用可能施設
1号認定 (教育標準時間認定)	お子さんが満3歳以上で教育を希望される場合	幼稚園・認定こども園
2号認定 (満3歳以上・保育認定)	お子さんが満3歳以上で「保育の必要な事由」に該当し、保育所での保育を希望される場合	保育所・認定こども園
3号認定 (満3歳未満・保育認定)	お子さんが満3歳未満で「保育の必要な事由」に該当し、保育所等での保育を希望される場合	保育所・認定こども園・地域型保育

③ 保育を必要とする事由と保育時間

支給認定を受け、保育所を利用したい希望がある場合、下記に記載した「保育を必要とする事由」が必要となります。また、就労時間や要件の内容により、保育所を利用できる時間が、保育標準時間と保育短時間の2つの区分により決定されます。

● 保育を必要とする事由

- 就労 (フルタイムのほか、パートタイム、夜間、居宅内の労働など基本的にすべての労働を含む)
- 妊娠、出産
- 同居または長期入院等している親族の介護・看護
- 災害復旧
- 求職活動 (起業準備を含む)
- 就学 (職業訓練校等における職業訓練を含む)
- 虐待やDVのおそれがあること
- 育児休業地取得中に、既に保育を利用している子どもがいて継続利用が必要であること
- その他、上記に類する状態として市町村が認める場合

●保育時間

時間種別	概要	利用時間
保育標準時間	フルタイム就労を想定した利用時間	最長 11 時間
保育短時間	パートタイム就労を想定した利用時間	最長 8 時間

(2) 地域子ども・子育て支援事業

事業名	事業概要
利用者支援事業	子ども又はその保護者の身近な場所で、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の情報提供及び必要に応じ相談・助言等を行うとともに、関係機関との連絡調整等を実施する事業
地域子育て支援拠点事業	乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業
妊婦健康診査	妊婦の健康の保持及び増進を図るため、妊婦に対する健康診査として、①健康状態の把握、②検査計測、③保健指導を実施するとともに、妊娠期間中の適時に必要に応じた医学的検査を実施する事業
乳児家庭全戸訪問事業	生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行う事業
養育支援訪問事業	養育支援が特に必要な家庭に対して、その居宅を訪問し、養育に関する指導・助言等を行うことにより、当該家庭の適切な養育の実施を確保する事業
子育て短期支援事業	保護者の疾病等の理由により家庭において養育を受けることが一時的に困難となった児童について、児童養護施設等に入所させ、必要な保護を行う事業（短期入所生活援助事業（ショートステイ事業）及び夜間養護等事業（トワイライトステイ事業））
ファミリーサポートセンター事業（子育て援助活動支援事業）	乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の保護者を会員として、児童の預かり等の援助を受けることを希望する者と当該援助を行うことを希望する者との相互援助活動に関する連絡、調整を行う事業
一時預かり事業	家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について、主として昼間において、認定こども園、幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点その他の場所において、一時的に預かり、必要な保護を行う事業

延長保育事業	保育認定を受けた子どもについて、通常の利用日及び利用時間以外の日及び時間において、認定こども園、保育所等において保育を実施する事業
病児保育事業	病児について、病院・保育所等に付設された専用スペース等において、看護師等が一時的に保育等する事業
放課後児童健全育成事業	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後に小学校の余裕教室、児童館等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る事業

* 利用者支援事業、養育支援訪問事業、子育て短期支援事業、ファミリーサポートセンター事業、病児保育事業は、平成 27 年 3 月現在、三浦市では事業者が無く、実施していません。

2 保育利用率の目標値

保育利用率とは、満 3 歳未満の子供の数の全体に占める 3 号認定の子どもの利用定員数の割合のことです。各年度ごとに目標値を設定いたしました。

●保育利用率目標値

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
目標値 (%)	16	17	18	18	26

3 量の見込みと確保方策

平成 27 年度(2015 年度)からの、三浦市子ども・子育て支援事業計画を策定するにあたり、平成 25 年度(2013 年度)に子ども・子育て支援施策に関するニーズ調査を行いました。その結果と、市で作成している推計人口を基に、見込量を算出し、見込量に対する確保方策を、平成 31 年度(2019 年度)までの 5 年の期間にて、数値目標として、確保方策を定めました。

(1) 教育・保育施設

① 量の見込みと確保方策

ニーズ調査の結果と、推計人口により、各年度毎に量の見込みを積算し、現状の各保育所、幼稚園の定員数と比較すると、各年度とも、1号、2号認定分については、大幅に充足している状況となっておりますが、3号認定について、確保数が不足しており、平成 31 年度を目途に、定員数の調整を行い、不足分を確保していきます。

●平成 27 年度

認定区分		1号			2号			3号			計	
対象年齢		3歳	4歳	5歳	3歳	4歳	5歳	0歳	1歳	2歳		
量の見込み		125	134	142	66	70	76	29	76	80	798	
確保の内容	教育 保育施設	幼稚園	218	234	248	15	20	20				755
		保育所				72	83	87	20	44	54	360
	計	218	234	248	87	103	107	20	46	57	1,120	
過不足		93	100	106	21	33	31	-9	-32	-26	317	

●平成 28 年度

認定区分		1号			2号			3号			計	
対象年齢		3歳	4歳	5歳	3歳	4歳	5歳	0歳	1歳	2歳		
量の見込み		120	126	135	64	66	73	28	74	77	763	
確保の内容	教育 保育施設	幼稚園	218	234	248	15	20	20				755
		保育所				72	83	87	20	44	54	360
	計	218	234	248	87	103	107	20	46	57	1,120	
過不足		98	108	113	23	37	34	-8	-30	-23	352	

●平成 29 年度

認定区分		1号			2号			3号			計	
対象年齢		3歳	4歳	5歳	3歳	4歳	5歳	0歳	1歳	2歳		
量の見込み		117	121	127	62	64	66	27	71	75	730	
確保の内容	教育 保育 施設	幼稚園	218	234	248	15	20	20			755	
		保育所				72	83	87	20	44	54	360
		計	218	234	248	87	103	107	20	46	57	1,120
過不足		101	113	121	25	39	41	-7	-27	-21	385	

●平成 30 年度

認定区分		1号			2号			3号			計	
対象年齢		3歳	4歳	5歳	3歳	4歳	5歳	0歳	1歳	2歳		
量の見込み		113	117	122	60	63	64	26	70	72	707	
確保の内容	教育 保育 施設	幼稚園	218	234	248	15	20	20			755	
		保育所				72	83	87	20	44	54	360
		計	218	234	248	87	103	107	20	46	57	1,120
過不足		105	117	126	27	40	43	-6	-26	-18	408	

●平成 31 年度

認定区分		1号			2号			3号			計	
対象年齢		3歳	4歳	5歳	3歳	4歳	5歳	0歳	1歳	2歳		
量の見込み		109	113	119	58	60	62	25	67	71	684	
確保の内容	教育 保育 施設	幼稚園	218	234	248	15	20	20			755	
		保育所				60	67	70	25	67	71	360
		計	218	234	248	75	87	90	25	67	71	1,115
過不足		109	121	129	17	27	28	0	0	0	431	

② 認定こども園普及に関する基本的な考え方

教育・保育全体の供給量が充足している現状にあつては、認定こども園普及を一刻も早く進めなければならない状況にはありませんので、認定こども園への移行については、市内の私立幼稚園・保育園の意向を尊重し、支援を行います。

③ 教育・保育施設等の連携の推進方策

小学校との連携については、市が幼稚園・保育園から児童情報を収集し、保護者の意向を確認したうえで小学校に提供する現行のシステムを継続します。

また、教育・保育施設等の連携を推進するため、施設間連携のご希望がある場合には、市が連携の調整を行うこととします。

(2) 地域子ども・子育て支援事業

① 利用者支援事業

現在、当該事業における業務内容は、子ども課の通常業務の範囲で対応している内容であり、今後も現状を維持する形で継続していきます。

したがって、確保方策としても0での計上となります。

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
量の見込み（箇所数）	0	0	0	0	0
確保方策（箇所数）	0	0	0	0	0

② 地域子育て支援拠点事業

現在、上宮田小羊保育園内にある、子育て支援センターを拠点事業所として活用している事業です。見込量については現状の1箇所にて対応できる範囲である為、確保策も1箇所にて算出しています。

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
量の見込み（人日）	1974	1909	1849	1793	1741
確保方策（箇所数）	1	1	1	1	1

③ 妊産婦健康診査

量の見込みについては、過去の実績及び推計人口を参考にし積算しました。事業内容については、現在も実施しており、今後も継続していきます。

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	
量の見込み（健診回数）	2669	2607	2520	2445	2383	
確保方策	実施場所	県内各医療機関ほか				
	実施体制（人）	—	—	—	—	—
	検査項目	・健康状態の把握・検査計測・栄養、生活上の保健指導及び精神的な健康保持に係る事項・医学的検査				
	実施時期	随時	随時	随時	随時	随時

④ 乳幼児家庭全戸訪問事業

この事業についても、子ども課の母子保健事業の中で、現在も実施しており、今後も継続していきます。

		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
量の見込み（人）		223	215	210	203	197
確保方策	実施体制（人）	7	7	7	7	7
	実施機関	三浦市	三浦市	三浦市	三浦市	三浦市
	委託団体等	—	—	—	—	—

⑤ 養育支援訪問事業

①の「利用者支援事業」同様、現状子ども課の通常業務の範囲で対応している事業であり、今後も現状を維持する形で継続していきます。

		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
量の見込み（人）		0	0	0	0	0
確保方策	実施体制（人）	0	0	0	0	0
	実施機関	0	0	0	0	0
	委託団体等	0	0	0	0	0

⑥ 子育て短期支援事業(ショートステイ事業)

この事業につきましては、現在の市内の施設、社会資源の状況を勘案して、事業実施は難しいと判断しております。今後状況に応じて随時検討していきます。

		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
量の見込み（人日）		909	872	838	811	786
確保方策（人日）	子育て短期支援事業（ショートステイ）	0	0	0	0	0

⑦ 子育て援助活動支援事業(ファミリーサポート事業)

⑧ 一時預かり事業

ここでは、量の見込みからサービス利用を一体的に考えるため、上記事業について、「ア. 幼稚園における在園児対象型一時預かり(預かり保育)」と、「イ. 在園児対象型を除く一時預かり、子育て援助活動支援事業(病児・緊急対応強化事業を除く)、子育て短期支援事業(トワイライトステイ事業)」の二つに分け、確保方策を計上していきます。

ア. 幼稚園における在園児を対象とした一時預かり

ここにおける確保方策については、現状幼稚園で実施されている確保数を計上しております。2号認定における利用に対する量の見込みと比較し、不足となっておりますが、教育保育施設における2号認定の余剰分にて、十分対応できる範囲とし、追加の形状は行っておりません。

		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
量の見込み (人日)	1号認定による利用	586	557	533	515	498
	2号認定による利用	26720	25403	24293	23467	22696
確保方策 (人日)	一時預かり事業	16026	16026	16026	16026	16026

イ. 在園児対象型を除く一時預かり、子育て援助活動支援事業（病児緊急対応事業を除く）、子育て短期支援事業（トワイライトステイ事業）

ここでの確保方策につきまして、一時預かり事業については、保育所における一時預かりの過去5年間の実績の最大値を計上しております。

子育て援助活動支援事業（ファミリーサポートセンター事業）につきましては、平成31年度を目安に整備をしていきます。数値につきましては、実績が無い為、本市より人口規模が倍以上の市の実績とほぼ同等の数値があれば十分であるとの判断から、量の見込みからは不足となりますが、当該数値を計上しております。

トワイライトステイ事業につきましては、ショートステイ事業同様、市内の施設や社会資源の状況を勘案し、事業実施は難しいと判断しております。

		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
量の見込み（人日）		5687	5452	5246	5076	4918
確保方策 (人日)	一時預かり事業 (在園児対象型を除く)	681	681	681	681	681
	子育て援助活動支援事業 (病児・緊急対応強化事業 を除く)	0	0	0	0	3000
	子育て短期支援事業 (トワイライトステイ)	0	0	0	0	0

⑨ 延長保育事業

この事業については、現在市内全4保育所にて事業を実施しており、現状の体制で量の見込みの確保は可能である状況の為、現状を維持していきます。

		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
量の見込み（人）		179	172	165	160	155
確保方策	実施体制（人）	12	12	12	12	12
	実施施設数	4	4	4	4	4

⑩ 病児保育事業

量の見込みと確保方策を比較し、大幅に確保方策が少ない計上となっておりますが、子育て援助活動支援事業（ファミリーサポートセンター）同様、当市での実績が無い為、当市より人口規模が2倍以上の市の実績とほぼ同等の数値があれば充足されると判断し、当該数値を計上しております。

		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
量の見込み（人日）		1671	1601	1540	1490	1444
確保方策 （人日）	病児保育事業	0	0	0	0	70
	子育て援助活動支援事業 （病児・緊急対応強化事業）	0	0	0	0	0

⑪ 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）

1小学校1施設を目指している状況ではありますが、様々な事情から実現は難しい状況となっております。平成31年度には、2施設を追加し、見込量に見合った定員数を確保していきます。

		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
量の見込み（人）		269	264	259	253	245
確保方策	登録児童数（人）	155	155	155	155	245
	定員数（人）	167	167	167	167	257
	クラブ数	4	4	4	4	6
	実施場所（箇所数）	4	4	4	4	6
	指導員配置数（人）	20	20	20	20	28

* 放課後子ども総合プランの推進については、今後、関係機関での検討が必要です。状況に応じて本計画の改定を行います。

第5章 行動計画

母子保健事業（※印の項目）については、平成27年度末に策定を予定している仮称「三浦市保健計画」の中で、他の保健事業とともに内容を検討し、今後の計画を定めます。

1 地域における子育ての支援			
(1)地域における子育て支援サービスの充実及びネットワークづくり			
課題	アンケート調査の結果によると、子育てに楽しさを感じている人は多いが、子育て環境の満足度は低くなっています。一方、「子どもとの過ごし方・遊び方」「子どもの食生活」「子どもの健康」「子どもの発育」等の悩みを持つ人も多く、これらに対応する相談体制等の充実が求められます。 子育てに対する不安や負担感を軽減するためには、相談や交流の場、情報提供体制を充実させることが必要です。様々な就業の形態に応じた保育サービスを提供することを目指します。		
項目	行動計画の内容	目標	担当
一時保育への支援	現在、一時保育を実施している2園については、引き続き経済的支援を行います。 未実施の2園については、需要の拡大に応じて、保育園と調整を図っていきます。	一時保育実施園：4園	子ども課
子育て支援センターへの支援	育児不安などへの相談指導や地域の保育ニーズに応じた事業を行うなど、地域における子育て支援サービス及び情報の拠点としての役割を果たしている子育て支援センターの事業運営に対して経済的支援を行います。	子育て支援センター実施箇所数：1ヶ所	子ども課
幼稚園の子育て支援の取り組み	預かり保育、施設開放、子育て相談等、私立幼稚園の物的、人的資源を活用した子育て支援の取り組みを情報提供していきます。	ホームページ等での情報提供：年1回	子ども課
放課後児童クラブへの支援	事業運営に対し経済的支援、情報提供、関係機関の連携を行い、活動内容の一層の充実を支援していきます。 またニーズに応じ、平成31年度を目途に実施個所の増加を目指します。	市内学童保育所：6ヶ所	子ども課
※みまぐっこの実施	事業内容 親同士の交流 親子のふれあい遊び 発育・発達の確認 各種相談 ワンポイントアドバイス（保健師、栄養士、歯科衛生士、救急救命士、保健衛生委員、地域の遊びの広場のスタッフ、育児サークル代表者等）		子ども課
※子育てサークル活動への支援	事業内容 子育てネットワークへの支援をおこないます。 育児サークルの健康相談の支援をおこないます。 育児サークルの育成支援 サークル紹介の場の提供・サークルの一覧表の作成し配布します。		子ども課
「つどいの広場」事業の支援	主に乳幼児を持つ親とその子どもが気軽に集い、うち解けた雰囲気の中で語り合い、交流を図るとともに、ボランティアによる育児相談などを実施する場としての「つどいの広場」事業を行う民間団体を支援します。	つどいの広場事業の支援継続	子ども課

項目	行動計画の内容	目標	担当
※主任児童委員等の活動支援	保健師によるほっと*ハート健康相談や市新生児訪問（こんにちは赤ちゃん訪問）民生委員・主任児童委員赤ちゃんの訪問活動への協力支援を行います。また、連携を図り、育児支援体制を強化します。		子ども課
子育て支援に関する情報提供	育児を応援する行政サービスガイド「ママフレ」にて、子育てに関する様々な情報を収集し、一元的に的確な、最新の情報を発信していきます。	「ママフレ」への情報の更新	子ども課
児童相談の実施	子育てについて不安を抱える保護者への支援を図るため、児童に係る相談全般の一義的窓口として市の機能を確保し、行政、小・中学校、保育所、幼稚園、放課後児童クラブ等の相互連携及び主任児童委員・児童委員等の地域における子育て支援者とのネットワークの構築を検討します。	児童相談全般の一義的窓口の設置継続	子ども課
ファミリーサポートセンターの設置	子育ての支援を行いたい人と子育ての援助を受けたい人が会員となり、地域で子育ての手助けをしていくしくみとして、平成31年度を目途にファミリーサポートセンター事業の実施を目指します。	ファミリーサポートセンターの設置：1ヶ所	子ども課
(2)保育サービスの充実			
課題	全国的に保育所入所待機児童の解消が大きな問題となっていますが、現在待機児童が過去数年0の三浦市においても、共働き家庭の増加等に対し、多様化する様々な保育ニーズに対応するため、延長保育や一時保育等の保育所の機能の更なる充実を図っていくことを目指します。		
項目	行動計画の内容	目標	担当
通常保育での待機児童の解消	通常保育については、定員の弾力化対応とともに、一時保育等を活用し、待機児童が生じないように対応していきます。	子ども・子育て支援新制度における定義による待機児童数：0人	子ども課
民間保育所への支援	民間保育所における保育環境の充実を図るため、低年齢児保育の充実、アレルギー児童に対応する看護師・要保護児童に対応する保育士の配置に要する経費の一部を補助します。	民間保育所への支援の継続	子ども課
延長保育への支援	保護者の就労時間の長時間化等に対応するため、通常の開所時間（標準時間保育対象者は11時間、短時間保育対象者は8時間）を超えて、保育を実施する保育園の延長保育に対して経済的支援を行います。	延長保育への支援の継続	子ども課
夜間、休日、病後児保育の検討	夜間、休日、病後児保育については、平成31年度を目途に病後児保育を1か所で実施できるよう目指します。	病後児保育の実施数：1か所	子ども課

(3)児童の健全育成			
課 題	<p>地域社会における児童数の減少は、遊びを通じての仲間関係の形成や児童の社会性の発達と規範意識の形成に大きな影響があると考えられるため、地域において児童が自主的に参加し、自由に遊べ、学習や様々な体験活動、地域住民との交流活動等を行うことができる安全・安心な居場所づくりの推進が必要となります。</p> <p>また、児童の健全育成を図る上で公民館・学校等の社会資源及び児童委員・地域ボランティア・自治会等を活用した取組を進めることを目指します。</p>		
項 目	行動計画の内容	目 標	担 当
子供向け講座の充実	現在、子ども講座としてサタデーボックス、したうら塾を開催しているが、そのほかの講座がないため子どもたちが参加できるような講座の充実を図っていきます。	利用者及び講座参加者数の増	三浦市 市民
	社会教育活動の推進を図ることを目的に教室を開催していきます。	講座参加人数の増	初声 市民セ
(4)子育てに伴う経済的負担の軽減			
課 題	<p>三浦市では、子育てに対する経済的支援として、児童手当、小児医療費の助成などを行っています。</p> <p>アンケート調査の結果によると、経済的支援の項目における要望において、医療助成の充実を希望する声が多く上がりました。今後は、三浦市の経済状況を勘案しながら、子育てに伴う経済的負担の軽減策を検討していきます。</p>		
項 目	行動計画の内容	目 標	担 当
小児の医療費の助成	小児の医療について、引き続き、保護者の医療費にかかる経済的な負担の軽減に努めます。	保護者の経済的な負担の軽減	保険年金課
児童手当等の制度の周知・啓発の推進	児童手当制度等の普及啓発と周知に努めます。	児童手当等未手続者への周知：随時	子ども課
就園奨励費の周知	在園児世帯の所得状況に応じて、幼稚園に補助金を交付し、保護者の負担の軽減と幼児教育の振興を図ります。	情報提供：毎年度2回 全保護者	子ども課
就学援助の周知	経済的な理由で小中学校へ就学させるのが難しい方の負担を軽減するために就学費用の一部を援助するための就学援助制度の周知に努めます。	情報提供：毎年度4月 全保護者	学校教育課

2 母性並びに乳児及び幼児等の健康の確保及び増進

(1)子どもや母親の健康の確保

課 題	<p>妊娠期、出産期、新生児期及び乳幼児期を通じての母子の健康が確保されるよう、乳幼児期を通じて母子の健康が確保されるよう、乳幼児健診、新生児訪問、母親父親教室等の母子保健における健康診査、訪問指導、保健指導等の充実、及び親の育児不安の解消等を図るため、乳幼児健診の場を活用し、親への相談指導等を実施するとともに妊娠期からの継続した支援体制の整備を図っていくことを目指します。</p>		
項 目	行動計画の内容	目 標	担 当
<p>※妊娠期の適切な保健指導及び情報提供・妊娠期の健康管理意識の啓発</p>	<p>母子健康手帳の交付・交付時保健指導事業実施 母子保健法第15条及び第16条に基づく妊娠届出書の提出時に、妊婦に母子健康手帳を交付するとともに、保健指導を行います。 本事業は、市内3か所(子ども課・南下浦出張所・初声出張所)で個別に実施します。</p> <p>母親・父親教室事業内容 日曜実施 沐浴・妊婦体験、歯磨き体験、先輩ママ、赤ちゃんとの交流他</p> <p>妊婦健康診査事業内容 妊娠中の健康診査のうち、妊婦健康診査補助券を交付し、指定した金額及び回数を補助します。</p> <p>妊産婦・新生児訪問指導(こんにちは赤ちゃん事業)事業内容 妊産婦・新生児の健康管理及び育児支援のために、家庭訪問を行います。</p>		<p>子ども課</p> <p>子ども課</p> <p>子ども課</p> <p>子ども課</p>
<p>※喫煙対策の推進</p>	<p>乳幼児・妊婦などの受動喫煙の状況を悪化させない対策が必要です。 妊婦及び乳幼児家族の喫煙率が低下するような対策が必要です。 喫煙・受動喫煙に関する地域情報の集約とわかりやすい提供を行います。 情報提供は参加率の高い事業や地域組織を活用し効率的効果的に実施します。</p>		<p>子ども課</p>
<p>※健康診査の推進及び未受診者へのフォローの実施</p>	<p>3か月児健康診査事業内容 発育・発達の確認 先天性疾患・股関節脱臼・斜頸・その他の疾患の発見 母親の産後の健康確認 保健指導(保育・栄養・歯科) 育児支援 保健師のワンポイントアドバイス 離乳食の話 歯科の話 問診 計測 診察 個別相談(保育・栄養)</p>		<p>子ども課</p>

項目	行動計画の内容	目標	担当
	<p>10か月児健康診査 事業内容 発育・発達の確認、運動機能、精神発達、発育不良、栄養状況及びその他の疾患の発見 予防接種相談と勧奨（MR1 期水痘の予防接種の案内実施）保健指導（保育・栄養・歯科）や育児支援 事故予防についての健康教育 虐待の早期発見・予防・防止、たばこ対策として分煙、たばこの害について啓発をおこないます。 未受診児には、ハガキによる勧奨と電話や訪問等で健康状態の把握等をします。</p>		子ども課
	<p>1歳6か月児健康診査 事業内容 疾患の発見と適切な管理、発育・発達（行動・言語）の確認、育児支援・相談、食習慣、栄養状態の確認、予防接種状況の確認と相談、保健指導（保育・栄養・発達）、歯科健診（歯の萌出状況・むし歯の有無・歯の異常などの診察、歯磨き指導）、保育士による親子がふれあう遊び場の提供、虐待の早期発見・予防・防止、未受診者へのフォロー（受診勧奨、訪問、心理巡回等）、あそびの広場、問診、計測、診察歯科健診、おやつ試食、個別相談</p>		子ども課
	<p>2歳児歯科健康診査 事業内容 歯科医師による診察 診察の結果、必要に応じてフッ素等の塗布 歯科衛生士による生活習慣の改善指導、歯みがき指導 保健師による保育相談・心理相談員による発達相談・栄養士による食生活相談</p>		子ども課
	<p>3歳児健康診査 事業内容 発育・発達の確認 視聴覚疾患、腎疾患の発見 歯科健診にて、むし歯等の口腔疾患の発見 予防接種状況の確認と勧奨 保健指導（保育・栄養・歯科）や育児支援 あそびの場の提供 心理相談員による相談 虐待の早期発見・予防・防止 たばこ対策として分煙、たばこの害について説明 未受診児はハガキによる勧奨と4歳までに地区担当に電話や訪問にて健康状態等の把握をします。</p>		子ども課
	<p>乳幼児精密健康診査 事業内容 乳幼児健康診査で、疾病等の疑いについて早期発見・治療を行うため二次検査の医療機関を紹介します。</p>		子ども課

項目	行動計画の内容	目標	担当
※フォロー児への関係機関による連携体制の強化	<p>こあらんど 事業内容 1歳6か月健康診査後に子ども自身（発達や言葉の遅れ、経験不足等）や母親に専門的な支援が必要と思われる親子に季節の行事やプログラムを通して親子関係や子どもの発達について保健師、心理相談員、保育士、栄養士、歯科衛生士によるグループ指導や助言を行ないます。 生活習慣が不規則な子どもや、転入等で近隣に友人がいない子どもとその親に対して集団での遊びを行います。 子育て支援センターや市内の遊び場所を紹介します。 相談：保健師…病気・生活リズム・予防接種 心理相談員…ことばや行動、子どもへのかかわりかた 保育士…親子遊びの方法 栄養士…むら食い、好き嫌い、おやつを取り方 歯科衛生士…歯の磨き方やむし歯予防</p>		子ども課
	<p>心理巡回相談 事業内容 市内保育園及び幼稚園児に年に2回巡回し、健康状況の把握と共に必要な助言を保健師と心理相談員と共に行ないます。</p>		子ども課
※歯科保健活動の推進	<p>歯科相談 事業内容 歯科衛生士が保護者に対して生活習慣指導や歯みがき指導を母子保健事業と連携して行います。</p>		子ども課
	<p>園児歯科保健活動 事業内容 歯科衛生士が保育園・幼稚園を巡回訪問し、園児や保護者に対して歯みがき指導や生活習慣指導を行います。 口腔内写真撮影 フッ素洗口（希望する園児） 歯科保健生活調査 歯のフェスティバルでの表彰。歯科保健生活調査・口腔内写真撮影により、フッ素洗口や生活指導の効果を確認します。</p>		子ども課
※予防接種に対する意識啓発・接種率の向上	<p>事業内容 定期予防接種を実施します。各健康診査時における相談、接種勧奨を行います。 健診や転入時のハガキ通知による予防接種実施状況を把握します。 予防接種台帳や母子管理ファイルにおける接種状況の管理を行います。</p>		子ども課
※母子保健に関する情報管理の徹底	<p>母子保健カードの内容・活用・管理と母子保健管理システムを活用し、母子保健事業の効果的な実施のため情報管理の徹底を図ります。</p>		子ども課

項目	行動計画の内容	目標	担当
※県保健福祉事務所・児童相談所等の関係機関との連携	切れ目のない支援のための関係機関の情報の共有や障害や育児不安への早期対応、支援を実施します。 健康状態に即した適切な療育・親子支援などのケアが受けられるよう教育委員会・鎌倉保健福祉事務所（三崎センター）・鎌倉三浦地域児童相談所などとの協力・連携をより強化します。		子ども課
※子育てに関する情報収集と専門窓口の紹介	保護者や関係機関にわかりやすい相談の場の紹介やフォロー体制の提示 障害や疾病があるなど、子育てに著しい不安を持つ親などに、子育てに関する情報を総合的に提供できるよう情報収集・各関係機関との連携に努めるとともに、専門窓口へ確実につなげられるよう努めます。フォロー体制リーフレットを作成します。		子ども課
(2)食育の推進			
課題	乳幼児期からの正しい食事の摂り方や望ましい食習慣の定着及び食を通じた豊かな人間性の形成・家族関係づくりによる心身の健全育成を図るため、保健分野や教育分野の連携、また食育推進計画との整合性を図ることが必要となります。 また、低出生体重児の増加等を踏まえ、妊娠前からの適切な食生活の重要性を含め、妊産婦等を対象とした食に関する学習の機会や情報提供を進めていくことを目指します。		
項目	行動計画の内容	目標	担当
食育推進計画との連携	食育基本法の前文には、「子どもたちに対する食育は、心身の成長及び人格の形成に大きな影響を及ぼし、生涯にわたって健全な心と身体を培い豊かな人間性をはぐくんでいく基礎となる。」と規定されています。 この趣旨に主眼を置いて策定された三浦市食育推進計画と相互に連携・補完して、「正しい食生活習慣を身につける」などの目標達成に向けて取り組みます。	朝食を毎日食べる児童の割合：90%以上	健康づくり課
※栄養指導事業の充実	栄養指導等 母子保健事業、歯科事業等での栄養相談・指導・教育を実施します。 月齢・年齢・家族生活状況に合わせた食事の取り方や望ましい食習慣を支援します。 食を通して母子の健康確保とともに、健やかな親子関係の形成を支援します。		子ども課
	もぐもぐごっくん（離乳食講習会） 事業内容 離乳食の始め方、進め方の指導 食べ方指導、離乳食メニューの紹介		子ども課
学校給食の適切な推進	各学校への食指導をより一層の充実を目指します。	食習慣の充実	学校給食課

項目	行動計画の内容	目標	担当
地産地消の推進	地場産食材活用による献立をより多くしていきます。	学校給食内容の充実	学校給食課
(3)思春期保健対策の充実			
課題	若年者の人工妊娠中絶、性感染症罹患率の増大等の問題に対応するため、性や性感染症予防に関する正しい知識の普及、及び薬物・喫煙等に関する教育を図っていくことを目指します。		
項目	行動計画の内容	目標	担当
思春期の子どもを対象とした啓発事業の推進	思春期の子供たちへの教育の場の拡大 次代の親となる思春期の子どもたちの健全な母性・父性が育まれるように、母子保健所管課、教育委員会、鎌倉保健福祉事務所（三崎センター）と連携して、思春期の子どもたちへのアプローチをしていきます。	思春期の子供たちへの教育実施数の増	子ども課
(4)小児医療の充実			
課題	アンケート調査の自由意見欄の結果でも、地域小児医療体制の充実については、高いニーズがあることから、小児医療体制は、安心して子どもを生み、健やかに育てることができる環境の基盤となるものであり、小児医療、小児救急医療の充実について、積極的に取り組んでいくことを目指します。		
項目	行動計画の内容	目標	担当
小児医療体制の充実	「三浦ならではの」地域医療の確立を目指して病院改革を進めており、継続して小児科医の確保ができるよう、図っていきます。	今後も三浦市立病院において小児科外来診療を継続するため、最低限、常勤小児科医1名の確保	三浦市立病院
救急医療の推進	限られた医療資源のもと、迅速で適切な小児救急医療が実施されるよう、神奈川県及び近隣市町との連携により、救急医療体制の安定的な確保を推進します。 初期救急は、横須賀市との連携による救急医療センターでの応需体制を確保し、二次救急は、横須賀市、逗子市、葉山町との連携による広域病院群輪番制での応需体制を確保します。 また、三次救急は、神奈川県が主体となり、救命救急センターなどによる重篤な小児救急患者の医療提供体制の確保・充実を図るため、神奈川県との連携を通して、初期救急から三次救急までの体系的な救急医療体制の維持に努めます。 なお、夜間の小児患者の保護者等向け電話相談として、神奈川県が実施している「かながわ小児救急ダイヤル」について、市公式ホームページ等で周知します。	小児救急医療確保対策事業の実施 広域病院群輪番制運営事業の実施	健康づくり課

4 子どもの健やかな成長に資する教育環境の整備

(1)次代の親となる子どもの生きる力を育成する学校の教育環境の整備

<p>課 題</p>	<p>次代の親となる男女が協力して家庭を築くこと及び子どもを生み育てることの意義に関する教育について、各分野が連携を図ることが重要であり、子どもや家庭の大切さを理解できるような機会を広げるための効果的な取組を推進することが必要です。</p> <p>また、子どもが個性豊かに生きる力を助長することができるよう、学校の教育環境等の整備に努めます。</p>		
<p>項 目</p>	<p>行動計画の内容</p>	<p>目 標</p>	<p>担 当</p>
<p>各学校における研究や各種研修会の充実</p>	<p>各校における学校研究を支援するため、指導主事が適切な助言を行います。</p> <p>教育課題に応えるため、市教育研究所が主催する研究員会、情報化に関する協議会、特別支援教育に関する研修会等を充実していきます。</p>	<p>指導主事派遣：各校年2回 研究員会開催：年4回 各種研修会開催：年6回</p>	<p>学校教育課</p>
<p>教育評価の充実</p>	<p>学習指導要領改訂に伴って、導入される教育評価について、市学校教育研究会の教科部会での研究や学校間の情報交換を通じて充実していきます。</p> <p>また、教育評価についての研修会を実施し、学校での教育活動充実のための支援とします。</p>	<p>研修会開催：年1回</p>	<p>学校教育課</p>
<p>学校評価の充実</p>	<p>文部科学省が提示した新ガイドラインにそって、学校改善に効果的に活用できる学校評価を充実するため、校長会と共同で研究を進めます。</p> <p>各校の学校評価結果を受け、教育委員会としての学校への支援を充実させます。</p>	<p>各学校の学校評価のホームページ掲載</p>	<p>学校教育課</p>
<p>教育課程の充実</p>	<p>三浦市の特色である新3学期制を基盤に、各校で特色ある教育課程を編成します。各校でのよりよい教育課程の編成を支援するため、教務担当者会で情報交換の充実を図ります。</p>	<p>教務担当者会開催：年2回</p>	<p>学校教育課</p>
<p>地域教育力の活用</p>	<p>地域の教育力の効果的な活用を目指します。総合的な学習の時間や朝の読み聞かせ等において、外部指導者の活用によって教育活動が充実するように、各校の活用状況を情報提供します。</p>	<p>外部指導者活用状況についての情報提供：年1回</p>	<p>学校教育課</p>
<p>教科指導の充実</p>	<p>学習指導要領の改訂に基づき、各校では、「確かな学力」を培うために、教科指導のさらなる充実が求められています。その充実を実現するため、市内各校の授業研究に指導主事が加わり、適切な助言をすることで、充実した授業の成立ならびに確かな学力の育成を支援します。</p>	<p>指導主事派遣：各校年2回</p>	<p>学校教育課</p>

項目	行動計画の内容	目標	担当
安全教育の充実	自己の健康や安全を管理し、正しい知識を身につけ、判断力を育み、優れた実践力を育成することが求められています。防災計画等にかかる学校間の情報交換を行い、各種計画等の充実を図る中で、安全教育を推進させます。	防災担当者会開催：年1回	学校教育課
道徳教育の充実	未来を開く主体性のある日本人を育成するため、道徳の授業を要とした道徳教育を充実させます。市学校教育研究会道徳部会と連携し、道徳教育の一層の充実を図ります。	指導主事派遣：部会へ年1回	学校教育課
総合的な学習の時間の充実	問題の解決や探求活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにすることが求められています。「みうら学研究会」において、そのねらいを達成するような総合的な学習の時間のモデルを研究し、市内各校に紹介します。	モデルの紹介：4モデル	学校教育課
特別活動の充実	集団活動を通して自主的で実践的な態度を育成していくために、市学校教育研究会特別活動部会で各校の情報交換を充実します。	特別活動部会開催：年2回	学校教育課
児童・生徒指導の充実	自ら考え、主体的に判断し行動する自己指導力が身につくための指導が充実するように支援します。また、問題を抱える児童・生徒については、早期に発見し、早期に対応することが大切です。それに関わって、学校と関係機関が緊密に連携できるよう支援していきます。	指導主事派遣：各校年1回	学校教育課
国際教育の充実	諸外国の人々の生活や文化を理解し尊重するとともに、我が国・郷土の文化と伝統を大切にしている態度の育成及び外国語能力の向上のための指導が充実するように支援します。また、小・中学校に英語指導助手（ALT）を派遣し国際教育の充実のための一助とします。	ALT派遣：延べ年200日	学校教育課
情報教育の充実	情報及び情報手段を主体的に選択し活用していく力などを育成するため、市内各校の授業研究に指導主事が加わり、適切な助言をすることで、ねらいを達成するための授業を充実します。また、情報化研究協議会での情報交換等を中心に、各校の情報教育の実践を支援します。	情報化研究協議会開催：年3回	学校教育課
特別支援教育の充実	児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、子ども達の自立を支援するため、特別支援教育推進計画に基づき、特別支援教育を充実させます。また、特別支援教育学校支援チームを各校に派遣し、各校での実践を向上させるとともに、各校と専門機関との連携を支援します。	特別支援教育学校支援チームの派遣：各校年2回	学校教育課

項目	行動計画の内容	目標	担当
進路指導の充実	自己の進路に対する関心を高め、的確な自己理解のもとに、現在及び将来の生活において自己実現を図るための基礎的能力・態度を育成するために、各校の進路指導に関する実践やキャリア教育の視点からの実践を市学校教育研究会進路指導部会で情報交換するなどして充実させます。	進路指導部会開催：年2回	学校教育課
人権教育の充実	人間尊重の精神を基に、社会に存在する様々な不合理や差別をなくし、好ましい人間関係を理解させるなどの人権教育を充実させます。人権教育担当者会において、指導体制等についての情報交換を通して、各校での実践を支援します。	人権教育担当者会開催：年5回	学校教育課
異年齢児とのふれあいによる社会性の育成	児童会活動・生徒会活動などを通じて、異年齢児との活動を充実させます。また、幼稚園・保育園・小学校の連携協議会の情報交換等をとおして、ふれあい活動を支援します。	連携協議会の開催：年2回	学校教育課
(2)家庭や地域の教育力の向上			
課題	学校・家庭・地域がそれぞれの役割・責任を自覚し、連携・協力し、地域社会全体で子どもを育てる観点から、家庭や地域の教育力を総合的に高め、社会全体の教育力の向上を目指します。		
項目	行動計画の内容	目標	担当
親子のふれあい体験等家庭教育学級の実施	公民館において家庭の教育力向上のため、親子のふれあい体験または家庭教育学級を実施します。	親子のふれあい体験及び家庭教育学級の参加者数の増	民生センター 三浦市
三浦市子ども読書活動推進計画の実行	子どもが自主的に読書活動できるような環境づくりを推進するために、様々な活動を行います。	子どもにとって読書が今まで以上に、より身近に感じられるための活動の実施	文化スポーツ課
4 子育てを支援する生活環境づくり			
(1)安全な道路交通環境の整備			
課題	事故の危険性が高く、子どもの通行量も多い通学路において、歩道等の整備、安全・安心な歩行空間を創り出すことを目指します。		
項目	行動計画の内容	目標	担当
安全かつ快適な道路の整備促進	新規の歩道設置は難しいが、歩行者が安全に通行できる対策を検討し、特に通学路の指定となっている道路においては、重点的に交通安全施設整備を実施していきます。	三崎署管内における当事者別事故発生件数の減少	土木課

(2)安心して外出できる環境の整備			
課 題	アンケート調査の結果によると、自由意見欄の集計において、公園の整備は第1位に挙げられています。妊産婦・乳幼児連れの方等、すべての人が安心して外出できるよう、道路、公園等で段差の解消等のバリアフリー化を推進し、併せて妊産婦等への理解を深める「心のバリアフリー」のための取組を進めることで、ハード・ソフトの両面から一体的なバリアフリー化を目指します。		
項 目	行動計画の内容	目 標	担 当
公園の適切な管理及び整備促進	市民の憩いの場、地域の人達の交流の場として、誰でも安心して利用できる公園であるために、樹木の剪定、伐採、除草及び害虫駆除等と併せ、遊具等の安全確保を図ります。特に、公園入口についてバリアフリー対応となるよう整備していきます。	遊具の安全点検で補修や改修を必要とする遊具の整備	土木課
5 職業生活と家庭生活の両立の推進			
(1)男性を含めた働き方の見直し及び仕事と家庭の両立の推進			
課 題	仕事と生活の調和の実現については、各関係機関が連携を図り、協力し合いながら、地域の実情に応じた取組を進め、社会全体の運動として広げていく必要があります。また、多種多様な働き方に対応した子育て支援を展開できるよう目指します。		
項 目	行動計画の内容	目 標	担 当
女性の労働条件の改善・向上についての啓発活動	「みうら男女共同参画プラン」に基づき女性の登用促進等、女性の労働条件の改善・向上について啓発活動を行います。	女性の労働条件に関する情報提供の充実	観光商工課
	「みうら男女共同参画プラン」に基づき労働条件の男女平等化、女性の登用の啓発を図ります。	労働条件の男女平等化の改善及び女性の登用の促進	市民協働課
	講座を開催する際に、男性も参加しやすい講座を実施します。	男性参加人数の増	市民協働課
他機関との連携した広報等の実施	神奈川県、神奈川労働局などが主催するセミナー等の広報を行います。また、近隣自治体とも連携し、仕事と家庭の両立に係る事業の情報を広く提供していきます。	セミナー等の広報の拡充	観光商工課

6 子どもの安全の確保			
(1) 子どもの交通安全を確保するための活動の推進			
課 題	子どもを交通事故から守るため、警察、保育所、学校、関係民間団体等との連携・協力体制の強化を図り、総合的な交通事故防止対策の推進を目指します。		
項 目	行動計画の内容	目 標	担 当
交通安全キャンペーン活動及び広報の推進	各期における交通キャンペーンの他、各種スポーツイベントへ参加し、交通事故を呼び掛けます。また、小学校などに出向き交通教育や高齢者に対しての自転車のマナーや歩行について啓発する他、飲酒運転撲滅キャンペーンを実施します。	交通事故発生件数の減	市民協働課
(2) 子どもを犯罪から守るための活動の推進			
課 題	子どもを犯罪等の被害から守るため、地域住民・学校・関係機関・団体と犯罪等に関する情報交換を実施し、子どもが犯罪の被害に遭わない地域づくりを目指します。		
項 目	行動計画の内容	目 標	担 当
協働による治安・防犯対策の強化及び啓発活動	組織化されていないが、地域住民が各小学校周辺における登下校時の児童を見守る活動を促すことにより、防犯意識が高揚し、「防犯のつどい」を開催することにより、知識の向上を図っていきます。	犯罪発生件数の減	市民協働課
	子どもの安全を守り、安心して登下校できるように、スクールガード事業を展開します。スクールガードの活動が充実するように支援します。	交通事故及び犯罪発生件数の減	学校教育課
地域防犯パトロールの推進	地域防犯については、住民の安全を守るため、地域の意見を聞き、その地域に合ったパトロールの方法を考えながら、情報、連絡、相談を密にして安心な町づくり体制の充実を図っていきます。	愛のパトロール参加者の確保	青少年教育課

7 要保護児童への対応等きめ細かな取組の推進

(1) 児童虐待防止対策の充実

<p>課 題</p>	<p>児童虐待は、子どもの心身に深刻な影響を与え、子どもの人権を侵害するものです。児童虐待による深刻な被害や死亡事例があってはなりません。福祉関係者のみならず、医療・保健・教育・警察等の関係機関を含めた地域全体で子どもを見守る支援体制である三浦市児童虐待防止ネットワークを活用し、児童虐待の発生予防、早期発見・対応、保護・支援・アフターケアに至るまでの総合的な支援、及び協力体制の充実を目指します。</p>		
<p>項 目</p>	<p>行動計画の内容</p>	<p>目 標</p>	<p>担 当</p>
<p>児童虐待防止ネットワーク体制の整備</p>	<p>児童に関する相談を受ける段階から、保護や支援を要する児童の状況を的確に把握し、必要な調査、指導、適切な支援を行います。また、児童虐待の早期発見のため、乳幼児健康診査や訪問指導等を活用するほか、保護を必要とする児童に関する通告義務等についての啓発を行います。三浦市児童虐待防止ネットワークの機能を十分に活用し、児童虐待事例に対して、調査、処遇検討、見守りや在宅支援等の地域支援を行い、児童の家庭復帰、親子関係修復を図っていきます。見守り体制については、関係機関及び地域で継続して見守り、児童虐待の再発防止を図ります。</p>	<p>児童虐待発生件数の減</p>	<p>子ども課</p>

(2) ひとり親家庭支援の推進

<p>課 題</p>	<p>離婚や価値観の多様化により、近年、ひとり親家庭が増加しています。ひとり親家庭では、育児や家事の負担も大きいことから、経済的な援助とともに、就労・家庭・育児相談などの支援が必要です。</p>		
<p>項 目</p>	<p>行動計画の内容</p>	<p>目 標</p>	<p>担 当</p>
<p>経済的な支援及びひとり親家庭の自立に必要な情報提供や指導の実施</p>	<p>経済的基盤の弱い、ひとり親家庭等に対し、生活の安定と自立を支援し、児童を心身ともに健全に育成するため、これらの家庭に対して、児童扶養手当の支給を行い、経済的支援を行います。母子父子自立支援員を配置し、ひとり親家庭の相談、母子父子寡婦福祉資金貸付制度等の自立に必要な情報提供や指導を、関係機関と連携を図っていきます。</p>	<p>情報提供や指導の充実</p>	<p>子ども課</p>
<p>ひとり親家庭等の医療費の軽減</p>	<p>ひとり親家庭等の医療費について、引き続き保護者の医療にかかる経済的な負担の軽減に努めます。</p>	<p>経済的な負担の軽減</p>	<p>保険年金課</p>

(3)障害児施策の充実			
課 題	<p>障害の原因となる疾病や事故の予防及び早期発見・治療の推進を図るため、妊婦及び乳幼児に対する健康診査や学校における健康診断等を推進することが必要です。障害児の健全な発達を支援し、身近な地域で安心して生活できるようにする観点から、保健・医療・福祉・教育等の各種施策の円滑な連携により、適切な医療及び医学的リハビリテーションの提供、在宅サービスの充実、就学支援を含めた教育支援体制の整備等、一貫した総合的な取組を推進することを目指します。</p>		
項 目	行動計画の内容	目 標	担 当
居宅介護事業の実施	日常生活に支障のある障害児の居宅に、ホームヘルパーを派遣し、身体介護、家事援助等の家庭におけるサービスを提供します。	申請者の希望に応じた適切な支給決定の実施	福祉課
短期入所の実施	障害児を介護している家族の疾病や休養等の理由により一時的に家庭で介護が出来ない場合、短期間施設サービスを提供し、障害児及び、介護者の身体的・精神的な負担を軽減します。	申請者の希望に応じた適切な支給決定の実施	福祉課
障害児通所支援事業の実施	障害児の身体的、精神的発達を促すとともに、社会生活への適応性を向上させるため、通所施設におけるサービスを提供します。	申請者の希望に応じた適切な支給決定の実施	福祉課
補装具の交付	障害児の失われた身体的機能を補うことにより、日常生活の利便性を向上させるため、補装具の交付、修理を行います。	申請者の希望に応じた適切な支給決定の実施	福祉課
日常生活用具の給付	日常生活の便宜を図るための用具の購入費を補助します。さらに必要に応じて給付対象となるものの見直しを行ない、より良いサービス提供により、介護者を支援し、児童の自立を支援します。	申請者の希望に応じた適切な支給決定の実施	福祉課
障害児相談支援事業の実施	障害児とその家族の福祉に関する様々な問題について、障害のある人等からの相談に応じ、必要な情報の提供、障害福祉サービスの利用支援のほか、障害児支援利用計画の作成を行います。	専門性の高い相談の実施	福祉課
こども発達医療相談事業の実施	発達障害児等の早期発見、早期療育を目指し、医師、心理士等による診療、発達検査を実施します。	相談会の実施：年6回	子ども課
心身障害児生活訓練会の実施	発達に遅れがある就学前の児童と保護者を対象に基本的な生活習慣や社会性を、保護者に対しては障害の正しい理解や適切な養育技術の習得を目的に事業を実施します。三浦市の療育を担う場として、専門性を高め質の向上を図り、障害児の子育てを支援します。	専門性の高い療育の提供	子ども課

第6章 計画の推進に向けて

1 子ども・子育て支援事業計画の推進

この計画は、三浦市がこれから進めていく子ども・子育て支援施策を総合的にまとめたものです。その内容は、児童福祉や母子保健にとどまらず、広くさまざまな分野にわたります。

このため、子ども・子育て支援事業計画の推進に当たっては、庁内関係部局間の連携を密にし、また、関係機関や団体、地域などとの連携も図りながら、計画目標の実現に向けて取り組みます。

2 子ども・子育て支援事業計画の進行管理

子ども子育て支援事業計画の着実な推進に当たっては、継続的に子ども・子育て支援事業計画の実施状況をフォローすることが必要です。

このため、子ども・子育て支援法第77条第1項の規定に基づく子ども・子育て会議を設置し、子ども・子育て支援事業計画の進行管理を継続して行っていきます。

資 料 編

○三浦市子ども・子育て会議条例（平成25年7月23日三浦市条例第13号）

○三浦市子ども・子育て会議条例

平成25年7月23日三浦市条例第13号

三浦市子ども・子育て会議条例

（設置）

第1条 子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号。以下「法」という。）第77条第1項の規定に基づき、三浦市子ども・子育て会議（以下「子育て会議」という。）を置く。

（所掌事項）

第2条 子育て会議は、法第77条第1項各号に掲げる事務を処理するほか、子ども・子育て支援（法第7条第1項に規定するものをいう。以下同じ。）に関する事項について、調査審議を行う。

（組織）

第3条 子育て会議は、委員15人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱し、又は任命する。

- （1）法第6条に規定する子どもの保護者
- （2）子ども・子育て支援に関し学識経験を有する者
- （3）子ども・子育て支援に関する事業に従事する者
- （4）市の職員
- （5）その他市長が必要と認める者

（任期）

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

（委員長及び副委員長）

第5条 子育て会議に委員長及び副委員長各1人を置き、委員の互選により定める。

2 委員長は、子育て会議を代表し、会務を総理し、会議の議長となる。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第6条 子育て会議の会議は、委員長が招集する。ただし、委員の任期満了に伴い新たに組織された子育て会議の最初に招集される会議は、市長が招集する。

2 子育て会議の会議は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。

3 子育て会議の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

（意見の聴取）

第7条 委員長は、所掌事項について、特に必要があると認めるときは、関係者に出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

（報酬等）

第8条 委員の報酬及び費用弁償については、三浦市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例（昭和32年三浦市条例第14号）の定めるところによる。

（庶務）

第9条 子育て会議の庶務は、子ども・子育て支援を所管する課等において処理する。

（委任）

第10条 この条例に定めるもののほか、子育て会議の運営に関し必要な事項は、委員長が子育て会議に諮って定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

(会議の招集の特例)

2 この条例により最初に招集される子育て会議の会議は、第6条第1項本文の規定にかかわらず、市長が招集する。

三浦市子ども・子育て会議委員名簿

敬称略・順不同

氏 名	所 属
生 野 隆 彦	三浦市保育会
土 田 郁 子	椿の御所幼稚園
山 下 芳 夫	三浦商工会議所
吉 澤 和 宏	三浦市放課後児童クラブ連絡協議会
折 居 典 子	三浦 De 遊び隊
西 山 裕 子	三浦市医師会
吉 川 実	三浦市保健福祉部

三浦市子ども・子育て会議における三浦市子ども・子育て支援事業計画審議経過

■第4回

- 1 開催日時 平成26年11月26日（木）18時30分～20時
- 2 開催場所 三浦市役所本庁舎2階市長応接室
- 3 出席委員 委員7名中6名出席
- 4 内 容 （1）子ども・子育て支援サービスの確保方策に関するパブリックコメントの実施について

■第5回

- 1 開催日時 平成27年3月18日（水） 18時30分～20時
- 2 開催場所 三浦市役所本庁舎2階市長応接室
- 3 出席委員 委員7名中6名出席
- 4 内 容 （1）（仮称）三浦市子ども・子育て支援事業計画（素案）について
（2）パブリックコメント結果について
- 5 主な意見 ○積極的にサークル活動等に参加できる子どもや、子育て世帯の保護者が、集まる場所は、ある程度確保されているが、だれでも気軽に集まる、又は相談することができる場所（学校等）の確保が求められる。
○新制度になり、新しい事業も制度上設定されているが、市内には現在でも、良い事業が多く、新しい事業を設定するよりは、現在の事業の見直し、充実を図ることが必要である。

パブリックコメントの実施結果

1 「教育・保育施設及び地域子ども・子育て支援事業の必要量の見込みと確保方策等」に関するパブリックコメントについて（意見募集）の実施結果は、次のとおりです。

(1) 募集期間 平成26年12月5日（金）から12月26日（金）まで

(2) 提出先 三浦市保健福祉部子ども課

(3) 提出方法 ①郵送（持参可） 〒238-0298

三浦市城山町1-1

三浦市保健福祉部子ども課

②ファックス 881-0148

③E-mail hoken0701@city.miura.kanagawa.jp

(4) 意見の募集結果

「教育・保育施設及び地域子ども・子育て支援事業の必要量の見込みと確保方策等」についてパブリックコメントを行った結果、意見の提出はありませんでした。

2 「(仮称)三浦市子ども・子育て支援事業計画（素案）」に関するパブリックコメントについて（意見募集）の実施結果は、次のとおりです。

(1) 募集期間 平成27年2月26日（木）から3月17日（火）まで

(2) 提出先 三浦市保健福祉部子ども課

(3) 提出方法 ①郵送（持参可） 〒238-0298

三浦市城山町1-1

三浦市保健福祉部子ども課

②ファックス 881-0148

③E-mail hoken0701@city.miura.kanagawa.jp

(4) 意見の募集結果と本市の回答

① 意見の受付件数 1人 2件

② 意見の概要と意見に対する本市の考え方

*次ページ

番号	意見	意見等に対する本市の考え方
1	<p>4頁の“7つの取り組み 3. 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境づくり”に（2）家庭教育や地域の教育力の向上が掲げられています。その行動計画（108頁）では貧困家庭やひとり親家庭の子どもに対する支援策が不足しています。他市ではNPO法人やボランティア団体が無料の学習塾を開いて子どもの進学を支援し、行政も支える取り組みが行われています。本市でも、市民に啓蒙して取り組みを進めるべきです。したがって、無料学習塾開設事業を打ち出すことを提案します。</p>	<p>子どもの貧困対策の推進に関する法律（平成25年法律第64号）が制定され、生活困窮世帯等への学習支援の必要性が言われていることは承知しております。</p> <p>ご提案の無料学習塾開設については、市として検討を要する事項も多いため、今後予定する本計画の見直しの機会までに議論をしていきます。</p>
2	<p>4頁の“7つの取り組み 5. 職業生活と家庭生活の両立と推進”の中に、2番目の項を設け、「ひとり親家庭の親に対する支援」を明確に打ち出して下さい。本市および全国的に少子化と人口減少が進んでいます。フランス等の欧州の国では人口減少を食い止めるためにひとり親家庭に対する支援を積極的に行って成功しています。未婚のままや離婚を推奨する訳ではありませんが、さまざまな事情で世界的にひとり親家庭は増加していますので、ひとり親への支援は必要です。ひとり親に対しては就労し、仕事が継続でき、家庭生活と育児が円滑に行えるような支援が必要なのです。</p> <p>7つの取り組みの7番目は“要保護児童への対応”ですが、（2）に「ひとり親家庭の自立支援の推進」があります。この項の大部分は上述した“ひとり親家庭の親に対する支援”の中に移設するのが適切です。ただし、「ひとり親家庭の自立支援の推進」から自立という言葉は削除すべきです。自立のみが強調されすぎているからです。</p> <p>一方、ひとり親家庭の子どもに対する支援は必要ですので、7番目の（2）は「ひとり親家庭の子どもへの支援」と改めて下さい。そして、経済的な支援は子どもに対しておこなうべきものと考えから、“児童扶養手当の支給”を子どもへの支給制に改める工夫を行って下さい。</p>	<p>現状、本市では、ひとり親家庭の医療費無償化に取り組んでおります。ひとり親家庭に対する支援の充実を目標にすべきとのご意見ですが、本市の財政力を鑑みると、当面は、全家庭に対する支援策の充実を優先させるべきであると考えます。</p> <p>『「ひとり親家庭の自立支援の推進」から自立という言葉は削除すべきです。自立のみが強調されすぎているからです。』というご指摘については、本市の考える支援は（経済的）自立のみを目的としたものではないため訂正いたします。</p> <p>また、児童扶養手当を子どもへの支給制度へ改める検討については、児童扶養手当は、児童扶養手当法（昭和36年法律第238号）に基づき支給されるものであるため、市独自に支給対象を児童に変更することは制度としてできません。</p>

③ 提出方法 E-mail

三浦市子ども・子育て支援事業計画

平成27年3月発行

発行者 三浦市

編集 保健福祉部子ども課

〒238-0298

三浦市城山町1番1号

TEL 046-882-1111（代表）

FAX 046-881-0148